施工管理基準(令和7年度版)

出来形管理基準及び規格値 日次

1編 共通編 第2章 土工 第3節 河川土工・海岸土工・ 砂防土工	-	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第3節 河川土工・海岸土工・						
炒奶工工	1-2-3-2	1	掘削工			1
		2	掘削工(面管理の場合)			1
i		3	掘削工(水中部)			2
			(面管理の場合)			
	1-2-3-3	1	盛土工			3
		2	盛土工(面管理の場合)			3
	1-2-3-4		盛土補強工	補強土(テールアルメ)	+	4
				壁工法		•
			 盛土補強工	 多数アンカー式補強土工	+	4
			<u> </u>	法		4
				ジオテキスタイルを用い		4
			盛土補強工	ンオテキスタイルを用い た補強土工法		4
	1-2-3-5		法面整形工	盛土部		4
	1-2-3-6		堤防天端工			4
第4節 道路土工	1-2-4-2	1	掘削工			5
		2	掘削工(面管理の場合)			5
	1-2-4-3	1	路体盛土工			6
		2	路体盛土工			6
			(面管理の場合)			
	1-2-4-4	1	 路床盛土工			6
			路床盛土工	+	+ +	6
			(面管理の場合)			U
	1-2-4-5			成士部	+	7
<u> </u>			法面整形工	盛土部		7
第3章 無筋、鉄筋コンクリート			I/a +	1		
第7節 鉄筋工	1-3-7-4		組立て			7
3編 土木工事共通編						
第2章 一般施工						
第3節 共通的工種	3-2-3-4		矢板工(指定仮設・任意仮設は	鋼矢板		8
			<u> 除く)</u> 矢板工(指定仮設・任意仮設は	 軽量鋼矢板	+	8
				鞋里岬大饭 		O
			矢板工(指定仮設・任意仮設は	コンクリート矢板		8
			除く)	克· ···································		0
			矢板工(指定仮設・任意仮設は 除く)	広幅鋼矢板		8
			矢板工(指定仮設・任意仮設は	可とう鋼矢板		8
	0.0.0.5		除く)		+	
	3-2-3-5		縁石工 	縁石・アスカーブ		8
	3-2-3-6		小型標識工			8
	3-2-3-7		防止柵工	立入防止柵		9
			防止柵工	転落(横断)防止柵		9
			防止柵工	車止めポスト		9
	3-2-3-8	1	路側防護柵工	ガードレール		9
		2	路側防護柵工	ガードケーブル		9
	3-2-3-9		区画線工		1	10
	3-2-3-10		道路付属物工	視線誘導標		10
			道路付属物工	距離標	+	10
	3-2-3-11		コンクリート面塗装工		+	10
	3-2-3-12	1	プレテンション桁製作工	 けた橋	+	11
	3-2-3-12	'	(購入工)	() /二個		- ''
				 フェデセ		
		2	プレテンション桁製作工 (購入工)	スラブ桁		11
	3-2-3-13		ポストテンション桁製作工			12
	3-2-3-14	1	プレキャストセグメント桁製作	(購入工)		13
		2	<u>エ</u> プレキャストセグメント主桁組	-	+ +	13
	<u></u>	L	立工	<u> </u>		
	3-2-3-15		PCホロースラブ製作工			13
	3-2-3-16	1	PC箱桁製作工			15
		2	PC押出し箱桁製作工			15
	3-2-3-17		根固めブロックエ			15
	3-2-3-18		沈床工	1	+	16
	3-2-3-19		捨石工	+	+ +	16
	3-2-3-19		階段工	1	+	16
	J-Z-J-ZZ	-		 	+	
	2 2 2 2 4	1	伸縮装置工	ゴムジョイント		16
	3-2-3-24		伸縮装置工	鋼製フィンガージョイン		17
	3-2-3-24	2				
	3-2-3-24	2		-		
	3-2-3-24		伸縮装置工	埋設型ジョイント		17
	3-2-3-24	3				17 18
		3	伸縮装置工 多自然型護岸工	埋設型ジョイント 巨石張り、巨石積み		18
	3-2-3-26	3 1 2	伸縮装置工 多自然型護岸工 多自然型護岸工	埋設型ジョイント 巨石張り、巨石積み かごマット		18 18
		3 1 2	伸縮装置工 多自然型護岸工	埋設型ジョイント 巨石張り、巨石積み		18

ſ	編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
ſ				プレキャストカルバートエ	プレキャストパイプエ		19

 編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	
/柵、字、即	3-2-3-29	12 1	側溝工	プレキャストU型側溝	平用する田木が自任至年	20
	3 2 3 23	1	側溝工	L型側溝工		20
		1	側溝工	自由勾配側溝		20
		1	側溝工	管渠		20
		2	側溝工	場所打水路工		20
	3-2-3-29	3	側溝工	暗渠工		20
	3-2-3-30		集水桝工			21
	3-2-3-31		現場塗装工			21
第4節 基礎工	3-2-4-1		一般事項	切込砂利		22
37 M - 2 K -	0 2 1 1		一般事項	砕石基礎工		22
			** * * * * * * * * * * * * * * * * * * *			22
			一般事項	割ぐり石基礎工		
			一般事項	均しコンクリート		22
	3-2-4-3	1	基礎工(護岸)	現場打		22
		2	基礎工(護岸)	プレキャスト		23
	3-2-4-4	1	既製杭工	既製コンクリート杭		23
		1	既製杭工	鋼管杭		23
		1	既製杭工	H鋼杭		23
		2	既製杭工	鋼管ソイルセメント杭		23
	3-2-4-5		場所打杭工			23
	3-2-4-6		深礎工			24
	3-2-4-7		オープンケーソン基礎工			24
	3-2-4-8		ニューマチックケーソン基	+		24
			一 エ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・			
	2_2 4 0			+		25
Mr. F. Mr	3-2-4-9	-	鋼管矢板基礎工			
第5節 石・ブロック積 (張)エ	3-2-5-3	1	コンクリートブロックエ	コンクリートブロック積		25
\JX/ <u></u>		1	コンクリートブロックエ	コンクリートブロック張		25
				Ŋ		
		2	コンクリートブロックエ	連節ブロック張り		25
			コンクリートブロックエ	天端保護ブロック		26
	3-2-5-4	Ť	緑化ブロックエ	八叫杯殴了一丁丁		26

	3-2-5-5		石積(張)工			26
第6節 一般舗装工	3-2-6-6	4	橋面防水工(シート系床版			27
			防水層)			
	3-2-6-7	1	アスファルト舗装工	下層路盤工		28
		2	アスファルト舗装工	下層路盤工		31
				(面管理の場合)		
		3	アスファルト舗装工	上層路盤工		28
		3	アスファルト舗表工	工度均益工 (20
		8	アスファルト舗装工	上層路盤工(粒度調整路盤		32
		3	アスファルト舗装工	工) (面管理の場合) 上層路盤工(セメント		29
		ľ	アスプアルト 開設工	(石灰)安定処理工)		23
		9	アスファルト舗装工	上層路盤工(セメント		33
				(石灰)安定処理工) (面管理の場合)		
				(面自生の場合)		
		4	アスファルト舗装工	加熱アスファルト安定処理工		29
		10	アスファルト舗装工	加熱アスファルト安定処理工		34
		5	アスファルト舗装工	(面管理の場合) 基層工		30
	- 1					
		11	アスファルト舗装工	基層工(面管理の場合)		35
		6	アスファルト舗装工	表層工		30
		12	アスファルト舗装工	表層工(面管理の場合)		36
	3-2-6-8	1	半たわみ性舗装工	下層路盤工		37
		7	半たわみ性舗装工	下層路盤工		39
				(面管理の場合)		
		3	半たわみ性舗装工	上層路盤工		37
		"	1 , C 1 / V / 1 x mn 4 X - X	(粒度調整路盤工)		07
			ル ナ よっ 7. Mr ペナサー			10
		8	半たわみ性舗装工	上層路盤工(粒度調整路盤 工) (面管理の場合)		40
		3	半たわみ性舗装工	上層路盤工(セメント		38
				(石灰) 安定処理工)		
		0	半たわみ性舗装工	上層路盤工(セメント		41
		9	十にわの注酬表上	上僧路盤工(セメント (石灰)安定処理工)		41
				(面管理の場合)		
		L				
		4	半たわみ性舗装工	加熱アスファルト安定処理エ		38
		10	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	ho. \$1. 7. 7. 7. 7. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1.		40
		10	半たわみ性舗装工	加熱アスファルト安定処理工 (面管理の場合)		42
		5	半たわみ性舗装工	- (<u>国官理の場合)</u> 基層工		38
			半たわみ性舗装工	本信工 基層工(面管理の場合)		43
	1	I 6	半たわみ性舗装工	表層工		38
		12	半たわみ性舗装工	表層工(面管理の場合)		44

П		久	壮采	工種	種別 準用する出来形管理基準	百
	編、章、節	条	枝番			頁
		3-2-6-9		排水性舗装工	下層路盤工	45
			7	排水性舗装工	下層路盤工 (面管理の場合)	47
			2	排水性舗装工	上層路盤工 (粒度調整路盤工)	45
					\	
			8	排水性舗装工	上層路盤工(粒度調整路盤	48
			3	排水性舗装工	工) (面管理の場合) 上層路盤工(セメント	45
			•	1777 E 1113 &	(石灰)安定処理工)	
			9	排水性舗装工	上層路盤工(セメント	49
			*	1557八江喘袭工	(石灰)安定処理工)	45
					(面管理の場合)	
				ᆘᆉᄽᄽᄽ	加熱マスコールト空中的	AC
			4	排水性舗装工	加熱アスファルト安定処 理工	46
			- 10			
			10	排水性舗装工 	加熱アスファルト安定処 理工(面管理の場合)	50
				排水性舗装工	基層工	46
				排水性舗装工	基層工(面管理の場合)	51
			6	排水性舗装工	表層工	46
\perp				排水性舗装工	表層工(面管理の場合)	52
		3-2-6-10		透水性舗装工	路盤工	53
			3	透水性舗装工	路盤工(面管理の場合)	54
			2	透水性舗装工	表層工	53
			4	透水性舗装工	表層工(面管理の場合)	55
		3-2-6-11	1	グースアスファルト舗装工	加熱アスファルト安定処	56
					理工	
			4	グースアスファルト舗装工	加熱アスファルト安定処	57
					理工(面管理の場合)	
			2		基層工	56
				グースアスファルト舗装工	基層工(面管理の場合)	58
				グースアスファルト舗装工	表層工	56
				グースアスファルト舗装工	表層工(面管理の場合)	59
		3-2-6-12	1	コンクリート舗装工	下層路盤工	60
		3 2 0 12	11	コンクリート舗装工	下層路盤工	64
			''	コングリード研表工	「面管理の場合)	04
			_			60
				コンクリート舗装工	粒度調整路盤工	60
			12	コンクリート舗装工	粒度調整路盤工 (面管理の場合)	65
			3	コンクリート舗装工	セメント(石灰・瀝青) 安定処理工	61
					文定规程工	
			13	コンクリート舗装工	セメント(石灰・瀝青)安定	66
					処理工 (面管理の場合)	
			4	コンクリート舗装工	アスファルト中間層	61
			14	コンクリート舗装工	アスファルト中間層	67
					(面管理の場合)	
			5	コンクリート舗装工	コンクリート舗装版工	62
			15	コンクリート舗装工	コンクリート舗装版工	68
					(面管理の場合)	
			6	 コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工	62
					(下層路盤工)	
			16	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工	69
				, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	(下層路盤工)	"
					(面管理の場合)	
			7	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工	62
			'	コンノノ 매衣工	(粒度調整路盤工)	J2
			17	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工	70
			''	コンノソード研衣上		/0
					(面管理の場合)	
			0	コンカリ ト金井子		£0
			8	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工 (セメント(石灰・瀝青)安	63
			L		定処理工)	
			18	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工 (セメント(石灰・瀝青)安	71
					(セメント(石灰・虚肖)女	
					(面管理の場合)	
			9	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工	63
					(アスファルト中間層)	
			19	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工	72
					(アスファルト中間層) (面管理の場合)	
1 1					\	
			10	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工	63
	i					
			20	コンクリート舗装工	転圧コンクリート版工	73
			20	コングリート舗装工 	転圧コンクリート版工 (面管理の場合)	/3

編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
1	3-2-6-13			下層路盤工	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	74
		2	薄層カラー舗装工	上層路盤工 (粒度調整路盤工)		74
		3	 薄層カラー舗装工 	 上層路盤工(セメント (石灰)安定処理工)		75
		4	薄層カラー舗装工	加熱アスファルト安定処理工		75
		5	 薄層カラー舗装工	 基層工		75
	3-2-6-14	1	ブロック舗装工	下層路盤工		76
		2	ブロック舗装工	上層路盤工 (粒度調整路盤工)		76
		3	 ブロック舗装工 	 上層路盤工(セメント (石灰)安定処理工)		77
		4	ブロック舗装工	加熱アスファルト安定処理工		77
		5	ブロック舗装工	基層工		77
	3-2-6-15	1	路面切削工			78
		2	路面切削工	(面管理の場合)		78
	3-2-6-16		舗装打換え工			78
	3-2-6-17	1	オーバーレイエ			79
		2	オーバーレイエ	(面管理の場合)		80
第7節 地盤改良工	3-2-7-2		路床安定処理工			81
	3-2-7-3		置換工			81
	3-2-7-4	1	表層安定処理工	サンドマット海上		82
		2	表層安定処理工	(ICT施工の場合)		82
	3-2-7-5		パイルネットエ			82
	3-2-7-6		サンドマットエ			83
	3-2-7-7		バーチカルドレーンエ	サンドドレーンエ		83
			バーチカルドレーンエ	ペーパードレーンエ		83
			バーチカルドレーンエ	袋詰式サンドドレーンエ		83
	3-2-7-8		締固め改良工	サンドコンパクションパ イルエ		83
	3-2-7-9	1	固結工	粉体噴射撹拌工		84
		1	固結工	高圧噴射撹拌工		84
		1	固結工	スラリー撹拌工		84
		1	固結工	生石灰パイルエ		84
		2	固結工	スラリー撹拌工「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領 (案) 第8編 固結工 (スラリー撹拌工)・パーチカルド レーン工編」による管理の場合		84
		3	固結工	中層混合処理		85
第10節 仮設工	3-2-10-5	1	土留・仮締切工	H鋼杭		86
		1	土留・仮締切工	鋼矢板		86
		2	土留・仮締切工	アンカーエ		86
		3	土留・仮締切工	連節ブロック張りエ		86
		4	土留・仮締切工	締切盛土		86
		5	土留・仮締切工	中詰盛土		87
	3-2-10-9		地中連続壁工(壁式)			87
	3-2-10-10		地中連続壁工(柱列式)			87
	3-2-10-22		法面吹付工		3-2-14-3吹付工	101
第11節 軽量盛土工	3-2-11-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	6
第12節 工場製作工 (共通)	3-2-12-1	1	一般事項	鋳造費(金属支承工)		89
(共通)		2	一般事項	鋳造費 (大型ゴム支承工)		89
		3	一般事項	仮設材製作工		90
		4	一般事項	刃口金物製作工		90
	3-2-12-3	1	析製作工	仮組立による検査を実施 する場合		91
		1	析製作工	シミュレーション仮組立 検査を行う場合		91
		2	析製作工	 仮組立検査を実施しない 場合		93
		3	析製作工	鋼製堰堤製作工 (仮組立時)		94
	2 0 10 4					0.5
	3-2-12-4		検査路製作工			95
	3-2-12-5	-	鋼製伸縮継手製作工 蒸炼防止装置制作工	+		95 05
	3-2-12-6	-	落橋防止装置製作工	+		95 05
	3-2-12-7	-	橋梁用防護柵製作工 マンカーフレー / 制作工	+		95 96
		-	アンカーフレーム製作工	+		
	3-2-12-9	-	プレビーム用桁製作工			96
	3-2-12-10		鋼製排水管製作工 工場塗装工			96 97

1	編、章、節		枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第13節	橋梁架設工	3-2-13		提設工(鋼橋)	クレーン架設		98
			-	に設工(鋼橋)	ケーブルクレーン架設		98
			2	P:設工(鋼橋)	ケーブルエレクション架設		98
			力	R設工(鋼橋)			98
			2	R設工(鋼橋)	送出し架設		98
				R設工(鋼橋)	トラベラークレーン架設		98
				R設工(コンクリート橋)	クレーン架設		99
				R設工(コンクリート橋)	架設桁架設		99
				₽設工支保工 	固定		99
				提設工支保工 	移動		99
				毕設桁架設	片持架設		99
			2	架設桁架設	押出し架設		99
第14節	法面工(共通)	3-2-14-2	1 ħ	直生工	種子散布工		99
			1 A	直生工	張芝工		99
			1 A	直生工	筋芝工		99
		İ	1 村	直生工	市松芝工		99
			1 A		植生シートエ		99
		 		 直生工	植生マットエ		99
				≘ 	植生筋工		99
					人工張芝工		
				直生工 * 生工	· · ••··=		99
		L		直生工 + 4 =	植生穴工		99
		L		直生工	植生基材吹付工		100
			2 村	直生工	客土吹付工		100
		3-2-14-3	D)	欠付工	コンクリート		101
		l t	ŋ.	欠付工	モルタル		101
		3-2-14-4	1 %	去枠工	現場打法枠工		102
		t		去 枠工	現場吹付法枠工		102
			2 %		プレキャスト法枠工		102
		3-2-14-6		マンカーエ	77 (77) 201		103
位15位	擁壁工 (共通)	3-2-15-1		・シガーエ -般事項	 場所打擁壁工		103
第13則	摊堂工 (共通)			***************************************	場別打摊堂工		
		3-2-15-2		プレキャスト擁壁工			104
		3-2-15-3	7	甫強土壁工	補強土(テールアルメ)壁工		105
			*	捕強土壁工			105
			7	甫強土壁工	ジオテキスタイルを用いた補 強土工法		105
		3-2-15-4	ŧ	 ‡桁ブロックエ	<u> </u>		105
第16節	浚渫工(共通)	3-2-16-3		を漢船運転工	 ポンプ浚渫船		106
NI ONI	及床上(八起)			发决船建転工 发渫船運転工	グラブ浚渫船、バックホウ浚		106
			2 /2	文/木加连私工	漢船 「漢船		100
			3 %	俊渫船運転工	バックホウ浚渫船		106
					(面管理の場合)		
第18節	床版工	3-2-18-2	Б	末版工			107
編河川組	編	-					
打章 築堤	₹・護岸						
第3節 軽	圣量盛土工	6-1-3-2	1	圣量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	6
	 也盤改良工	6-1-4-2		 長層安定処理工		3-2-7-4表層安定処理工	82
יי יושדינאן	5	6-1-4-3				3-2-7-5パイルネットエ	82
			- '	パイルネットエ		·	83
		16_1 / /	1 -				
		6-1-4-4	/	バーチカルドレーンエ		3-2-7-7バーチカルドレー ンエ	03
						ンエ	
		6-1-4-5	糸	帝固め改良工		ンエ 3-2-7-8締固め改良エ	83
		6-1-4-5 6-1-4-6	*	帝固め改良工 国結工		ンエ 3-2-7-8締固め改良エ 3-2-7-9固結エ	83 84
第5節 話	養岸基礎工	6-1-4-5	*	帝固め改良工		ンエ 3-2-7-8締固め改良エ	83
第5節 話	崔岸基礎工	6-1-4-5 6-1-4-6	彩 豆	帝固め改良工 国結工		ンエ 3-2-7-8締固め改良エ 3-2-7-9固結エ	83 84
	養岸基礎工 天板護岸工	6-1-4-5 6-1-4-6 6-1-5-3	系 [] []	帝固め改良工 国結工 基礎工		ンエ 3-2-7-8締固め改良エ 3-2-7-9固結エ 3-2-4-3基礎エ(護岸)	83 84 22
		6-1-4-5 6-1-4-6 6-1-5-3 6-1-5-4	糸 位 き う	帝固め改良工 国結工 基礎工 天板工		ンエ 3-2-7-8締固め改良工 3-2-7-9固結エ 3-2-4-3基礎工 (護岸) 3-2-3-4矢板エ	83 84 22 8
第6節 矢		6-1-4-5 6-1-4-6 6-1-5-3 6-1-5-4 6-1-6-3	条 国 妻 う 会	帝固め改良工 国結工 基礎工 天板工 空コンクリートエ		ンエ 3-2-7-8締固め改良工 3-2-7-9固結エ 3-2-4-3基礎エ (護岸) 3-2-3-4矢板エ 3-2-4-3基礎エ (護岸)	83 84 22 8 23
第6節 矢	天板護岸工	6-1-4-5 6-1-4-6 6-1-5-3 6-1-5-4 6-1-6-3 6-1-6-4	条 国 妻 う 会	帝固め改良工		ンエ 3-2-7-8締固め改良工 3-2-7-9固結エ 3-2-4-3基礎エ(護岸) 3-2-3-4矢板エ 3-2-4-3基礎エ(護岸) 3-2-3-4矢板エ	83 84 22 8 23
第6節 矢	天板護岸工	6-1-4-5 6-1-4-6 6-1-5-3 6-1-5-4 6-1-6-3 6-1-6-4 6-1-7-3	新 電 ま ラ 会 ラ	帝固め改良工		ンエ 3-2-7-8締固め改良エ 3-2-7-9固結エ 3-2-4-3基礎エ (護岸) 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4 - 1	83 84 22 8 23 8 26
第6節 矢	天板護岸工	6-1-4-5 6-1-4-6 6-1-5-3 6-1-5-4 6-1-6-3 6-1-6-4 6-1-7-3	条 [E] まった (まった) まった (まった	帝固め改良工		ンエ 3-2-7-8締固め改良エ 3-2-7-9固結エ 3-2-4-3基礎エ(護岸) 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-5-3コンクリートプロックエ	83 84 22 8 23 8 26
第6節 矢	天板護岸工	6-1-4-5 6-1-4-6 6-1-5-3 6-1-5-4 6-1-6-3 6-1-6-4 6-1-7-3 6-1-7-4 6-1-7-5	条 位	帝固め改良工 動結工 基礎工 天板工 空コンクリートエ 天板エ コンクリートブロックエ 養岸付属物工 录化ブロックエ		ンエ 3-2-7-8締固め改良エ 3-2-7-9固結エ 3-2-4-3基礎エ(護岸) 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-4線化ブロックエ	83 84 22 8 23 8 26
第6節 矢	天板護岸工	6-1-4-5 6-1-4-6 6-1-5-3 6-1-5-4 6-1-6-3 6-1-6-4 6-1-7-3	条 位	帝固め改良工		ンエ 3-2-7-8締固め改良エ 3-2-7-9固結エ 3-2-4-3基礎エ(護岸) 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-4緑化ブロックエ 3-2-5-3コンクリートブ	83 84 22 8 23 8 26
第6節 矢	天板護岸工	6-1-4-5 6-1-4-6 6-1-5-3 6-1-5-4 6-1-6-3 6-1-6-4 6-1-7-3 6-1-7-4 6-1-7-5 6-1-7-6	新直きうちうこ記新野	帝固め改良工 動結工 基礎工 長板工 をコンクリートエ 長板エ コンクリートブロックエ 養岸付属物工 录化ブロックエ 環境護岸ブロックエ		ンエ 3-2-7-8締固め改良エ 3-2-7-9固結エ 3-2-4-3基礎エ(護岸) 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-4緑化ブロックエ 3-2-5-3コンクリートブロックエ	83 84 22 8 23 8 26 108 26 26
第6節 矢	天板護岸工	6-1-4-5 6-1-4-6 6-1-5-3 6-1-5-4 6-1-6-3 6-1-6-4 6-1-7-3 6-1-7-4 6-1-7-5 6-1-7-6 6-1-7-7	条 位 き き き /li>	帝固め改良工 到結工 表礎工 天板工 空コンクリートエ 天板エ コンクリートブロックエ 護岸付属物工 录化ブロックエ 環境護岸ブロックエ		ンエ 3-2-7-8締固め改良エ 3-2-7-9固結エ 3-2-4-3基礎エ(護岸) 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-4縁化ブロックエ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ	83 84 22 8 23 8 26 108 26 26
第6節 矢	天板護岸工	6-1-4-5 6-1-4-6 6-1-5-3 6-1-5-4 6-1-6-3 6-1-6-4 6-1-7-3 6-1-7-4 6-1-7-5 6-1-7-6 6-1-7-7 6-1-7-8	条 位 き き き /li>	帝固め改良工 動結工 基礎工 長板工 をコンクリートエ 長板エ コンクリートブロックエ 養岸付属物工 录化ブロックエ 環境護岸ブロックエ		ンエ 3-2-7-8締固め改良エ 3-2-7-9固結エ 3-2-4-3基礎エ(護岸) 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-4緑化ブロックエ 3-2-5-3コンクリートブロックエ	83 84 22 8 23 8 26 108 26 26
第6節 矢	天板護岸工	6-1-4-5 6-1-4-6 6-1-5-3 6-1-5-4 6-1-6-3 6-1-6-4 6-1-7-3 6-1-7-4 6-1-7-5 6-1-7-6 6-1-7-7	条 国 国 表 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会 会	帝固め改良工 到結工 表礎工 天板工 空コンクリートエ 天板エ コンクリートブロックエ 護岸付属物工 录化ブロックエ 環境護岸ブロックエ	巨石張り	ンエ 3-2-7-8締固め改良エ 3-2-7-9固結エ 3-2-4-3基礎エ(護岸) 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-4縁化ブロックエ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ	83 84 22 8 23 8 26 108 26 26
第6節 矢	天板護岸工	6-1-4-5 6-1-4-6 6-1-5-3 6-1-5-4 6-1-6-3 6-1-6-4 6-1-7-3 6-1-7-4 6-1-7-5 6-1-7-6 6-1-7-7 6-1-7-8	条 [] ま う 会 会 ラ =	帝固め改良工 到結工 基礎工 天板工 生コンクリートエ 天板エ コンクリートブロックエ 養岸付属物工 录化ブロックエ 環境護岸ブロックエ	巨石張り	ンエ 3-2-7-8締固め改良エ 3-2-7-9固結エ 3-2-4-3基礎エ(護岸) 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 3-2-14-4法枠エ	83 84 22 8 23 8 26 108 26 26 26
第6節 矢	天板護岸工	6-1-4-5 6-1-4-6 6-1-5-3 6-1-5-4 6-1-6-3 6-1-6-4 6-1-7-3 6-1-7-4 6-1-7-5 6-1-7-6 6-1-7-7 6-1-7-8	条 [] 基	帝固め改良工 到結工 基礎工 長板工 生コンクリートエ 長板エ コンクリートブロックエ 護岸付属物工 录化ブロックエ 環境護岸ブロックエ 5積(張)エ 去枠工 多自然型護岸エ	巨石積み	ンエ 3-2-7-8締固め改良エ 3-2-7-9固結エ 3-2-4-3基礎エ(護岸) 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-4緑化ブロックエ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 3-2-14-4法枠エ 3-2-3-26多自然型護岸エ	83 84 22 8 23 8 26 108 26 26 26
第6節 矢	天板護岸工	6-1-4-5 6-1-4-6 6-1-5-3 6-1-5-4 6-1-6-3 6-1-6-4 6-1-7-3 6-1-7-4 6-1-7-5 6-1-7-6 6-1-7-7 6-1-7-8 6-1-7-9	条 恒 型 分 交 分 二	帝固め改良工 国結工 基礎工 長板工 生コンクリートエ 長板エ コンクリートブロックエ 護岸付属物工 最化ブロックエ 環境護岸ブロックエ 石積(張)工 去枠工 多自然型護岸エ 多自然型護岸エ 多自然型護岸エ		ンエ 3-2-7-8締固め改良エ 3-2-7-9固結エ 3-2-4-3基礎エ(護岸) 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 3-2-14-4法枠エ 3-2-3-26多自然型護岸エ 3-2-3-26多自然型護岸エ 3-2-3-26多自然型護岸エ	83 84 22 8 23 8 26 108 26 26 26 102 18 18
第6節 矢	天板護岸工	6-1-4-5 6-1-4-6 6-1-5-3 6-1-5-4 6-1-6-3 6-1-6-4 6-1-7-3 6-1-7-4 6-1-7-5 6-1-7-6 6-1-7-7 6-1-7-8 6-1-7-9	条 垣 表 5 C C C C C C C C C C C C C C C C C C	帝固め改良工 国結工 基礎工 長板工 生コンクリートエ 長板エ コンクリートブロックエ 護岸付属物工 最化ブロックエ 環境護岸ブロックエ 5積(張)エ 去枠工 多自然型護岸エ 多自然型護岸エ 多自然型護岸エ を対して	巨石積み	ンエ 3-2-7-8締固め改良エ 3-2-7-9固結エ 3-2-4-3基礎エ(護岸) 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-4線化ブロックエ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 3-2-14-4法枠エ 3-2-3-26多自然型護岸エ 3-2-3-26多自然型護岸エ 3-2-3-26多自然型護岸エ 3-2-3-26多自然型護岸エ 3-2-3-26多自然型護岸エ 3-2-14-3吹付エ	83 84 22 8 23 8 26 108 26 26 102 18 18 18
第6節 矢	天板護岸工	6-1-4-5 6-1-4-6 6-1-5-3 6-1-5-4 6-1-6-3 6-1-6-4 6-1-7-3 6-1-7-4 6-1-7-5 6-1-7-6 6-1-7-7 6-1-7-8 6-1-7-9 6-1-7-10 6-1-7-11	* · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	帝固め改良工 国結工 表礎工 天板工 空コンクリートエ 天板エ コンクリートブロックエ 護岸付属物工 最化ブロックエ 環境護岸ブロックエ 5積(張)エ 去枠工 多自然型護岸エ 多自然型護岸エ を自然型護岸エ を対して	巨石積み	ンエ 3-2-7-8締固め改良エ 3-2-7-9固結エ 3-2-4-3基礎エ(護岸) 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-4線化ブロックエ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 3-2-14-4法枠エ 3-2-3-26多自然型護岸エ 3-2-3-26多自然型護岸エ 3-2-3-26多自然型護岸エ 3-2-14-3吹付エ 3-2-14-2植生エ	83 84 22 8 23 8 26 108 26 26 102 18 18 18 101 100
第6節 矢	天板護岸工	6-1-4-5 6-1-4-6 6-1-5-3 6-1-5-4 6-1-6-3 6-1-6-4 6-1-7-3 6-1-7-4 6-1-7-5 6-1-7-6 6-1-7-7 6-1-7-8 6-1-7-9 6-1-7-10 6-1-7-11 6-1-7-12	条 垣 表 夕 公 夕 二	帝固め改良工 国結工 表礎工 天板工 空コンクリートエ 天板エ コンクリートブロックエ 護岸付属物工 最化ブロックエ 環境護岸ブロックエ 5積(張)エ 去枠工 多自然型護岸エ 多自然型護岸エ タイナ を対して をがして をがし をがし をがして をがし をがし をがし をが をがし をがし をがし をがし	巨石積みがごマット	ンエ 3-2-7-8締固め改良エ 3-2-7-9固結エ 3-2-4-3基礎エ(護岸) 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-4線化ブロックエ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 3-2-14-4法枠エ 3-2-3-26多自然型護岸エ 3-2-3-26多自然型護岸エ 3-2-3-26多自然型護岸エ 3-2-14-3吹付エ 3-2-14-2植生エ 1-2-3-5法面整形エ	83 84 22 8 23 8 26 108 26 26 26 102 18 18 18 101 100 4
第6節 矢	天板護岸工	6-1-4-5 6-1-4-6 6-1-5-3 6-1-5-4 6-1-6-3 6-1-6-4 6-1-7-3 6-1-7-4 6-1-7-5 6-1-7-6 6-1-7-7 6-1-7-8 6-1-7-9 6-1-7-10 6-1-7-11	* II	帝固め改良工 国結工 表礎工 天板工 空コンクリートエ 天板エ コンクリートブロックエ 護岸付属物工 最化ブロックエ 環境護岸ブロックエ 5積(張)エ 去枠工 多自然型護岸エ 多自然型護岸エ タイナ を対して をがして をがして をがして をがして をがして をが をがして をがし をがし をがし をが をがし をがし をがし をが をが をが をが をが をが をが をが をが をが	巨石積み かごマット じゃかご	ンエ 3-2-7-8締固め改良エ 3-2-7-9固結エ 3-2-4-3基礎エ(護岸) 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-4緑化ブロックエ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 3-2-5-5石積(張)エ 3-2-14-4法枠エ 3-2-3-26多自然型護岸エ 3-2-3-26多自然型護岸エ 3-2-3-26多自然型護岸エ 3-2-14-3吹付エ 3-2-14-2植生エ 1-2-3-5法面整形エ 3-2-3-27羽口エ	83 84 22 8 23 8 26 108 26 26 102 18 18 18 101 100 4
第6節 矢	天板護岸工	6-1-4-5 6-1-4-6 6-1-5-3 6-1-5-4 6-1-6-3 6-1-6-4 6-1-7-3 6-1-7-4 6-1-7-5 6-1-7-6 6-1-7-7 6-1-7-8 6-1-7-9 6-1-7-10 6-1-7-11 6-1-7-12	条 恒 20 2 5 5 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	帝固め改良工 国結工 表礎工 天板工 空コンクリートエ 天板エ コンクリートブロックエ 護岸付属物工 最化ブロックエ 環境護岸ブロックエ 5積(張)エ 去枠工 多自然型護岸エ 多自然型護岸エ タイナ を対して をがして をがし をがし をがして をがし をがし をがし をが をがし をがし をがし をがし	巨石積みがごマット	ンエ 3-2-7-8締固め改良エ 3-2-7-9固結エ 3-2-4-3基礎エ(護岸) 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-4線化ブロックエ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 3-2-14-4法枠エ 3-2-3-26多自然型護岸エ 3-2-3-26多自然型護岸エ 3-2-3-26多自然型護岸エ 3-2-14-3吹付エ 3-2-14-2植生エ 1-2-3-5法面整形エ	83 84 22 8 23 8 26 108 26 26 102 18 18 18 101 100 4

編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
			羽口工	連節ブロック張り	3-2-5-3コンクリートブロック エ (連節ブロック張り)	26

たたりたた 14th Pth =## 44 =	0.1.0.0	枝番	-	種別	準用する出来形管理基準	頁
第8節 擁壁護岸工	6-1-8-3	1	場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	104
	6-1-8-4		プレキャスト擁壁エ		3-2-15-2プレキャスト擁 壁エ	104
第9節 根固め工	6-1-9-3		根固めブロックエ		3-2-3-17根固めブロック エ	15
	6 1 0 5	-	油庄工			10
	6-1-9-5	1	沈床工		3-2-3-18沈床工	16
	6-1-9-6	1	捨石工		3-2-3-19捨石工	16
	6-1-9-7		かごエ	じゃかご	3-2-3-27羽口工	19
			かごエ	ふとんかご	3-2-3-27羽口工	19
第10節 水制工	6-1-10-3		沈床工		3-2-3-18沈床工	16
	6-1-10-4		捨石工		3-2-3-19捨石工	16
	6-1-10-5		かごエ	じゃかご	3-2-3-27羽口工	19
			かごエ	ふとんかご	3-2-3-27羽口工	19
	6-1-10-8	1	杭出し水制工			108
第11節 付帯道路工	6-1-11-3	1	路側防護柵工		3-2-3-8路側防護柵工	9
	6-1-11-5		アスファルト舗装工		3-2-6-7アスファルト舗装工	28
	6-1-11-6		コンクリート舗装工		3-2-6-12コンクリート舗装エ	60
	6-1-11-7		薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装工	74
	0.4.44.0					70
	6-1-11-8	1	ブロック舗装工		3-2-6-14ブロック舗装工	76
	6-1-11-9	1	側溝工		3-2-3-29側溝工	20
	6-1-11-10		集水桝工		3-2-3-30集水桝工	21
	6-1-11-11		縁石工		3-2-3-5縁石工	8
	6-1-11-12		区画線工		3-2-3-9区画線工	10
第12節 付帯道路施設工	6-1-12-3		道路付属物工		3-2-3-10道路付属物工	10
	6-1-12-4		標識工		3-2-3-6小型標識工	8
第13節 光ケーブル配管工	6-1-13-3	1	配管工			108
	6-1-13-4	+	ハンドホールエ		+	109
2章 浚渫(川)		1	1			
第2節 浚渫工 (ポンプ浚渫船)	6-2-3-2		浚渫船運転工 (民船・官船)		3-2-16-3浚渫船運転工	10
第3節 浚渫工	6-2-4-2	+	浚渫船運転工		3-2-16-3浚渫船運転工	10
(グラブ浚渫船)		1	N/S SHILL AND AFTER C			
第4節 浚渫工 (バックホウ浚渫船)	6-2-5-2	1	浚渫船運転工		3-2-16-3浚渫船運転工	106
		2	浚渫船運転工 (面管理の場合) 		3-2-16-3浚渫船運転工	10
3章 樋門・樋管 第3節 軽量盛土工	6-3-3-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	6
		-			1-2-4-3路体盤工工 3-2-7-9固結工	
	6-3-4-2		固結工 既製杭工			84
	6-3-5-3				3-2-4-4既製杭工	
	6-3-5-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	23
	6-3-5-4 6-3-5-5		場所打杭工 矢板工			23 8
	6-3-5-4	1	場所打杭工	本体工	3-2-4-5場所打杭工	23 8
	6-3-5-4 6-3-5-5		場所打杭工 矢板工	本体工	3-2-4-5場所打杭工	23 8 10
· · · · · · ·	6-3-5-4 6-3-5-5	2	場所打杭工 矢板工 函渠工		3-2-4-5場所打杭工	23 8 109
· · · · · · ·	6-3-5-4 6-3-5-5	2	場所打杭工 矢板工 函渠工 函渠工	ヒューム管	3-2-4-5場所打杭工	23 8 109 109
· · · · · · ·	6-3-5-4 6-3-5-5	2 2	場所打杭工 矢板工 函渠工 函渠工 函渠工	ヒューム管 P C 管	3-2-4-5場所打杭工	23 8 109 109 109
· · · · · · ·	6-3-5-4 6-3-5-5	2 2	場所打杭工 矢板工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工	ヒューム管 P C 管 コルゲートパイプ	3-2-4-5場所打杭工 3-2-3-4矢板工 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-28ブレキャストカル	23 8 10: 10: 10: 10: 10:
· · · · · · ·	6-3-5-4 6-3-5-5	2 2	場所打杭工 矢板工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管	3-2-4-5場所打杭工 3-2-3-4矢板工	23 8 109 109 109 109 109
· · · · · · ·	6-3-5-4 6-3-5-5 6-3-5-6	2 2	場所打杭工 矢板工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 图渠工	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管	3-2-4-5場所打杭工 3-2-3-4矢板工 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-28ブレキャストカル	23 8 109 109 109 109 110
第5節 樋門・樋管本体工	6-3-5-4 6-3-5-5 6-3-5-6	2 2	場所打杭工 矢板工 图集工 图集工 图集工 图集工 图集工 图集工 翼壁工	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管	3-2-4-5場所打杭工 3-2-3-4矢板工 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-28ブレキャストカル	233 8 109 109 109 109 110 110
第5節 樋門・樋管本体工	6-3-5-4 6-3-5-5 6-3-5-6 6-3-5-7 6-3-5-8 6-3-6-3	2 2	場所打杭工 矢板工 圏渠工 圏渠工 圏渠工 圏渠工 関連工 水叩工 根固めブロックエ	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管	3-2-4-5場所打杭工 3-2-3-4矢板工 3-2-3-28プレキャストカル バートエ 3-2-3-17根固めブロック エ	23 8 109 109 109 109 119 110 110
第5節 樋門・樋管本体工	6-3-5-4 6-3-5-5 6-3-5-6 6-3-5-7 6-3-5-8 6-3-6-3 6-3-6-5	2 2	場所打杭工 矢板工 圏渠工 圏渠工 圏渠工 圏渠工 圏渠工 関撃工 大叩工 根固めブロックエ 沈床工	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管	3-2-4-5場所打杭工 3-2-3-4矢板工 3-2-3-4矢板工 3-2-3-28プレキャストカル バートエ 3-2-3-17根固めブロック エ 3-2-3-18沈床工	23 8 109 109 109 109 110 110 110 110 15
第5節 樋門・樋管本体工	6-3-5-4 6-3-5-5 6-3-5-6 6-3-5-7 6-3-5-8 6-3-6-3 6-3-6-5 6-3-6-6	2 2	場所打杭工 矢板工 圏渠工 圏渠工 圏渠工 圏渠工 圏渠工 関連工 水叩工 根固めブロックエ 沈床工 捨石工	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管 PC函渠	3-2-4-5場所打杭工 3-2-3-4矢板工 3-2-3-28プレキャストカル バートエ 3-2-3-17根固めブロック エ 3-2-3-18沈床工 3-2-3-19捨石工	23 8 109 109 109 109 110 110 110 15 16 16
第5節 樋門・樋管本体工	6-3-5-4 6-3-5-5 6-3-5-6 6-3-5-7 6-3-5-8 6-3-6-3	2 2	場所打杭工 矢板工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 國渠工 國渠工 関撃工 東型 東型 東型 東型 東型 東型 東型 東型 東型 大切工 根固めブロックエ 沈床工 捨石工 かご工	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管 PC函渠	3-2-4-5場所打杭工 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-28プレキャストカル バートエ 3-2-3-17根固めブロック エ 3-2-3-18沈床エ 3-2-3-19拾石エ 3-2-3-27羽口エ	23 8 109 109 109 110 110 110 110 15 16 16 16
第5節 樋門・樋管本体工	6-3-5-4 6-3-5-5 6-3-5-6 6-3-5-7 6-3-5-8 6-3-6-3 6-3-6-5 6-3-6-6 6-3-6-7	2 2	場所打杭工 矢板工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 國渠工 國渠工 関撃工 東町工 根固めブロックエ 沈床工 捨石工 かご工	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管 PC函渠	3-2-4-5場所打杭工 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-28プレキャストカル バートエ 3-2-3-17根固めブロック エ 3-2-3-18沈床エ 3-2-3-19拾石エ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-27羽ロエ	23 8 109 109 109 109 110 110 15 16 16 19 19
第5節 樋門・樋管本体工	6-3-5-4 6-3-5-5 6-3-5-6 6-3-5-7 6-3-5-8 6-3-6-3 6-3-6-5 6-3-6-6 6-3-6-7	2 2	場所打杭工 矢板工 函渠工 函渠工 函渠工 図渠工 図渠工 図渠工 関連 変楽工 関連 水叩工 根固めブロックエ 沈床工 捨石工 かご工 側溝工	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管 PC函渠	3-2-4-5場所打杭エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-28プレキャストカル バートエ 3-2-3-17根固めブロック エ 3-2-3-18沈床エ 3-2-3-19捨石エ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-29側溝エ	233 8 8 1000 1000 1000 1000 1000 1000 100
第5節 樋門・樋管本体工	6-3-5-4 6-3-5-5 6-3-5-6 6-3-5-7 6-3-5-8 6-3-6-3 6-3-6-5 6-3-6-6 6-3-6-7	2 2	場所打杭工 矢板工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 図渠工 図渠工 図渠工 関壁工 水中工 根固めブロックエ 沈床工 捨石工 かご工 側溝工 集水桝工	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管 PC函渠	3-2-4-5場所打杭工 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-28プレキャストカル バートエ 3-2-3-17根固めブロック エ 3-2-3-18沈床エ 3-2-3-19捨石エ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-29側溝工 3-2-3-30集水桝エ	233 8 8 8 8 10° 10° 11° 11° 11° 11° 11° 11° 11° 11°
第5節 樋門・樋管本体工	6-3-5-4 6-3-5-5 6-3-5-6 6-3-5-7 6-3-5-8 6-3-6-3 6-3-6-5 6-3-6-6 6-3-6-7	2 2	場所打杭工 矢板工 函渠工 函渠工 函渠工 図渠工 図渠工 図渠工 関連 変楽工 関連 水叩工 根固めブロックエ 沈床工 捨石工 かご工 側溝工	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管 PC函渠	3-2-4-5場所打杭エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-28プレキャストカル バートエ 3-2-3-17根固めブロック エ 3-2-3-18沈床エ 3-2-3-19捨石エ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-29側溝エ	233 8 8 8 8 8 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
第5節 樋門・樋管本体工	6-3-5-4 6-3-5-5 6-3-5-6 6-3-5-7 6-3-5-8 6-3-6-3 6-3-6-5 6-3-6-6 6-3-6-7	2 2	場所打杭工 矢板工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 図渠工 図渠工 図渠工 関壁工 水中工 根固めブロックエ 沈床工 捨石工 かご工 側溝工 集水桝工	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管 PC函渠	3-2-4-5場所打杭工 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-28プレキャストカル バートエ 3-2-3-17根固めブロック エ 3-2-3-19捨石エ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-29側満工 3-2-3-29側満工 3-2-3-29暗渠エ 3-2-3-28プレキャストカ	233 8 8 8 1000 1000 1000 1000 1000 1000 1
第5節 樋門・樋管本体工 第6節 護床工 第7節 水路工	6-3-5-4 6-3-5-5 6-3-5-6 6-3-5-7 6-3-5-8 6-3-6-3 6-3-6-5 6-3-6-6 6-3-6-7 6-3-7-3 6-3-7-4 6-3-7-5 6-3-7-6	2 2	場所打杭工 矢板工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 図渠工 図渠工 選撃工 水間のグロックエ 沈床工 捨石エ かご工 側溝工 集水平 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管 PC函渠	3-2-4-5場所打杭工 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-28プレキャストカル バートエ 3-2-3-17根固めブロック エ 3-2-3-19捨石エ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-29側溝エ 3-2-3-29間渠エ 3-2-3-29暗渠エ 3-2-3-28プレキャストカルバートエ	233 8 8 100 100 100 100 100 100 100 100 100
第5節 樋門・樋管本体工 第6節 護床工 第7節 水路工	6-3-5-4 6-3-5-5 6-3-5-6 6-3-5-6 6-3-5-8 6-3-6-3 6-3-6-5 6-3-6-6 6-3-6-7 6-3-7-3 6-3-7-4 6-3-7-5 6-3-7-6	2 2	場所打杭工 矢板工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 図渠工 図渠工 選撃工 水根固めブロックエ 沈床工 捨石エ かご工 側溝工 集水平 電源 乗車 乗車 乗車 乗車 乗車 乗車 乗車 乗車 乗車 乗車	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管 PC函渠	3-2-4-5場所打杭工 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-28プレキャストカル パートエ 3-2-3-17根固めブロック エ 3-2-3-19捨石エ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-29側溝エ 3-2-3-29帽渠エ 3-2-3-29暗渠エ 3-2-3-28プレキャストカルバートエ 3-2-3-7防止柵エ	233 8 8 8 100 100 100 100 100 100 100 100 1
第6節 護床工 第7節 水路工	6-3-5-4 6-3-5-5 6-3-5-6 6-3-5-7 6-3-5-8 6-3-6-3 6-3-6-5 6-3-6-6 6-3-6-7 6-3-7-3 6-3-7-4 6-3-7-5 6-3-7-6	2 2	場所打杭工 矢板工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 図渠工 図渠工 選撃工 水間のグロックエ 沈床工 捨石エ かご工 側溝工 集水平 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管 PC函渠	3-2-4-5場所打杭工 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-28プレキャストカル バートエ 3-2-3-17根固めブロック エ 3-2-3-19捨石エ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-29側溝エ 3-2-3-29間渠エ 3-2-3-29暗渠エ 3-2-3-28プレキャストカルバートエ	233 8 8 8 100 100 100 100 100 100 100 100 1
第5節 樋門・樋管本体工 第6節 護床工 第7節 水路工	6-3-5-4 6-3-5-5 6-3-5-6 6-3-5-6 6-3-5-8 6-3-6-3 6-3-6-5 6-3-6-6 6-3-6-7 6-3-7-3 6-3-7-4 6-3-7-5 6-3-7-6	2 2	場所打杭工 矢板工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 図渠工 図渠工 選撃工 水根固めブロックエ 沈床工 捨石エ かご工 側溝工 集水平 電源 乗車 乗車 乗車 乗車 乗車 乗車 乗車 乗車 乗車 乗車	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管 PC函渠	3-2-4-5場所打杭工 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-28プレキャストカル パートエ 3-2-3-17根固めブロック エ 3-2-3-19捨石エ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-29側溝エ 3-2-3-29帽渠エ 3-2-3-29暗渠エ 3-2-3-28プレキャストカルバートエ 3-2-3-7防止柵エ	233 8 8 8 100 100 100 100 100 100 100 100 1
第5節 樋門・樋管本体工 第6節 護床工 第7節 水路工 第8節 付属物設置工 1章 水門	6-3-5-4 6-3-5-5 6-3-5-6 6-3-5-6 6-3-5-8 6-3-6-3 6-3-6-5 6-3-6-6 6-3-6-7 6-3-7-3 6-3-7-4 6-3-7-5 6-3-7-6	2 2	場所打杭工 矢板工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 図渠工 図渠工 選撃工 水根固めブロックエ 沈床工 捨石エ かご工 側溝工 集水平 電源 乗車 乗車 乗車 乗車 乗車 乗車 乗車 乗車 乗車 乗車	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管 PC函渠	3-2-4-5場所打杭工 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-28プレキャストカル パートエ 3-2-3-17根固めブロック エ 3-2-3-19捨石エ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-29側溝エ 3-2-3-29帽渠エ 3-2-3-29暗渠エ 3-2-3-28プレキャストカルバートエ 3-2-3-7防止柵エ	233 8 8 100 100 100 100 100 100 100 100 100
 第5節 樋門・樋管本体工 第6節 護床工 第7節 水路工 第8節 付属物設置工 4章 水門 	6-3-5-4 6-3-5-5 6-3-5-6 6-3-5-7 6-3-5-8 6-3-6-3 6-3-6-3 6-3-6-7 6-3-7-3 6-3-7-4 6-3-7-5 6-3-7-6 6-3-8-3 6-3-8-3	2 2	場所打杭工 矢板工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 國渠工 國渠工 選唑工 水根固めブロックエ 沈床工 捨石エ かが置工 横水工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管 PC函渠	3-2-4-5場所打杭エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-28プレキャストカル バートエ 3-2-3-17根固めブロック エ 3-2-3-19捨石エ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-29嶋溝エ 3-2-3-29嶋溝エ 3-2-3-29暗渠エ 3-2-3-28プレキャストカルバートエ 3-2-3-28プレキャストカルバートエ 3-2-3-7防止柵エ 3-2-3-22階段エ 3-2-12-3析製作エ 3-2-12-5鋼製伸縮継手製	233 8 8 1090 1090 1090 1100 1100 1100 1100 1100
第5節 樋門・樋管本体工 第6節 護床工 第7節 水路工 第8節 付属物設置工 1章 水門	6-3-5-4 6-3-5-5 6-3-5-6 6-3-5-6 6-3-5-8 6-3-6-3 6-3-6-3 6-3-6-6 6-3-6-7 6-3-7-4 6-3-7-5 6-3-7-6 6-3-8-3 6-3-8-3 6-3-8-7	2 2	場所打杭工 矢板工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 國渠工 國渠工 選擊工 水間 水間 水成石工 かごご工 側集水工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管 PC函渠	3-2-4-5場所打杭工 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-28プレキャストカル パートエ 3-2-3-17根固めブロック エ 3-2-3-19捨石エ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-29側溝エ 3-2-3-29帽渠エ 3-2-3-29暗渠エ 3-2-3-28プレキャストカルバートエ 3-2-3-7防止柵エ 3-2-3-22階段エ 3-2-3-22階段エ 3-2-12-3桁製作エ	233 8 8 1090 1090 1090 1100 1100 1100 1100 1100
 第5節 樋門・樋管本体工 第6節 護床工 第7節 水路工 第8節 付属物設置工 4章 水門 	6-3-5-4 6-3-5-5 6-3-5-6 6-3-5-6 6-3-5-8 6-3-6-3 6-3-6-3 6-3-6-6 6-3-6-7 6-3-7-4 6-3-7-5 6-3-7-6 6-3-8-3 6-3-8-3 6-3-8-7	2 2	場所打杭工 矢板工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 國渠工 國渠工 選擊工 水間 水間 水成石工 かごご工 側集水工 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管 PC函渠	3-2-4-5場所打杭エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-28プレキャストカル バートエ 3-2-3-17根固めブロック エ 3-2-3-19捨石エ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-29嶋溝エ 3-2-3-29嶋溝エ 3-2-3-29暗渠エ 3-2-3-28プレキャストカルバートエ 3-2-3-28プレキャストカルバートエ 3-2-3-7防止柵エ 3-2-3-22階段エ 3-2-12-3析製作エ 3-2-12-5鋼製伸縮継手製	23 23 8 8 1000 1000 1000 1000 1100 1100 1100
第4節 地盤改良工 第5節 樋門・樋管本体工 第6節 護床工 第7節 水路工 第8節 付属物設置工 4章 水門 第3節 工場製作工	6-3-5-4 6-3-5-5 6-3-5-6 6-3-5-7 6-3-5-8 6-3-6-3 6-3-6-3 6-3-6-6 6-3-6-7 6-3-7-4 6-3-7-5 6-3-7-6 6-3-8-3 6-3-8-3 6-3-8-3 6-3-8-7	2 2	場所打杭工 矢板工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 國渠工 國渠工 選壁工 水間 水成石エ が流石エ かご工 側葉水平 樋門接続暗渠工 防止柵工 防止柵工 防止柵工 防止件工 類型作工 類型作工 類型作工 類型作工 類型作工 類型作工 類型作工 類型作工 類型作工 類型作工	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管 PC函渠	3-2-4-5場所打杭エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-28プレキャストカルバートエ 3-2-3-17根固めブロックエ 3-2-3-19捨石エ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-29側溝エ 3-2-3-29帽藻エ 3-2-3-29暗溪エ 3-2-3-28プレキャストカルバートエ 3-2-3-7防止柵エ 3-2-3-22階段エ 3-2-3-22階段エ 3-2-12-3析製作エ 3-2-12-5鋼製伸縮継手製作エ	233 8 8 1090 1090 1090 1100 1100 1100 1100 1100
第5節 樋門・樋管本体工 第6節 護床工 第7節 水路工 第8節 付属物設置工 4章 水門	6-3-5-4 6-3-5-5 6-3-5-6 6-3-5-7 6-3-5-8 6-3-6-3 6-3-6-3 6-3-6-6 6-3-6-7 6-3-7-4 6-3-7-5 6-3-7-6 6-3-8-3 6-3-8-3 6-3-8-3 6-3-8-7	2 2	場所打杭工 矢板工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 函渠工 國渠工 國渠工 選壁工 水間 水成石エ が流石エ かご工 側葉水平 樋門接続暗渠工 防止柵工 防止柵工 防止柵工 防止件工 類型作工 類型作工 類型作工 類型作工 類型作工 類型作工 類型作工 類型作工 類型作工 類型作工	ヒューム管 PC管 コルゲートパイプ ダクタイル鋳鉄管 PC函渠	3-2-4-5場所打杭エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-4矢板エ 3-2-3-28プレキャストカル バートエ 3-2-3-17根固めブロックエ 3-2-3-19捨石エ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-29側溝エ 3-2-3-29帽渠エ 3-2-3-29暗渠エ 3-2-3-28プレキャストカルバートエ 3-2-3-7防止柵エ 3-2-3-22階段エ 3-2-12-3桁製作エ 3-2-12-5鋼製伸縮継手製作エ 3-2-12-6落橋防止装置製	233 8 8 1090 1090 1090 1100 1100 1100 1100 1100

編、章、節	条	枝番 工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
	6-4-3-7	橋梁用防護柵製作工		3-2-12-7橋梁用防護柵製	95
				作工	
	6-4-3-9	仮設材製作工		3-2-12-1仮設材製作工	90
	6-4-3-10	工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	97
笠 - 女 見 成 上 テ	6-4-5-2	** **		11 11	6
第5節 軽量盛土工		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	
第6節 水門本体工	6-4-6-4	既製杭工		3-2-4-4既製杭工	23
	6-4-6-5	場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	23
	6-4-6-6	矢板工 (遮水矢板)		3-2-3-4矢板工	8
	6-4-6-7	床版工			110
	6-4-6-8	堰柱工			110
	6-4-6-9	門柱工			110
		1 11			
	6-4-6-10	ゲート操作台工			110
	6-4-6-11	胸壁工			110
	6-4-6-12	翼壁工		6-3-5-7翼壁工	110
	6-4-6-13	水叩工		6-3-5-8水叩工	11
第7節 護床工	6-4-7-3	根固めブロックエ		3-2-3-17根固めブロックエ	15
	6-4-7-5	沈床工		3-2-3-18沈床工	16
	6-4-7-6	捨石工		3-2-3-19捨石工	16
	6-4-7-7	かごエ	じゃかご	3-2-3-27羽ロエ	19
		かごエ	ふとんかご	3-2-3-27羽口エ	19
第8節 付属物設置工	6-4-8-3	防止柵工		3-2-3-7防止柵工	9
カッポ 円属物改旦上				*** ***	
	6-4-8-8	階段工		3-2-3-22階段工	16
第9節 鋼管理橋上部工	6-4-9-4	架設工(クレーン架設)		3-2-13架設工 (鋼橋)	98
	6-4-9-5	架設工(ケーブルクレーン架		3-2-13架設工 (鋼橋)	98
		設)			
	6-4-9-6	架設工(ケーブルエレクション		3-2-13架設工 (鋼橋)	98
	6-4-9-7		+	3-2-13架設工(鋼橋)	98
	6-4-9-8	架設工(送出し架設)		3-2-13架設工(鋼橋)	98
	6-4-9-9	架設工(トラベラークレーン架		3-2-13架設工 (鋼橋)	98
	6-4-9-10			10-4-5-10支承工	14
				1 1 1	
第10節 橋梁現場塗装工	6-4-10-2	現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工	21
第11節 床版工	6-4-11-2	床版工		3-2-18-2床版工	10
第12節 橋梁付属物工	6-4-12-2	伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	16
(鋼管理橋)	6-4-12-4	地覆工		10-4-8-5地覆工	14
	6-4-12-5	橋梁用防護柵工		10-4-8-6橋梁用防護柵工	14
	6-4-12-6	橋梁用高欄工		10-4-8-7橋梁用高欄工	14
	6-4-12-7	検査路工		10-4-8-8検査路工	148
第14節 コンクリート管理橋	6-4-14-2	プレテンション桁製作工		3-2-3-12プレテンション桁製	11
上部工(PC橋)	0.4.14.0	(購入工)		作工(購入工)	10
第14節 コンクリート管理橋 上部工(PC橋)	6-4-14-3	ポストテンション桁製作工		3-2-3-13ポストテンション桁 製作工	12
	6-4-14-4	プレキャストセグメント桁製作		3-2-3-14プレキャストセグメ	13
		工 (購入工)		ント桁製作工	
				(購入工)	
	6-4-14-5	プレキャストセグメント主桁組 立エ		3-2-3-14プレキャストセグメ ント主桁組立エ	13
	6-4-14-6	<u> </u>		10-4-5-10支承工	14
	6-4-14-7	一	+	3-2-13架設工	99
	' ' '	本収土 (ノレ ノ木政)		(コンクリート橋)	33
	0.4.11.2				
	6-4-14-8	架設工(架設桁架設)		3-2-13架設工	99
				(コンクリート橋)	
	6-4-14-9	床版・横組工		3-2-18-2床版工	10
	6-4-14-10	落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	148
第15節 コンクリート管理橋 		支承工		10-4-5-10支承工	14
上部工					1-7
cァ_ (PCホロースラブ橋)					
	6-4-15-4	落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	148
	6-4-15-5	PCホロースラブ製作工		3-2-3-15PCホロースラ	14
				ブ製作工	
第16節 橋梁付属物工	6-4-16-2	 伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	17
第10節 偏未り属物工 (コンクリート管理橋)		11 TH 34 = -	<u> </u>	ITTTE 4X IE -	''
	6-4-16-4	地覆工		10-4-8-5地覆工	148
	6-4-16-5	橋梁用防護柵工	1	10-4-8-6橋梁用防護柵工	148
	6-4-16-6	橋梁用高欄工		10-4-8-7橋梁用高欄工	14
	6-4-16-7	検査路工		10-4-8-8検査路工	148
₩ 10 ₩ -		* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *		* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	
第18節 舗装工	6-4-18-5	アスファルト舗装工		3-2-6-7アスファルト舗装	28
	6-4-18-6	半たわみ性舗装工		3-2-6-8半たわみ性舗装工	37
	6-4-18-7	排水性舗装工		3-2-6-9排水性舗装工	45
	6-4-18-8			*** * * * * * * * * * * * * * * * * * *	53
		透水性舗装工		3-2-6-10透水性舗装工	
	6-4-18-9	グースアスファルト舗装工		3-2-6-11グースアスファ	56
				ルト舗装工	
	6-4-18-10	コンクリート舗装工		3-2-6-12コンクリート舗	60
				装工	

	編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
		6-4-18-11		薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装 エ	74
1		6-4-18-12		ブロック舗装工		3-2-6-14ブロック舗装工	76

編、章、節	条 枝番	工種	種別 準用する出来形管理基準	頁
5章 堰 第3節 工場製作工	6-5-3-3	刃口金物製作工	3-2-12-1刃口金物製作工	90
3704F — 932 H —	6-5-3-4	桁製作工	3-2-12-3桁製作工	91
	6-5-3-5	検査路製作工	3-2-12-4検査路製作工	95
	6-5-3-6	鋼製伸縮継手製作工	3-2-12-5鋼製伸縮継手製	95
			作工	
	6-5-3-7	落橋防止装置製作工	3-2-12-6落橋防止装置製 作工	95
	6-5-3-8	鋼製排水管製作工	3-2-12-10鋼製排水管製作工	96
	6-5-3-9	プレビーム用桁製作工	3-2-12-9プレビーム用桁製作 エ	96
	6-5-3-10	橋梁用防護柵製作工	3-2-12-7橋梁用防護柵製作工	95
	6-5-3-12	アンカーフレーム製作工	3-2-12-8アンカーフレーム製 作工	96
	6-5-3-13	仮設材製作工 	3-2-12-1仮設材製作工	90
	6-5-3-14	工場塗装工	3-2-12-11工場塗装工	97
第5節 軽量盛土工	6-5-5-2	軽量盛土工	1-2-4-3路体盛土工	6
第6節 可動堰本体工	6-5-6-3	既製杭工	3-2-4-4既製杭工	23
	6-5-6-4	場所打杭工	3-2-4-5場所打杭工	23
	6-5-6-5	オープンケーソン基礎工	3-2-4-7オープンケーソン基 礎エ	24
	6-5-6-6	ニューマチックケーソン基礎工	3-2-4-8ニューマチックケー ソン基礎エ	24
	6-5-6-7	矢板工	3-2-3-4矢板工	8
	6-5-6-8	床版工	6-4-6-7床版工	110
	6-5-6-9	堰柱工	6-4-6-8堰柱工	110
	6-5-6-10	門柱工	6-4-6-9門柱工	110
	6-5-6-11	ゲート操作台工	6-4-6-10ゲート操作台エ	110
	6-5-6-12	水叩工	6-3-5-8水叩工	110
	6-5-6-13	閘門工		110
	6-5-6-14	土砂吐工		110
	6-5-6-15	取付擁壁工	3-2-15-1場所打擁壁工	104
第7節 固定堰本体工	6-5-7-3	既製杭工	3-2-4-4既製杭工	23
	6-5-7-4	場所打杭工	3-2-4-5場所打杭工	23
	6-5-7-5	オープンケーソン基礎エ	3-2-4-7オープンケーソン基	24
	6-5-7-6	ニューマチックケーソン基礎工	<u>礎工</u> 3-2-4-8ニューマチックケー ソン基礎エ	24
	6-5-7-7	矢板工	3-2-3-4矢板工	8
	6-5-7-8	堰本体工		110
	6-5-7-9	水叩工		110
	6-5-7-10	土砂吐工		110
	6-5-7-11	取付擁壁工	3-2-15-1場所打擁壁工	104
# 0 # A > + -			3-2-13-1场所打摊至工	
第8節 魚道工	6-5-8-3	魚道本体工		111
第9節 管理橋下部工	6-5-9-2	管理橋橋台工		111
第10節 鋼管理橋上部工	6-5-10-4 6-5-10-5	架設工 (クレーン架設) 架設工 (ケーブルクレーン架設)	3-2-13架設工(鋼橋) 3-2-13架設工(鋼橋)	98 98
	6-5-10-6	架設工(ケーブルエレクション	3-2-13架設工 (鋼橋)	98
	6-5-10-7	架設) 架設工(架設桁架設)	3-2-13架設工(鋼橋)	98
	6-5-10-8	架設工(送出し架設)	3-2-13架設工(鋼橋)	98
	6-5-10-9	架設工(トラベラークレー	3-2-13架設工(鋼橋)	98
	6-5-10-10	ン架設) 支承工	10-4-5-10支承工	147
第11節 橋梁現場塗装工	6-5-11-2	現場塗装工	3-2-3-31現場塗装工	21
			12.12	
第12節 床版工	6-5-12-2	床版工	3-2-18-2床版工	107
第13節 橋梁付属物工 (鋼管理橋)	6-5-13-2	伸縮装置工	3-2-3-24伸縮装置工	16
∖判 日 生1回/	6-5-13-4	地覆工	10-4-8-5地覆工	148
	6-5-13-5	橋梁用防護柵工	10-4-8-6橋梁用防護柵工	148
	6-5-13-6	橋梁用高欄工	10-4-8-7橋梁用高欄工	148
	6-5-13-7	検査路工	10-4-8-8検査路工	148
第15節 コンクリート管理橋 上部工(PC橋)	6-5-15-2	プレテンション桁製作工 (購入工)	3-2-3-12プレテンション 桁製作工(購入工)	11
	6-5-15-3	ポストテンション桁製作工	3-2-3-13ポストテンショ ン桁製作工	12
	6-5-15-4	プレキャストセグメント桁製作 エ (購入工)	3-2-3-14プレキャストセグメ ント桁製作工	13
	6-5-15-5	プレキャストセグメント主 桁組立エ	(購入工) 3-2-3-14プレキャストセ グメント主桁組立工	13
	0.5.45.0			
	6-5-15-6	支承工	10-4-5-10支承工	147
	6-5-15-7	架設工(クレーン架設)	3-2-13架設工 (コンクリート橋)	99
	6-5-15-8	架設工(架設桁架設)	3-2-13架設工 (コンクリート橋)	99
			ー・コングリート橋) ー	

Γ	編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
Γ		6-5-15-9		床版・横組工		3-2-18-2床版工	107
		6-5-15-10		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	148

	編、章、節	条 枝	工種 工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第16節	コンクリート管理橋	6-5-16-3	支承工		10-4-5-10支承工	147
上部工 (P C /	ホロースラブ橋)	6-5-16-4	落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	148
	1	6-5-16-5	PCホロースラブ製作工		3-2-3-15 P C ホロースラ ブ製作工	14
<u></u> 第17節	コンクリート管理橋	6-5-17-3	支承工		10-4-5-10支承工	147
	(PC箱桁	6-5-17-4	PC箱桁製作工		3-2-3-16PC箱桁製作工	15
		6-5-17-5	落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	148
7/2 1 0 /r/2	松河八日北 子					
	橋梁付属物工 クリート管理橋)	6-5-18-2	伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	16
` /) G-2114/	6-5-18-4	地覆工		10-4-8-5地覆工	148
		6-5-18-5	橋梁用防護柵工		10-4-8-6橋梁用防護柵工	148
		6-5-18-6	橋梁用高欄工		10-4-8-7橋梁用高欄工	148
		6-5-18-7	検査路工		10-4-8-8検査路工	148
第20節	付属物設置工	6-5-20-3	防止柵工		3-2-3-7防止柵工	9
		6-5-20-7	階段工		3-2-3-22階段工	16
6章 排:	水機場		<u>'</u>	-		
第3節	軽量盛土工	6-6-3-2	軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	6
第4節	機場本体工	6-6-4-3	既製杭工		3-2-4-4既製杭工	23
		6-6-4-4	場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	23
		6-6-4-5	大板工		3-2-3-4矢板工	8
		6-6-4-6	本体工		0 2 0 15/16/2	112
		6-6-4-7	1 11		+	112
Art C C	NAME AND ADDRESS OF		燃料貯油槽工		0.0.4.455511	
第5節	沈砂池工	6-6-5-3	既製杭工		3-2-4-4既製杭工	23
		6-6-5-4	場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	23
		6-6-5-5	矢板工		3-2-3-4矢板工	8
		6-6-5-6	場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	104
		6-6-5-7	コンクリート床版工			112
		6-6-5-8	ブロック床版工	1	3-2-3-17根固めブロックエ	15
		6-6-5-9	場所打水路工		3-2-3-29場所打水路工	20
第6節	吐出水槽工	6-6-6-3	既製杭工		3-2-4-4既製杭工	23
		6-6-6-4	場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	23
		6-6-6-5	矢板工		3-2-3-4矢板工	8
		6-6-6-6	本体工		6-6-4-6本体工	112
7章 床.	止め・床固め	<u> </u>	-	!		
第3節	軽量盛土工	6-7-3-2	軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	6
第4節	床止め工	6-7-4-4	既製杭工		3-2-4-4既製杭工	23
		6-7-4-5	大板工		3-2-3-4矢板工	8
		6-7-4-6	本体工	 床固め本体工	0 2 0 134122	113
				植石張り	3-2-5-5石積(張)工	26
			本体工	100 1100 1		15
			本体工	根固めブロック	3-2-3-17根固めブロックエ	15
		6-7-4-7	取付擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	104
		6-7-4-8	水叩工			113
			水叩工	巨石張り	3-2-3-26多自然型護岸工	18
		<u>-</u>	水叩工	根固めブロック	3-2-3-17根固めブロックエ	15
第5節	床固め工	6-7-5-4	本堤工		6-7-4-6本体工	113
		6-7-5-5	垂直壁工		6-7-4-6本体工	113
		6-7-5-6	側壁工			113
		6-7-5-7	水叩工		6-7-4-8水叩工	113
第6節	山留擁壁工	6-7-6-3	コンクリート擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	104
		6-7-6-4	ブロック積擁壁工		3-2-5-3コンクリートブロッ	25
					クエ	
		6-7-6-5	石積擁壁工		3-2-5-5石積(張)工	26
<u> </u>		6-7-6-6	山留擁壁基礎工		3-2-4-3基礎工 (護岸)	22
8章 河						
第7節	路面補修工	6-8-7-3	不陸整正工		1-2-3-6堤防天端工	4
		6-8-7-4	コンクリート舗装補修工		3-2-6-12コンクリート舗装工	60
		6-8-7-5		+	3-2-6-7アスファルト舗装工	28
		0 0 7 3	ノハノノルド研衣開修工		して リングンアルト 舗装工	
第8節	付属物復旧工	6-8-8-2	付属物復旧工		3-2-3-8路側防護柵工	9
第9節	付属物設置工	6-8-9-3	防護柵工		3-2-3-7防止柵工	9
		6-8-9-5	付属物設置工		3-2-3-10道路付属物工	10
第10節	光ケーブル配管エ	6-8-10-3	配管工		6-1-13-3配管工	108
		6-8-10-4	ハンドホールエ		6-1-13-4ハンドホールエ	109
第12節	植栽維持工	6-8-12-3	樹木・芝生管理工	+	3-2-14-2植生工	99
		1	1200 224			
	/・・・ ドシ ギロ	16-9-3-2	軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	6
9章 河	赵 豊成+T	14 3 4 4 1				
9章 河	軽量盛土工			i i	1-2-3-5法面整形工	4
9章 河		6-9-4-2	覆土工		0 0 11 01 -	99
9章 河 第3節 第4節	腹付工	6-9-4-2 6-9-4-3	植生工		3-2-14-2植生工	
9章 河	腹付工	6-9-4-2		じゃかごエ	3-2-14-2植生工 3-2-3-27羽ロエ	19
9章 河 第3節 第4節	腹付工	6-9-4-2 6-9-4-3	植生工	じゃかごエ 連節ブロック張り		
59章 河 第3節 第4節	腹付工	6-9-4-2 6-9-4-3	植生工緑切工		3-2-3-27羽ロエ 3-2-5-3コンクリートブロック エ	19
9章 河 第3節 第4節	腹付工	6-9-4-2 6-9-4-3	植生工緑切工		3-2-3-27羽口工	19

Γ	編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
Γ				縁切工	石張工	3-2-5-5石積(張)工	26
		6-9-5-3		植生工		3-2-14-2植生工	99

	章、節		支番 工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第6節 堤脚保	護工	6-9-6-3	石積工		3-2-5-5石積(張)工	26
		6-9-6-4	コンクリートブロックエ		3-2-5-3コンクリートブ ロックエ	25
## 7 ## ## ## FE	1 17 Db —	0.07.0	nu att im			
第7節 管理用	通路工	6-9-7-2	防護柵工		3-2-3-7防止柵工	9
		6-9-7-4	路面切削工		3-2-6-15路面切削工	78
		6-9-7-5	舗装打換え工		3-2-6-16舗装打換え工	78
		6-9-7-6	オーバーレイエ		3-2-6-17オーバーレイエ	79
		6-9-7-7	排水構造物工	プレキャストU型側溝・ 管(函)渠	3-2-3-29側溝工	20
			排水構造物工	集水桝工	3-2-3-30集水桝工	21
		6-9-7-8	道路付属物工	歩車道境界ブロック	3-2-3-5縁石工	8
第8節 現場塗	装工	6-9-8-3	付属物塗装工		3-2-3-31現場塗装工	21
		6-9-8-4	コンクリート面塗装工		3-2-3-11コンクリート面 塗装エ	10
編河川海岸総						
打章 堤防・護		17.4.0.0	1+17 E3 c# 1 ==		14.0.4.008.45.5	
第3節 軽量盛		7-1-3-2	軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	6
第4節 地盤改	7艮工	7-1-4-2	表層安定処理工		3-2-7-4表層安定処理工	82
		7-1-4-3	パイルネットエ		3-2-7-5パイルネットエ	82
		7-1-4-4	バーチカルドレーンエ		3-2-7-7バーチカルドレーン エ	83
		7-1-4-5	 締固め改良工	+	<u></u> 3-2-7-8締固め改良工	83
		7-1-4-6	固結工		3-2-7-9固結工	84
第5節 護岸基	·礎丁	7-1-5-4	捨石工	+	3-2-3-19捨石工	16
77~以 ・ 吃汁型		7-1-5-5	場所打コンクリートエ	1	2 2 0 1010.11	11-
		7-1-5-6	海岸コンクリートブロックエ	1		11-
		1-1-0-0				
		7-1-5-7	笠コンクリートエ		3-2-4-3基礎工 (護岸)	22
		7-1-5-8	基礎工		3-2-4-3基礎工 (護岸)	22
		7-1-5-9	矢板工		3-2-3-4矢板工	8
第6節 護岸工	-	7-1-6-3	石積(張)工		3-2-5-5石積(張)工	26
		7-1-6-4	海岸コンクリートブロックエ			11-
		7-1-6-5	コンクリート被覆エ			11:
第7節 擁壁工		7-1-7-3	場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	10
第8節 天端被	複電工	7-1-8-2	コンクリート被覆エ			118
第9節 波返工	:	7-1-9-3	波返工			11:
第10節 裏法	被覆工	7-1-10-2	石積(張)工		3-2-5-5石積(張)工	26
		7-1-10-3	コンクリートブロックエ		3-2-5-3コンクリートブロッ	25
		7-1-10-4	コンクリート被覆エ		<u>クエ</u> 7-1-6-5コンクリート被覆エ	11
		7-1-10-5	 法枠工		3-2-14-4法枠工	10
第11節 カル	バートエ	7-1-11-3	プレキャストカルバートエ		3-2-3-28プレキャストカル バートエ	19
第12節 排水	構造物工	7-1-12-3	側溝工		3-2-3-29側溝工	20
		7-1-12-4			3-2-3-30集水桝工	21
		7-1-12-5	管渠工	プレキャストパイプ	3-2-3-29暗渠工	20
			管渠工	プレキャストボックス	3-2-3-29暗渠工	20
			<u></u> 管楽工	コルゲートパイプ	3-2-3-29暗渠工	20
				ダクタイル鋳鉄管	3-2-3-29暗渠工	20
		7-1-12-6	管渠工 提底打业效工	メノフ1ル斑妖官		
佐19佐 八巳・	振訊学士		場所打水路工		3-2-3-29場所打水路工	20
第13節 付属	彻敌直上	7-1-13-3	防止柵工	1	3-2-3-7防止柵工	9
Mr. 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		7-1-13-6	階段工		3-2-3-22階段工	16
第14節 付帯	直路工	7-1-14-3	路側防護柵工		3-2-3-8路側防護柵工	9
		7-1-14-5	アスファルト舗装工		3-2-6-7アスファルト舗装工	28
		7-1-14-6	コンクリート舗装工		3-2-6-12コンクリート舗装工	60
		7-1-14-7	薄層カラー舗装工	+	3-2-6-13薄層カラー舗装工	74
		7-1-14-8	側溝工		3-2-3-29側溝工	20
		7-1-14-9	集水桝工	+	3-2-3-30集水桝工	21
		7-1-14-9	縁石工		3-2-3-5縁石工	8
第14節 付帯	首 改 丁	7-1-14-10	区画線工	+	3-2-3-3縁石工 3-2-3-9区画線工	10
第14即 19 市		7-1-14-11				10
赤い肌 竹帯)	坦 四 加 政 上		道路付属物工	1	3-2-3-10道路付属物工	
# 0辛 · m · ·	T 100	7-1-15-4	小型標識工		3-2-3-6小型標識工	8
第2章 突堤・人	-	17 0 0 0	数星改工子	T	11 0 4 206 (+ 5) -	
第3節 軽量盛		7-2-3-2	軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	6
第4節 突堤基	· 健工	7-2-4-4	捨石工			11
		7-2-4-5	吸出し防止工			11
第5節 突堤本	体工	7-2-5-2	捨石工			110
		7-2-5-5	海岸コンクリートブロック エ			11
		7-2-5-6			3-2-4-4既製杭工	23
		7-2-5-7	詰杭工		3-2-4-4既製杭工	23
		1-2-3-1	10 17 L	1	0 L . 1990ac 170—	

編、章、	節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
		7-2-5-9		石枠工			117
		7-2-5-10		場所打コンクリートエ			117

編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
	7-2-5-11	1	ケーソンエ	ケーソン工製作		118
		2	ケーソンエ	ケーソン工据付		118
		3	ケーソンエ	突堤上部工 (場所打コンクリート) (海岸コンクリートブロッ		118
	7-2-5-12	1	セルラーエ	ク) セルラー工製作		119
	7 2 0 12	2	セルラーエ	セルラー工据付		119
		3	セルラーエ	実堤上部工 (場所打コンクリート) (海岸コンクリートブロッ		119
第6節 根固め工	7-2-6-2		 捨石工	ク)		119
おり即 松回の工	7-2-6-3		根固めブロックエ			120
 第7節 消波工	7-2-7-2		捨石工		3-2-3-19捨石工	16
37. M. 77.M. T	7-2-7-3		消波ブロックエ		0 2 0 10/11/12	120
<u> </u> [3章 海域堤防(人エリーフ、			177m2 - 2 2 =			
第3節 海域堤基礎工	7-3-3-3	T	捨石工			120
	7-3-3-4		吸出し防止工		7-2-4-5吸出し防止工	116
第4節 海域堤本体工	7-3-4-2		捨石工		3-2-3-19捨石工	16
	7-3-4-3		海岸コンクリートブロックエ		7-2-5-5海岸コンクリートブ	117
	7-3-4-4		h VIII		<u>ロックエ</u>	110
	7-3-4-4	-	ケーソンエ セルラーエ		7-2-5-11ケーソンエ 7-2-5-12セルラーエ	118
	7-3-4-5		セルフーエ 場所打コンクリートエ		7-2-5-12セルフーエ	119
	1-3-4-0		物がガコングリート上		/-2-5-10場所打コングリート エ	117
4章 浚渫(海岸)						
第3節 浚渫工(ポンプ浚渫 船)	7-4-3-2		浚渫船運転工		3-2-16-3浚渫船運転工	106
<u> 茄/ </u> 第4節 浚渫エ(グラブ船)	7-4-4-2	1	浚渫船運転工		3-2-16-3浚渫船運転工	106
5章 養浜 第3節 軽量盛土工	7-5-3-2	1	軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	6
** * ***						
第4節 砂止工	7-5-4-2		根固めブロックエ		7-2-6-3根固めブロックエ	120
編砂防編						
1章 砂防堰堤	In 1 2 2	_	l প교 숙시 내고 내 숙시 사는 그	<u></u>	2.2.12.2.2 (本制	94
第3節 工場製作工	8-1-3-3		鋼製堰堤製作工		3-2-12-3-3桁製作工 (鋼製堰堤製作工 (仮組立時))	94
	8-1-3-4		鋼製堰堤仮設材製作工			121
	8-1-3-5		工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	97
 第5節 軽量盛土工	8-1-5-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	6
第6節 法面工	8-1-6-2		植生工		3-2-14-2植生工	99
	8-1-6-3		法面吹付工		3-2-14-3吹付工	101
	8-1-6-4		法枠工	1	3-2-14-4法枠工	102
	8-1-6-6		アンカーエ		3-2-14-6アンカーエ	103
	8-1-6-7		かごエ	じゃかご	3-2-3-27羽ロエ	19
			かごエ	ふとんかご	3-2-3-27羽ロエ	19
 第8節 コンクリート堰堤エ	8-1-8-4	1	コンクリート堰堤本体工		+	121
	0.4.0.5				0.4.0.4	404
	8-1-8-5		コンクリート副堰堤工		8-1-8-4コンクリート堰堤本 体工	121
	8-1-8-6		コンクリート側壁エ			121
	8-1-8-8	L	水叩工			122
第9節 鋼製堰堤工	8-1-9-5	1	鋼製堰堤本体工	不透過型		122
		2	鋼製堰堤本体工	透過型		123
	8-1-9-6		鋼製側壁工			124
	8-1-9-7		コンクリート側壁工		8-1-8-6コンクリート側壁エ	121
	8-1-9-9		水叩工		8-1-8-8水叩工	122
	8-1-9-10	1	現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工	21
第10節 護床工・根固め工	8-1-10-4	1	根固めブロックエ		3-2-3-17根固めブロックエ	15
		-	油井工			10
	8-1-10-6	-	沈床工	1° 14 45 =*	3-2-3-18沈床工	16
	8-1-10-7	<u> </u>	かごエ	じゃかご	3-2-3-27羽口工	19
第11節 砂防堰堤付属物設置	8-1-11-3	1	かごエ	ふとんかご	3-2-3-27羽口工 3-2-3-7防止柵工	19 9
エ			防止柵工			
第12節 付帯道路工	8-1-12-3		路側防護柵工		3-2-3-8路側防護柵工	9
	8-1-12-5		アスファルト舗装工 コンクリート舗装工		3-2-6-7アスファルト舗装工 3-2-6-12コンクリート舗装工	28 60
	8-1-12-6		1	1		頁
√5 ±± ₩+		1+ 317	- 1∉	1壬 ロボ	淮田士 7 山市形体四世半	
編、章、節	8-1-12-6 条 8-1-12-7	枝番	エ種 薄層カラー舗装エ	種別	準用する出来形管理基準 3-2-6-13薄層カラー舗装 エ	
編、章、節	条 8-1-12-7	枝番	薄層カラー舗装工	種別	3-2-6-13薄層カラー舗装工	74
編、章、節	条 8-1-12-7 8-1-12-8	枝番	薄層カラー舗装工 側溝工	種別	3-2-6-13薄層カラー舗装 エ 3-2-3-29側溝エ	74
編、章、節	条 8-1-12-7 8-1-12-8 8-1-12-9	枝番	薄層カラー舗装工 側溝工 集水桝工	種別	3-2-6-13薄層カラー舗装工 3-2-3-29側溝工 3-2-3-30集水桝工	74 20 21
編、章、節	条 8-1-12-7 8-1-12-8	枝番	薄層カラー舗装工 側溝工	種別	3-2-6-13薄層カラー舗装 エ 3-2-3-29側溝エ	74

編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
	8-1-13-4		小型標識工	-	3-2-3-6小型標識工	8

2章 流路	編、章、節 	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第3節 軽量	量盛土工	8-2-3-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	6
第4節 流路	格護岸工	8-2-4-4		基礎工(護岸)		3-2-4-3基礎工(護岸)	22
		8-2-4-5		コンクリート擁壁エ		3-2-15-1場所打擁壁工	10
第4節 流路	烙護岸工	8-2-4-6		ブロック積擁壁工		3-2-5-3コンクリートブ	25
						ロックエ	
		8-2-4-7		石積擁壁工		3-2-5-5石積(張)工	26
		8-2-4-8		護岸付属物工		6-1-7-4護岸付属物工	10
第5節 床間	= u =	8-2-4-9		植生工		3-2-14-2植生工	99
弗5即 床區	酉∅)⊥	8-2-5-4		床固め本体工		8-1-8-4コンクリート堰堤 本体工	12
		8-2-5-5		垂直壁工		8-1-8-4コンクリート堰堤	12
		0 2 0 0		≖⊭≖		本体工	
		8-2-5-6		側壁工		8-1-8-6コンクリート側壁	12
						I	
		8-2-5-7		水叩工		8-1-8-8水叩工	12
		8-2-5-8		魚道工			12
第6節 根固	固め・水制工	8-2-6-4		根固めブロックエ		3-2-3-17根固めブロックエ	15
		8-2-6-6		捨石工		3-2-3-19捨石工	16
		8-2-6-7		かごエ	じゃかご	3-2-3-27羽ロエ	19
				かごエ	ふとんかご	3-2-3-27羽ロエ	19
				かごエ	かごマット	3-2-3-26多自然型護岸工	18
第7節 流路	路付属物設置工	8-2-7-2		階段工	1	3-2-3-22階段工	16
		8-2-7-3		防止柵工		3-2-3-7防止柵工	9
章 斜面対	対策	1			1		
第3節 軽量	量盛土工	8-3-3-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	6
第4節 法配	面工	8-3-4-2		植生工		3-2-14-2植生工	9!
		8-3-4-3		吹付工		3-2-14-3吹付工	10
		8-3-4-4		法枠工		3-2-14-4法枠工	10
		8-3-4-5		かごエ	じゃかご	3-2-3-27羽口工	19
				かごエ	ふとんかご	3-2-3-27羽口工	19
		8-3-4-6		アンカーエ(プレキャストコン クリート板)		3-2-14-6アンカーエ	10
		8-3-4-7		抑止アンカーエ		3-2-14-6アンカーエ	10
第5節 擁國	達工	8-3-5-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	23
		8-3-5-4		場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	10
		8-3-5-5		プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁エ	10
		8-3-5-6		補強土壁工		3-2-15-3補強土壁工	10
		8-3-5-7		井桁ブロックエ		3-2-15-4井桁ブロックエ	10
		8-3-5-8		落石防護工		10-1-11-5落石防護柵工	13
第6節 山脈	复水路工	8-3-6-3		山腹集水路・排水路工		3-2-3-29場所打水路工	20
		8-3-6-4		山腹明暗渠工			12
		8-3-6-5		山腹暗渠工		3-2-3-29暗渠工	20
		8-3-6-6		現場打水路工		3-2-3-29場所打水路工	20
		8-3-6-7		集水桝工		3-2-3-30集水桝工	2
第7節 地口	下水排除工	8-3-7-4		集排水ボーリングエ			12
		8-3-7-5		集水井工			12
第8節 地门	下水遮断工	8-3-8-3		場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	10
	en 1. sele nos	8-3-8-4		固結工	1	3-2-7-9固結工	84
	下水遮断工	8-3-8-5		矢板工 		3-2-3-4矢板工	8
第9節 抑」	上仇上	8-3-9-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	23
		8-3-9-4 8-3-9-5		場所打杭工	1	3-2-4-5場所打杭工 3-2-4-6深礎工	23
		8-3-9-5		シャフトエ(深礎工) 合成杭工	1	J ⁻ ∠ ⁻ 4 ⁻ U/木版工	12
量 ダム編		3 3 3 0		ロルルー	<u> </u>		12
	フリートダム						
	ムコンクリートエ	19-1-4		コンクリートダムエ	本体		12
, , , , ,		['					
				コンクリートダムエ	水叩		12
				コンクリートダムエ	副ダム		12
章 フィル	ı. <i>H</i> î.l.			コンクリートダムエ	導流壁		12
早 ノイル 第4節 盛ご		9-2-3-5		コアの盛立	T		12
רייד ויידירי יידי	<u> </u>	9-2-3-6		フィルターの盛立	1		12
		9-2-3-7		ロックの盛立			12
		9-2		フィルダム(洪水吐)	1		13
章 基礎な	ブラウチング	1			1		
	, , , , , , , -リングエ	9-3-3		ボーリングエ			13
道路編		1			1		
章 道路改							
第3節 工場		10-1-3-2		遮音壁支柱製作工			13
			\vdash	遮音壁支柱製作工	工場塗装工	3-2-12-11工場塗装工	9

編、章、節		技番 工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
	10-1-4-3	置換工		3-2-7-3置換工	81
	10-1-4-4	サンドマットエ		3-2-7-6サンドマットエ	83
	10-1-4-5	バーチカルドレーンエ		3-2-7-7バーチカルドレーン	83
	10 1 4 6			工	00
	10-1-4-6	締固め改良工		3-2-7-8締固め改良工	83
#F# \\ \===		固結工		3-2-7-9固結工	84
第5節 法面工	10-1-5-2	植生工		3-2-14-2植生工	99
	10-1-5-3	法面吹付工		3-2-14-3吹付工	101
	10-1-5-4	法枠工		3-2-14-4法枠工	102
	10-1-5-6	アンカーエ		3-2-14-6アンカーエ	103
	10-1-5-7	かごエ	じゃかご	3-2-3-27羽口工	19
		かごエ	ふとんかご	3-2-3-27羽口工	19
第6節 軽量盛土工	10-1-6-2	軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	6
第7節 擁壁工	10-1-7-3	既製杭工		3-2-4-4既製杭工	23
	10-1-7-4	場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	23
	10-1-7-5	場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	104
	10-1-7-6	プレキャスト擁壁エ		3-2-15-2プレキャスト擁 壁エ	104
	10-1-7-7	補強土壁工	補強土(テールアルメ)	3-2-15-3補強土壁工	105
		補強土壁工	壁工法 多数アンカー式補強土工	3-2-15-3補強土壁工	105
		神鬼工堂工	多数	3-2-13-3補強工業工	103
		補強土壁工	ジオテキスタイルを用い た補強土工法	3-2-15-3補強土壁工	105
	10-1-7-8	 井桁ブロックエ		3-2-15-4井桁ブロックエ	105
第8節 石・ブロック積 (張)エ	10-1-8-3	コンクリートブロックエ		3-2-5-3コンクリートブ ロックエ	25
	10-1-8-4	石積(張)工		3-2-5-5石積(張)工	26
第9節 カルバートエ	10-1-8-4	型		3-2-5-5石積(張)上 3-2-4-4既製杭工	28
弟9即 ガルハートエ					
	10-1-9-5	場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	23
	10-1-9-6	場所打函渠工			131
	10-1-9-7	プレキャストカルバートエ		3-2-3-28プレキャストカル バートエ	19
第10節 排水構造物工	10-1-10-3	側溝工		3-2-3-29側溝工	20
(小型水路工)	10-1-10-4	管渠工		3-2-3-29側溝工	20
	10-1-10-5	集水桝・マンホールエ		3-2-3-30集水桝工	21
	10-1-10-6	地下排水工		3-2-3-29暗渠工	20
	10-1-10-7	場所打水路工		3-2-3-29場所打水路工	20
	10-1-10-8	排水工 (小段排水・縦排水)		3-2-3-29側溝工	20
第11節 落石雪害防止工	10-1-11-4	落石防止網工			131
弗 口即 洛石当古初止工					
	10-1-11-5	落石防護柵工			131
	10-1-11-6	防雪柵工			132
	10-1-11-7	雪崩予防柵工			132
第12節 遮音壁工	10-1-12-4	遮音壁基礎工			132
	10-1-12-5	遮音壁本体工			133
2章 舗装					
第3節 地盤改良工	10-2-3-2	路床安定処理工		3-2-7-2路床安定処理工	81
	10-2-3-3	置換工		3-2-7-3置換工	81
第4節 舗装工	10-2-4-5	アスファルト舗装工		3-2-6-7アスファルト舗装工	28
	10-2-4-6	半たわみ性舗装工		3-2-6-8半たわみ性舗装工	37
	10-2-4-7	排水性舗装工		3-2-6-9排水性舗装工	45
	10-2-4-7	透水性舗装工		3-2-6-10透水性舗装工	53
	10-2-4-9	グースアスファルト舗装工		3-2-6-11グースアスファルト	56
	10-2-4-9	コンクリート舗装工	-	3-2-6-119 ステルド	60
	10-2-4-11	薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装工	74
	10.0.1.10	 ブロック舗装工		3-2-6-14ブロック舗装工	76
	10-2-4-12				104
	10-2-4-12	歩道路盤工			134
		步道路盤工			134 134
		歩道路盤工 取合舗装路盤工			134 134
		歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工			134 134 134
		步道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工 步道舗装工			134 134 134 134
		步道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工 步道舗装工 取合舗装工			134 134 134 134
第5節 排水構造物工		步道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工 步道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工		3-2-3-29側溝工	134 134 134 134 134
第5節 排水構造物工	10-2-4	步道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工 步道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工		3-2-3-29側溝工 3-2-3-29側溝工	134 134 134 134
第5節 排水構造物工	10-2-4	歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工 歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工 側溝工 管渠工 集水桝(街渠桝)・マンホール			134 134 134 134 134 134 20
第5節 排水構造物工	10-2-4 10-2-5-3 10-2-5-4 10-2-5-5	歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工 歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工 側溝工 管渠工 集水桝(街渠桝)・マンホール		3-2-3-29側溝工 3-2-3-30集水桝工	134 134 134 134 134 134 20 20
第5節 排水構造物工	10-2-4 10-2-5-3 10-2-5-4 10-2-5-5 10-2-5-6	歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工 歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工 側溝工 管渠工 集水桝(街渠桝)・マンホール エ 地下排水工		3-2-3-29側溝工 3-2-3-30集水桝工 3-2-3-29暗渠工	134 134 134 134 134 20 20 21
第5節 排水構造物工	10-2-4 10-2-5-3 10-2-5-4 10-2-5-5	歩道路盤工 取合舗装路盤工 路肩舗装路盤工 歩道舗装工 取合舗装工 路肩舗装工 表層工 側溝工 管渠工 集水桝(街渠桝)・マンホール		3-2-3-29側溝工 3-2-3-30集水桝工	20 21

		編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
П			10-2-5-9		排水性舗装用路肩排水工			135
	第6節	縁石工	10-2-6-3		縁石工		3-2-3-5縁石工	8
	第7節	踏掛版工	10-2-7-4		踏掛版工	コンクリートエ		135
					踏掛版工	ラバーシュー		135
					踏掛版工	アンカーボルト		135

編、章、節	条	枝番	-	種別	準用する出来形管理基準	頁
第8節 防護柵工	10-2-8-3		路側防護柵工		3-2-3-8路側防護柵工	9
	10-2-8-4		防止柵工		3-2-3-7防止柵工	9
	10-2-8-5		ボックスビームエ		3-2-3-8路側防護柵工	9
	10-2-8-6		車止めポストエ		3-2-3-7防止柵工	9
第9節 標識工 第	10-2-9-3	<u> </u>	小型標識工		3-2-3-6小型標識工	8
为 5 周 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	10-2-9-4	1	大型標識工	標識基礎工	0200小至採職工	135
	10-2-9-4					
		2	大型標識工	標識柱工		136
第10節 区画線工	10-2-10-2		区画線工		3-2-3-9区画線工	10
編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第12節 道路付属施設工	10-2-12-4		道路付属物工		3-2-3-10道路付属物工	10
	10-2-12-5	1	ケーブル配管エ			137
		2	ケーブル配管エ	ハンドホール		137
	10 0 10 0			照明柱基礎工		
	10-2-12-6		照明工	照明杜基礎工		137
第13節 橋梁付属物工	10-2-13-2		伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	16
3章 橋梁下部						
第3節 工場製作工	10-3-3-2		刃口金物製作工		3-2-12-1刃口金物製作工	90
	10-3-3-3	1	鋼製橋脚製作工			138
	10-3-3-4		アンカーフレーム製作工		3-2-12-8アンカーフレー	96
	10-3-3-4		プラガープレーム級作工		ム製作工	90
	10-3-3-5		工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	97
第5節 軽量盛土工	10-3-5-2		軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	6
第6節 橋台工	10-3-6-3	1	既製杭工		3-2-4-4既製杭工	23
	10-3-6-4	1	場所打杭工	+	3-2-4-5場所打杭工	23
	10-3-6-5	1		1	*********	24
		1	深礎工		3-2-4-6深礎工	
	10-3-6-6		オープンケーソン基礎工		3-2-4-7オープンケーソン	24
					基礎工	
	10-3-6-7	1	ニューマチックケーソン基		3-2-4-8ニューマチック	24
			礎工		ケーソン基礎工	
	10-3-6-8	1	 橋台躯体工	+	+	139
**************************************					0.0.4.49###	
第7節 RC橋脚工	10-3-7-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	23
	10-3-7-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	23
	10-3-7-5		深礎工		3-2-4-6深礎工	24
	10-3-7-6		オープンケーソン基礎工		3-2-4-7オープンケーソン	24
					基礎工	
	10 0 7 7	-			2 2 4 2	0.4
	10-3-7-7		ニューマチックケーソン基 礎工		3-2-4-8ニューマチック ケーソン基礎エ	24
			P.E) ノン基礎工	
	10-3-7-8		鋼管矢板基礎工		3-2-4-9鋼管矢板基礎工	25
	10-3-7-9	1	橋脚躯体工	張出式		141
		1	橋脚躯体工	重力式		141
		1	橋脚躯体工	半重力式		141
		2	橋脚躯体工	ラーメン式		143
第8節 鋼製橋脚工	10-3-8-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	23
	10-3-8-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	23
	10-3-8-5		深礎工		3-2-4-6深礎工	24
	10-3-8-6		オープンケーソン基礎工		3-2-4-7オープンケーソン基	24
			, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		礎工	
	10-3-8-7		ニューマチックケーソン基礎工		3-2-4-8ニューマチックケー	24
	10 0 0 0	1	网络左长甘井子	1	ソン基礎工	25
	10-3-8-8	<u> </u>	鋼管矢板基礎工	- 74	3-2-4-9鋼管矢板基礎工	25
	10-3-8-9	1	橋脚フーチングエ	I型・T型		144
		2	橋脚フーチングエ	門型		145
	10-3-8-10	1	橋脚架設工	I型・T型		145
		2	橋脚架設工	門型	+	146
	10-3-8-11	+-	現場継手工			146
	10-3-8-11	1		1	2 2 2 24 1日 1日 1会 1十 一	
		1	現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工	21
第9節 護岸基礎工	10-3-9-3		基礎工		3-2-4-3基礎工 (護岸)	22
	10-3-9-4		矢板工		3-2-3-4矢板工	8
第10節 矢板護岸工	10-3-10-3	1	笠コンクリートエ		3-2-4-3基礎工 (護岸)	22
** ***	10-3-10-4	1	矢板工	 	3-2-3-4矢板工	8
第11節 法覆護岸工	10-3-11-2	1	コンクリートブロックエ	1	3-2-5-3コンクリートブロッ	25
カロ即 ぶ復張圧上	10-3-11-2		コンティートノロックエ		3-2-5-3コングリートプロッ	20
	10-3-11-3	1	護岸付属物工		6-1-7-4護岸付属物工	108
	10-3-11-4	1	緑化ブロックエ	1	3-2-5-4緑化ブロックエ	26
		-				
	10-3-11-5		環境護岸ブロックエ		3-2-5-3コンクリートブロッ クエ	25
	10-3-11-6	1	石積(張)工		3-2-5-5石積(張)エ	26
	10-3-11-7	1	法枠工	+	3-2-14-4法枠工	102
		1		ETE!		
	10-3-11-8		多自然型護岸工	巨石張り	3-2-3-26多自然型護岸工	18
			多自然型護岸工	巨石積み	3-2-3-26多自然型護岸工	18
			多自然型護岸工	かごマット	3-2-3-26多自然型護岸工	18
	10-3-11-9	1	吹付工		3-2-14-3吹付工	101
		1	植生工	+	3-2-14-2植生工	99
	11()=3=11=10			i	0 4 17 41ETT	23
	10-3-11-10		**	+	10054=****	$\overline{}$
	10-3-11-11		覆土工		1-2-3-5法面整形工	4
			**	じゃかご	1-2-3-5法面整形工 3-2-3-27羽口工	4 19

	編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
				羽口工	かご枠	3-2-3-27羽口工	19
				羽口工	連節ブロック張り	3-2-5-3コンクリートブロック	25
						エ (連節ブロック張り)	
第12節	擁壁護岸工	10-3-12-3		場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	104
210 24-	<i>//</i> ***********************************	10-3-12-4		プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁エ	104
		10 0 12 1				0 Z 10 Z) D (() T]	101
4章 鋼材							
第3節 :	工場製作工	10-4-3-3		桁製作工		3-2-12-3桁製作工	91
		10-4-3-4		検査路製作工		3-2-12-4検査路製作工	95
		10-4-3-5		鋼製伸縮継手製作工		3-2-12-5鋼製伸縮継手製作工	95
		10-4-3-6		落橋防止装置製作工		3-2-12-6落橋防止装置製作工	95
		10-4-3-0		洛侗的正表但表作工		3-2-12-0洛倫防止表直要作工	95
		10-4-3-7		鋼製排水管製作工		3-2-12-10鋼製排水管製作	96
						工	
		10-4-3-8		橋梁用防護柵製作工		3-2-12-7橋梁用防護柵製	95
						作工	
		10-4-3-9		橋梁用高欄製作工			147
		10-4-3-10		横断步道橋製作工		3-2-12-3桁製作工	91
		10-4-3-12		アンカーフレーム製作工		3-2-12-8アンカーフレー	96
		10 4 3 12) J J J D Agra		ム製作工	30
		10 4 2 12		工程涂抹工		3-2-12-11工場塗装工	97
<u>ተ</u>	/	10-4-3-13		工場塗装工			
弗3節 第	鋼橋架設工	10-4-5-4		架設工(クレーン架設)		3-2-13架設工(鋼橋)	98
		10-4-5-5		架設工 (ケーブルクレーン架設)		3-2-13架設工 (鋼橋)	98
		10-4-5-6		架設工(ケーブルエレク		3-2-13架設工(鋼橋)	98
				ション架設)			
		10-4-5-7		架設工(架設桁架設)		3-2-13架設工(鋼橋)	98
		10-4-5-8		架設工(送出し架設)		3-2-13架設工 (鋼橋)	98
		10-4-5-9		架設工		3-2-13架設工 (鋼橋)	98
				(トラベラークレーン架設)		11.22	
		10-4-5-10	1	支承工	鋼製支承		147
				支承工	ゴム支承		147
<u> ተ</u>	橋梁現場塗装工	10-4-6-3		現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工	21
		10-4-0-3					107
第7節 1				床版工		3-2-18-2床版工	
第8節 4	橋梁付属物工	10-4-8-2		伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	16
		10-4-8-3		落橋防止装置工			148
		10-4-8-5		地覆工			148
		10-4-8-6		橋梁用防護柵工			148
		10-4-8-7		橋梁用高欄工			148
		10-4-8-8		検査路工			148
第9節	歩道橋本体工	10-4-9-3		既製杭工		3-2-4-4既製杭工	23
		10-4-9-4		場所打杭工		3-2-4-5場所打杭工	23
		10-4-9-5		橋脚フーチングエ	I型	10-3-8-9橋脚フーチング	144
					-	工	
					T型	10-3-8-9橋脚フーチングエ	144
				110111147 7 7 7 7	' =		
		10-4-9-6		歩道橋 (側道橋) 架設工		3-2-13架設工(鋼橋)	98
		10-4-9-7		現場塗装工		3-2-3-31現場塗装工	21
5章 コン	ンクリート橋上部				•		
第3節 :	工場製作工	10-5-3-2		プレビーム用桁製作工		3-2-12-9プレビーム用桁製作	96
		10-5-3-3		括沙口叶维州制作 于	-	工 2 2 12 7接沙田叶港加制作工	۸۲
		10-3-3-3		橋梁用防護柵製作工		3-2-12-7橋梁用防護柵製作工	95
		10-5-3-4		鋼製伸縮継手製作工		3-2-12-5鋼製伸縮継手製作工	95
		10 5 2 5		 	-	2 2 12 446 * 105 411 1/2	0.5
		10-5-3-5		検査路製作工		3-2-12-4検査路製作工	95
		10-5-3-6		工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	97
	PC橋工	10-5-5-2		プレテンション桁製作工 (購入工)	けた橋	3-2-3-12プレテンション桁製 作工 (購入工)	11
第5節		1		(特 八 土/		作工(購入工)	
第5節				プレテンション桁製作工	スラブ橋	3-2-3-12プレテンション桁製	11
第5節							
第5節				(購入工)		作工(購入工)	
第5節		10-5-5-3				3-2-3-13ポストテンション桁	12
第5節				(購入工) ポストテンション桁製作工		3-2-3-13ポストテンション桁 製作工	12
第5節 (10-5-5-3		(購入工) ポストテンション桁製作工 プレキャストセグメント桁製作		3-2-3-13ポストテンション桁	12
第5節		10-5-5-4		(購入工) ポストテンション桁製作工 プレキャストセグメント桁製作 エ (購入工)		3-2-3-13ポストテンション桁 製作工 3-2-3-14プレキャストセグメ ント桁製作工 (購入工)	13
第5節				(購入工) ポストテンション桁製作工 プレキャストセグメント桁製作 エ (購入工) プレキャストセグメント主桁組		3-2-3-13ポストテンション桁 製作工 3-2-3-14プレキャストセグメ ント桁製作工 (購入工) 3-2-3-14プレキャストセグメ	
第5節		10-5-5-4		(購入工) ポストテンション桁製作工 プレキャストセグメント桁製作 工 (購入工) プレキャストセグメント主桁組 立工		3-2-3-13ポストテンション桁 製作工 3-2-3-14プレキャストセグメ ント桁製作工 (購入工) 3-2-3-14プレキャストセグメ ント主桁組立工	13
第5節 「		10-5-5-4 10-5-5-5 10-5-5-6		(購入工) ポストテンション桁製作工 プレキャストセグメント桁製作 工 (購入工) プレキャストセグメント主桁組 立工 支承工		3-2-3-13ポストテンション桁 製作工 3-2-3-14プレキャストセグメ ント桁製作工 (購入工) 3-2-3-14プレキャストセグメ ント主桁組立工 10-4-5-10支承工	13 13 147
第5節		10-5-5-4		(購入工) ポストテンション桁製作工 プレキャストセグメント桁製作 工 (購入工) プレキャストセグメント主桁組 立工		3-2-3-13ポストテンション桁 製作工 3-2-3-14プレキャストセグメ ント桁製作工 (購入工) 3-2-3-14プレキャストセグメ ント主桁組立工 10-4-5-10支承工 3-2-13架設工	13 13 147
第5節		10-5-5-4 10-5-5-5 10-5-5-6 10-5-5-7		(購入工) ポストテンション桁製作工 プレキャストセグメント桁製作工 (購入工) フレキャストセグメント主桁組立工 支承工 架設工 (クレーン架設)		3-2-3-13ポストテンション桁 製作工 3-2-3-14プレキャストセグメ ント桁製作工 (購入工) 3-2-3-14プレキャストセグメ ント主桁組立工 10-4-5-10支承工 3-2-13架設工 (コンクリート橋)	13 13 147 99
第5節		10-5-5-4 10-5-5-5 10-5-5-6		(購入工) ポストテンション桁製作工 プレキャストセグメント桁製作 工 (購入工) プレキャストセグメント主桁組 立工 支承工		3-2-3-13ポストテンション桁 製作工 3-2-3-14プレキャストセグメ ント桁製作工 (購入工) 3-2-3-14プレキャストセグメ ント主桁組立工 10-4-5-10支承工 3-2-13架設工 (コンクリート橋) 3-2-13架設工	13 13 147 99
第5節		10-5-5-4 10-5-5-5 10-5-5-6 10-5-5-7 10-5-5-8		(購入工) ポストテンション桁製作工 プレキャストセグメント桁製作工 (購入工) プレキャストセグメント主桁組立工 支承工 架設工 (クレーン架設) 架設工 (架設桁架設)		3-2-3-13ポストテンション桁 製作工 3-2-3-14プレキャストセグメ ント桁製作工 (購入工) 3-2-3-14プレキャストセグメ ント主桁組立工 10-4-5-10支承工 3-2-13架設工 (コンクリート橋) 3-2-13架設工 (コンクリート橋)	13 13 147 99
第5節		10-5-5-4 10-5-5-5 10-5-5-6 10-5-5-7		(購入工) ポストテンション桁製作工 プレキャストセグメント桁製作工 (購入工) フレキャストセグメント主桁組立工 支承工 架設工 (クレーン架設)		3-2-3-13ポストテンション桁 製作工 3-2-3-14プレキャストセグメ ント桁製作工 (購入工) 3-2-3-14プレキャストセグメ ント主桁組立工 10-4-5-10支承工 3-2-13架設工 (コンクリート橋) 3-2-13架設工	13 13 147 99
第5節		10-5-5-4 10-5-5-5 10-5-5-6 10-5-5-7 10-5-5-8		(購入工) ポストテンション桁製作工 プレキャストセグメント桁製作工 (購入工) プレキャストセグメント主桁組立工 支承工 架設工 (クレーン架設) 架設工 (架設桁架設)		3-2-3-13ポストテンション桁 製作工 3-2-3-14プレキャストセグメ ント桁製作工 (購入工) 3-2-3-14プレキャストセグメ ント主桁組立工 10-4-5-10支承工 3-2-13架設工 (コンクリート橋) 3-2-13架設工 (コンクリート橋)	13 13 147 99 99
第5節	プレビーム桁橋エ	10-5-5-4 10-5-5-5 10-5-5-6 10-5-5-7 10-5-5-8 10-5-5-9		(購入工) ポストテンション桁製作工 プレキャストセグメント桁製作工 (購入工) プレキャストセグメント主桁組立工 支承工 架設工 (クレーン架設) 架設工 (架設桁架設) 床版・横組工	現場	3-2-3-13ポストテンション桁 製作工 3-2-3-14プレキャストセグメント桁製作工 (購入工) 3-2-3-14プレキャストセグメント主桁組立工 10-4-5-10支承工 3-2-13架設工 (コンクリート橋) 3-2-13架設工 (コンクリート橋) 3-2-18-2床版工	13 13 147 99

編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
	10-5-6-4		架設工(クレーン架設)		3-2-13架設工 (鋼橋)	98
	10-5-6-5		架設工(架設桁架設)		3-2-13架設工(鋼橋)	98
	10-5-6-6		床版・横組工		3-2-18-2床版工	107
	10-5-6-9		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	148

	編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第7節	PCホロースラブ橋工			支承工		10-4-5-10支承工	147
		10-5-7-4		PCホロースラブ製作工		3-2-3-15PCホロースラブ製	13
		10-5-7-5	+	 落橋防止装置工			148
ምድ ሀ ምድ	RCホロースラブ橋エ		₩				147
弗 0即	Rし小ロースフノ倫エ		—	支承工		10-4-5-10支承工	
		10-5-8-4		R C場所打ホロースラブ製作工		3-2-3-15 P C ホロースラ ブ製作エ	13
				TF-L		プ級TFエ	
		10-5-8-5		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	148
第9節	PC版桁橋工	10-5-9-2	1	PC版桁製作工		3-2-3-15 P C ホロースラ	13
						ブ製作工	
第10節		10-5-10-3	+-	支承工		10-4-5-10支承工	147
TI CEL	ト 〇相刊 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	10-5-10-4	₩	P C箱桁製作工			15
			₩	***************************************		3-2-3-16PC箱桁製作工	
		10-5-10-5		落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	148
第11節	PC片持箱桁橋工	10-5-11-2		PC片持箱桁製作工		3-2-3-16PC箱桁製作工	15
		10-5-11-3		支承工		10-4-5-10支承工	147
		10-5-11-4		架設工 (片持架設)		3-2-13架設工	98
						(コンクリート橋)	
笙12節	PC押出し箱桁橋工	10-5-12-2		 PC押出し箱桁製作工		3-2-3-16PC押出し箱桁	15
A) 12 KJ	「〇竹田〇相刊刊局工	10 0 12 2		On the Call agree		製作工	10
		10.5.10.0	₩				
		10-5-12-3		架設工(押出し架設)		3-2-13架設工	98
						(コンクリート橋)	
第13節	橋梁付属物工	10-5-13-2		伸縮装置工		3-2-3-24伸縮装置工	16
		10-5-13-4	1	地覆工		10-4-8-5地覆工	148
		10-5-13-5	+			10-4-8-6橋梁用防護柵工	148
		10-5-13-6	+	橋梁用高欄工		10-4-8-7橋梁用高欄工	148
			+				
o ====		10-5-13-7		検査路工		10-4-8-8検査路工	148
	ンネル(NATM)						
第4節	支保工	10-6-4-3		吹付工			149
		10-6-4-4	1	ロックボルトエ			149
第5節	覆工	10-6-5-3	+	覆エコンクリートエ			150
	-	10-6-5-4	+	側壁コンクリートエ		10-6-5-3覆エコンクリー	150
		10004				トエ	100
		10.05.5	—				450
		10-6-5-5		床版コンクリートエ			150
第6節	インバートエ	10-6-6-4		インバート本体工			151
第7節	坑内付帯工	10-6-7-5		地下排水工		3-2-3-29暗渠工	20
第8節	坑門工	10-6-8-4	1	坑門本体工			151
第8節	坊門丁	10-6-8-5	+	明り巻工			152
11章 ‡		1.0 0 0 0	Ь—	3378-			
		T10 11 0 0		- 4 & t -		0.0.10.11748	07
	工場製作工	10-11-3-3		工場塗装工		3-2-12-11工場塗装工	97
第6節	現場打構築工	10-11-6-2		現場打躯体工			153
		10-11-6-4		カラー継手工			153
		10-11-6-5	1	防水工	防水		153
			2	防水工	防水保護工		153
			3	防水工	防水壁		154
第7節	プレキャスト構築	10-11-7-2	+⊸	プレキャスト躯体工	柳が主		154
弗/即 工	ノレヤヤ人ト情栄	10-11-7-2		プレイヤスト船体工			154
12章 冒	雪線井同藩						
第5節	電線共同溝工	10-12-5-2	1 1	管路工			154
第5節		10-12-5-2	<u> </u>	管路エプレキャストボックスエ	管路部 特殊部		
第5節						10-11-6-2現場打躯体工	154 155 153
	電線共同溝工	10-12-5-3		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ	特殊部	10-11-6-2現場打躯体工	155
第6節	電線共同溝工付帯設備工	10-12-5-3 10-12-5-4		プレキャストボックスエ	特殊部	10-11-6-2現場打躯体工	155 153
第6節 13章 情	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックスエ	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ	特殊部特殊部		155 153 153
第6節 13章 情	電線共同溝工付帯設備工	10-12-5-3 10-12-5-4		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ	特殊部	10-12-5-2管路工	155 153 153
第6節 13章 情 第3節	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックスエ 情報ボックスエ	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2 10-13-3-4		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ 管路エ	特殊部特殊部	10-12-5-2管路工 (管路部)	155 153 153 154
第6節 13章 情第3節	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックスエ	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ	特殊部特殊部	10-12-5-2管路工	155 153 153 154
第6節 13章 情 第3節 第4節	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックスエ 情報ボックスエ	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2 10-13-3-4		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ 管路エ	特殊部特殊部	10-12-5-2管路工 (管路部)	155 153 153 154
第6節 13章 情第3節 第4節 14章 追	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックス工 情報ボックスエ 付帯設備工 道路維持	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2 10-13-3-4		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ 管路エ	特殊部特殊部	10-12-5-2管路工 (管路部)	155 153 153 154 155
第6節 13章 情 第3節 第4節 14章 追	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックス工 情報ボックスエ 付帯設備工 道路維持	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2 10-13-3-4 10-13-4-2		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ 管路エ ハンドホールエ	特殊部特殊部	10-12-5-2管路工 (管路部) 10-12-6-2ハンドホールエ	155 153 153 154 155 78
第6節 13章 情 第3節 第4節 14章 追	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックス工 情報ボックスエ 付帯設備工 道路維持	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2 10-13-3-4 10-13-4-2 10-14-4-3 10-14-4-4		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ 管路エ ハンドホールエ 路面切削エ 舗装打換えエ	特殊部特殊部	10-12-5-2管路工 (管路部) 10-12-6-2ハンドホールエ 3-2-6-15路面切削工	155 153 153 154 155 78
第6節 13章 情 第3節 第4節 14章 追	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックス工 情報ボックスエ 付帯設備工 道路維持	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2 10-13-3-4 10-13-4-2 10-14-4-3		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ 管路エ ハンドホールエ 路面切削工 舗装打換えエ 切削オーパーレイエ	特殊部 特殊部 管路部	10-12-5-2管路工 (管路部) 10-12-6-2ハンドホールエ 3-2-6-15路面切削工	155 153 153 154 155 78 78 156
第6節 13章 情 第3節 第4節 14章 追	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックス工 情報ボックスエ 付帯設備工 道路維持	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2 10-13-3-4 10-13-4-2 10-14-4-3 10-14-4-4 10-14-4-5		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ 管路エ ハンドホールエ 路面切削工 舗装打換え工 切削オーバーレイエ 切削オーバーレイエ	特殊部特殊部	10-12-5-2管路工 (管路部) 10-12-6-2ハンドホールエ 3-2-6-15路面切削工 3-2-6-16舗装打換えエ	155 153 153 154 155 78 78 156 156
第6節 13章 情第3節 第4節	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックス工 情報ボックスエ 付帯設備工 道路維持	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2 10-13-3-4 10-13-4-2 10-14-4-3 10-14-4-4		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ 管路エ ハンドホールエ 路面切削工 舗装打換えエ 切削オーパーレイエ	特殊部 特殊部 管路部	10-12-5-2管路工 (管路部) 10-12-6-2ハンドホールエ 3-2-6-15路面切削工	155 153 153 154 155 78 78 156 156
第6節 13章 情第3節 第4節	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックス工 情報ボックスエ 付帯設備工 道路維持	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2 10-13-3-4 10-13-4-2 10-14-4-3 10-14-4-4 10-14-4-5		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ 管路エ ハンドホールエ 路面切削工 舗装打換え工 切削オーバーレイエ 切削オーバーレイエ	特殊部 特殊部 管路部	10-12-5-2管路工 (管路部) 10-12-6-2ハンドホールエ 3-2-6-15路面切削工 3-2-6-16舗装打換えエ	155 153 153 154 155 78 78 156 156
第6節 13章 情 第3節 第4節 14章 追	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックス工 情報ボックスエ 付帯設備工 道路維持	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2 10-13-3-4 10-13-4-2 10-14-4-3 10-14-4-4 10-14-4-5 10-14-4-6		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ 管路エ ハンドホールエ 路面切削エ 舗装打換えエ 切削オーバーレイエ 切削オーバーレイエ オーバーレイエ	特殊部 特殊部 管路部	10-12-5-2管路工 (管路部) 10-12-6-2ハンドホールエ 3-2-6-15路面切削工 3-2-6-16舗装打換えエ	155 153 153 154 155 78 78 156 156 79
第6節 13章 竹 第3節 第4節 14章 道 第4節	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックス工 情報ボックスエ 付帯設備工 直路維持 舗装工	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2 10-13-3-4 10-13-4-2 10-14-4-3 10-14-4-5 10-14-4-6 10-14-4-7 10-14-4-8		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ 管路エ ハンドホールエ 路面切削工 舗装打換えエ 切削オーパーレイエ 切削オーパーレイエ オーバーレイエ 路上再生エ 薄層カラー舗装工	特殊部 特殊部 管路部	10-12-5-2管路工 (管路部) 10-12-6-2ハンドホールエ 3-2-6-15路面切削工 3-2-6-16舗装打換えエ 3-2-6-17オーバーレイエ 3-2-6-13薄層カラー舗装工	155 153 153 154 155 78 78 156 79 156 74
第6節 13章 竹 第3節 第4節 14章 道 第4節	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックス工 情報ボックスエ 付帯設備工 道路維持	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2 10-13-3-4 10-13-4-2 10-14-4-3 10-14-4-4 10-14-4-5 10-14-4-6 10-14-4-7		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ 管路エ ハンドホールエ 路面切削エ 舗装打換えエ 切削オーバーレイエ 切削オーバーレイエ オーバーレイエ 路上再生エ	特殊部 特殊部 管路部	10-12-5-2管路工 (管路部) 10-12-6-2ハンドホールエ 3-2-6-15路面切削工 3-2-6-16舗装打換えエ 3-2-6-17オーバーレイエ	155 153 153 154 155 78 78 156 79 156 74
第6節 13章 竹 第3節 第4節 14章 道 第4節	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックス工 情報ボックスエ 付帯設備工 直路維持 舗装工	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2 10-13-3-4 10-13-4-2 10-14-4-3 10-14-4-5 10-14-4-6 10-14-4-7 10-14-4-8		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ 管路エ ハンドホールエ 路面切削工 舗装打換えエ 切削オーパーレイエ 切削オーパーレイエ オーバーレイエ 路上再生エ 薄層カラー舗装工	特殊部 特殊部 管路部	10-12-5-2管路工 (管路部) 10-12-6-2ハンドホールエ 3-2-6-15路面切削工 3-2-6-16舗装打換えエ 3-2-6-17オーバーレイエ 3-2-6-13薄層カラー舗装工	155 153 153 154 155 78 156 156 79 156 74
第6節 13章 竹 第3節 第4節 14章 道 第4節	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックス工 情報ボックスエ 付帯設備工 直路維持 舗装工	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2 10-13-3-4 10-13-4-2 10-14-4-3 10-14-4-4 10-14-4-5 10-14-4-7 10-14-4-8 10-14-5-3 10-14-5-4		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ 管路エ ハンドホールエ 路面切削工 舗装打換え工 切削オーパーレイエ 切削オーパーレイエ オーバーレイエ 落上再生工 薄層カラー舗装工 側溝工 管渠工	特殊部 特殊部 管路部	10-12-5-2管路工 (管路部) 10-12-6-2ハンドホールエ 3-2-6-15路面切削工 3-2-6-16舗装打換えエ 3-2-6-17オーパーレイエ 3-2-6-13薄層カラー舗装工 3-2-3-29側溝工 3-2-3-29側溝工	155 153 153 154 155 78 156 156 79 156 74 20
第6節 13章 竹 第3節 第4節 14章 道 第4節	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックス工 情報ボックスエ 付帯設備工 直路維持 舗装工	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2 10-13-3-4 10-13-4-2 10-14-4-3 10-14-4-4 10-14-4-6 10-14-4-7 10-14-4-8 10-14-5-3 10-14-5-4 10-14-5-5		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ 管路エ ハンドホールエ 路面切削工 舗装打換えエ 切削オーパーレイエ 切削オーパーレイエ オーバーレイエ オーバーレイエ 薄層カラー舗装エ 側溝工 管渠工 集水桝・マンホールエ	特殊部 特殊部 管路部	10-12-5-2管路工 (管路部) 10-12-6-2ハンドホールエ 3-2-6-15路面切削工 3-2-6-16舗装打換えエ 3-2-6-17オーバーレイエ 3-2-6-13薄層カラー舗装工 3-2-3-29側溝工 3-2-3-29側溝工 3-2-3-30集水桝工	155 153 153 154 155 78 78 156 156 79 156 74 20 20
第6節 13章 竹 第3節 第4節 14章 道 第4節	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックス工 情報ボックスエ 付帯設備工 直路維持 舗装工	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2 10-13-3-4 10-13-4-2 10-14-4-3 10-14-4-4 10-14-4-5 10-14-4-7 10-14-4-8 10-14-5-3 10-14-5-4 10-14-5-5 10-14-5-6		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ 管路エ ハンドホールエ 路面切削工 舗装打換えエ 切削オーパーレイエ 切削オーパーレイエ オーパーレイエ オーパーレイエ 薄層カラー舗装エ 側溝工 管渠工 集水桝・マンホールエ 地下排水エ	特殊部 特殊部 管路部	10-12-5-2管路工 (管路部) 10-12-6-2ハンドホールエ 3-2-6-15路面切削工 3-2-6-16舗装打換えエ 3-2-6-17オーバーレイエ 3-2-6-13薄層カラー舗装工 3-2-3-29側満工 3-2-3-29側満工 3-2-3-29帽溝工 3-2-3-29暗渠エ 3-2-3-29暗渠エ	155 153 153 153 154 155 78 78 156 156 79 156 74 20 20 21
第6節 13章 竹 第3節 第4節 14章 道 第4節	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックス工 情報ボックスエ 付帯設備工 直路維持 舗装工	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2 10-13-3-4 10-13-4-2 10-14-4-3 10-14-4-4 10-14-4-5 10-14-4-7 10-14-4-8 10-14-5-3 10-14-5-4 10-14-5-5 10-14-5-6 10-14-5-7		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ 管路エ ハンドホールエ 路面切削工 舗装打換えエ 切削オーパーレイエ 切削オーパーレイエ オーパーレイエ 諸上再生エ 薄層カラー舗装エ 側溝工 管渠工 集水桝・マンホールエ 地下排水工 場所打水路エ	特殊部 特殊部 管路部	10-12-5-2管路工 (管路部) 10-12-6-2ハンドホールエ 3-2-6-15路面切削工 3-2-6-16舗装打換えエ 3-2-6-17オーバーレイエ 3-2-6-13薄層カラー舗装工 3-2-3-29側溝工 3-2-3-29側溝エ 3-2-3-29帽溝エ 3-2-3-29暗渠エ 3-2-3-29暗渠エ 3-2-3-29場所打水路工	155 153 153 153 154 155 78 78 156 79 156 74 20 20 21 20
第6節 13章 竹 第3節 第4節 14章 道 第4節	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックス工 情報ボックスエ 付帯設備工 直路維持 舗装工	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2 10-13-3-4 10-13-4-2 10-14-4-3 10-14-4-4 10-14-4-5 10-14-4-7 10-14-4-8 10-14-5-3 10-14-5-4 10-14-5-5 10-14-5-6		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ 管路エ ハンドホールエ 路面切削工 舗装打換えエ 切削オーパーレイエ 切削オーパーレイエ オーパーレイエ オーパーレイエ 薄層カラー舗装エ 側溝工 管渠工 集水桝・マンホールエ 地下排水エ	特殊部 特殊部 管路部	10-12-5-2管路工 (管路部) 10-12-6-2ハンドホールエ 3-2-6-15路面切削工 3-2-6-16舗装打換えエ 3-2-6-17オーバーレイエ 3-2-6-13薄層カラー舗装工 3-2-3-29側満工 3-2-3-29側満工 3-2-3-29帽溝工 3-2-3-29暗渠エ 3-2-3-29暗渠エ	155 153 153 153 154 155 78 78 156 156 79 156 74 20 20 21
第6節 13章 竹 第3節 第4節 14章 這 第4節	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックス工 情報ボックスエ 付帯設備工 直路維持 舗装工	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2 10-13-3-4 10-13-4-2 10-14-4-3 10-14-4-4 10-14-4-5 10-14-4-7 10-14-4-8 10-14-5-3 10-14-5-4 10-14-5-5 10-14-5-6 10-14-5-7		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ 管路エ ハンドホールエ 路面切削工 舗装打換えエ 切削オーパーレイエ 切削オーパーレイエ オーパーレイエ 諸上再生エ 薄層カラー舗装エ 側溝工 管渠工 集水桝・マンホールエ 地下排水工 場所打水路エ	特殊部 特殊部 管路部	10-12-5-2管路工 (管路部) 10-12-6-2ハンドホールエ 3-2-6-15路面切削工 3-2-6-16舗装打換えエ 3-2-6-17オーバーレイエ 3-2-6-13薄層カラー舗装工 3-2-3-29側溝工 3-2-3-29側溝エ 3-2-3-29帽溝エ 3-2-3-29暗渠エ 3-2-3-29暗渠エ 3-2-3-29場所打水路工	155 153 153 153 154 155 78 78 156 79 156 74 20 20 21 20
第6節 13章 竹 第3節 第4節 14章 這 第4節	電線共同溝工 付帯設備工 青報ボックス工 情報ボックスエ 付帯設備工 道路維持 舗装工	10-12-5-3 10-12-5-4 10-12-6-2 10-13-3-4 10-13-4-2 10-13-4-2 10-14-4-3 10-14-4-5 10-14-4-6 10-14-4-7 10-14-5-3 10-14-5-4 10-14-5-5 10-14-5-6 10-14-5-7 10-14-5-8		プレキャストボックスエ 現場打ちボックスエ ハンドホールエ 管路エ ハンドホールエ 路面切削工 舗装打換えエ 切削オーパーレイエ 切削オーパーレイエ オーパーレイエ 落上再生エ 薄層カラー舗装エ 側溝工 管渠工 集水桝・マンホールエ 地下排水工 場所打水路工 排水エ	特殊部 特殊部 管路部	10-12-5-2管路工 (管路部) 10-12-6-2ハンドホールエ 3-2-6-15路面切削工 3-2-6-16舗装打換えエ 3-2-6-13薄層カラー舗装工 3-2-3-29側溝エ 3-2-3-29側溝エ 3-2-3-29帽溝エ 3-2-3-29暗渠エ 3-2-3-29場所打水路工 3-2-3-29側溝工	155 153 153 153 154 155 78 156 156 79 156 74 20 20 21 20 20

	編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
П		10-14-6-6		車止めポストエ		3-2-3-7防止柵工	9
	第7節 標識工	10-14-7-3		小型標識工		3-2-3-6小型標識工	8
		10-14-7-4		大型標識工		10-2-9-4大型標識工	135

44 - 44 - 43/ - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 - 4 -		番 工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第8節 道路付属施設工	10-14-8-4	道路付属物工		3-2-3-10道路付属物工	10
	10-14-8-5	ケーブル配管エ		10-2-12-5ケーブル配管エ	137
	10-14-8-6	照明工		10-2-12-6照明工	137
第9節 軽量盛土工	10-14-9-2	軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	6
第10節 擁壁工	10-14-10-3	場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	104
第10則 雅堂工					
	10-14-10-4	プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁工	104
 第11節 石・ブロック積	10-14-11-3	コンクリートブロックエ		3-2-5-3コンクリートブロッ	25
第11郎 石・フログラ預 (張)エ	10-14-11-3	3299-120991			23
()R/ _	10-14-11-4	石積(張)工		3-2-5-5石積(張)エ	26
第12節 カルバートエ	10-14-12-4	場所打函渠工		10-1-9-6場所打函渠工	131
第12則 ガルハードエ					
	10-14-12-5	プレキャストカルバートエ		3-2-3-28プレキャストカル	19
第13節 法面工	10-14-13-2	植生工	+	/バートエ 3-2-14-2植生エ	99
第13則 法国工					
	10-14-13-3	法面吹付工		3-2-14-3吹付工	101
	10-14-13-4	法枠工		3-2-14-4法枠工	102
	10-14-13-6	アンカーエ		3-2-14-6アンカーエ	103
	10-14-13-7	かごエ	じゃかご	3-2-3-27羽口工	19
	10 14 13 7			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	
		かごエ	ふとんかご	3-2-3-27羽口工	19
第15節 橋梁付属物工	10-14-15-2	伸縮継手工		3-2-3-24伸縮装置工	16
	10-14-15-4	地覆工		10-4-8-5地覆工	148
	10-14-15-5	橋梁用防護柵工		10-4-8-6橋梁用防護柵工	148
	10-14-15-6	橋梁用高欄工		10-4-8-7橋梁用高欄工	148
	10-14-15-7	検査路工		10-4-8-8検査路工	148
第17節 現場塗装工	10-14-17-6	コンクリート面塗装工		3-2-3-11コンクリート面塗装	10
		// 四三衣二		工	
6章 道路修繕	•				
第3節 工場製作工	10-16-3-4	析補強材製作工			157
wax II -	10-16-3-5			2_2_12. 6 歩 抵 叶 ル サ 翠 却 ル ー	95
	10-10-3-3	落橋防止装置製作工		3-2-12-6落橋防止装置製作工	95
第5節 舗装工	10-16-5-3	路面切削工		3-2-6-15路面切削工	78
270以					
	10-16-5-4	舗装打換え工		3-2-6-16舗装打換え工	78
	10-16-5-5	切削オーバーレイエ		10-14-4-5切削オーバーレ	156
				イエ	
	10-16-5-6	オーバーレイエ		3-2-6-17オーバーレイエ	79
	10-16-5-7	路上再生工		10-14-4-7路上再生工	156
	10-16-5-8	薄層カラー舗装工		3-2-6-13薄層カラー舗装	74
				エ	
笠6笠 世业巷连枷工	10-16-6-3	加速工		2 2 2 20個建工	20
第6節 排水構造物工		側溝工		3-2-3-29側溝工	
	10-16-6-4	管渠工		3-2-3-29側溝工	20
	10-16-6-5	集水桝・マンホールエ		3-2-3-30集水桝工	21
	10-16-6-6	地下排水工		3-2-3-29暗渠工	20
		=			
	10-16-6-7	場所打水路工		3-2-3-29場所打水路工	20
	10-16-6-8	排水工		3-2-3-29側溝工	20
第7節 縁石工	10-16-7-3	縁石工		3-2-3-5縁石工	8
第8節 防護柵工	10-16-8-3	路側防護柵工	+	3-2-3-8路側防護柵工	9
第0則 防護柵工					
	10-16-8-4	防止柵工		3-2-3-7防止柵工	9
	10-16-8-5	ボックスビームエ		3-2-3-8路側防護柵工	9
	10-16-8-6	車止めポストエ		3-2-3-7防止柵工	9
第0年 本学士		, =		*** ***	
第9節 標識工	10-16-9-3	小型標識工		3-2-3-6小型標識工	8
	10-16-9-4	大型標識工		10-2-9-4大型標識工	135
第10節 区画線工	10-16-10-2	区画線工		3-2-3-9区画線工	10
第12節 道路付属施設工	10-16-12-4	道路付属物工		3-2-3-10道路付属物工	10
第12節 道路付属施設工	10-16-12-5	ケーブル配管エ		10-2-12-5ケーブル配管エ	137
	10-16-12-6	照明工		10-2-12-6照明工	137
	10-16-13-2	軽量盛土工		1-2-4-3路体盛土工	6
第13節 軽量盛土工	10-10-13-2		i	1	
		場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁駐丁	104
第13節 軽量盛土工 第14節 擁壁工	10-16-14-3	場所打擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工	
		場所打擁壁工 プレキャスト擁壁工		3-2-15-1場所打擁壁工 3-2-15-2プレキャスト擁壁工	
第14節 擁壁工	10-16-14-3 10-16-14-4	プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁エ	104
第14節 擁壁工 第15節 石・ブロック積	10-16-14-3	******		***************************************	104
第14節 擁壁工	10-16-14-3 10-16-14-4	プレキャスト擁壁工		3-2-15-2プレキャスト擁壁エ 3-2-5-3コンクリートブロッ	10 ²
第14節 擁壁工 第15節 石・ブロック積 (張) エ	10-16-14-3 10-16-14-4 10-16-15-3 10-16-15-4	プレキャスト擁壁エ コンクリートブロックエ 石積(張)エ		3-2-15-2プレキャスト擁壁エ 3-2-5-3コンクリートブロッ クエ 3-2-5-5石積(張)エ	10 ² 25 26
第14節 擁壁工 第15節 石・ブロック積 (張) エ	10-16-14-3 10-16-14-4 10-16-15-3 10-16-15-4 10-16-16-4	プレキャスト擁壁エ コンクリートブロックエ 石積(張)エ 場所打函渠エ		3-2-15-2プレキャスト擁壁エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 10-1-9-6場所打函渠エ	10 ² 25 26 131
第14節 擁壁工 第15節 石・ブロック積 (張) エ	10-16-14-3 10-16-14-4 10-16-15-3 10-16-15-4	プレキャスト擁壁エ コンクリートブロックエ 石積(張)エ		3-2-15-2プレキャスト擁壁エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 10-1-9-6場所打函渠エ 3-2-3-28プレキャストカル	10 ² 25 26 131
第14節 擁壁工 第15節 石・ブロック積 (張) エ 第16節 カルバートエ	10-16-14-3 10-16-14-4 10-16-15-3 10-16-15-4 10-16-16-4 10-16-16-5	プレキャスト擁壁エ コンクリートブロックエ 石積 (張) エ 場所打函渠エ プレキャストカルバートエ		3-2-15-2プレキャスト擁壁エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 10-1-9-6場所打函渠エ 3-2-3-28プレキャストカル パートエ	10 ⁴ 25 26 13 ¹
第14節 擁壁工 第15節 石・ブロック積 (張) エ 第16節 カルバートエ	10-16-14-3 10-16-14-4 10-16-15-3 10-16-15-4 10-16-16-4 10-16-16-5 10-16-17-2	プレキャスト擁壁エ コンクリートブロックエ 石積(張)エ 場所打函渠エ プレキャストカルパートエ 植生エ		3-2-15-2プレキャスト擁壁エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 10-1-9-6場所打函渠エ 3-2-3-28プレキャストカル バートエ 3-2-14-2植生エ	10 ⁴ 25 26 13 19
第14節 擁壁工 第15節 石・ブロック積 (張) エ 第16節 カルバートエ	10-16-14-3 10-16-14-4 10-16-15-3 10-16-15-4 10-16-16-4 10-16-16-5	プレキャスト擁壁エ コンクリートブロックエ 石積 (張) エ 場所打函渠エ プレキャストカルバートエ		3-2-15-2プレキャスト擁壁エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 10-1-9-6場所打函渠エ 3-2-3-28プレキャストカル パートエ	10 ⁴ 25 26 13 19
第14節 擁壁工 第15節 石・ブロック積 (張)エ 第16節 カルパートエ	10-16-14-3 10-16-14-4 10-16-15-3 10-16-15-4 10-16-16-4 10-16-16-5 10-16-17-2	プレキャスト擁壁エ コンクリートブロックエ 石積(張)エ 場所打函渠エ プレキャストカルパートエ 植生エ		3-2-15-2プレキャスト擁壁エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 10-1-9-6場所打函渠エ 3-2-3-28プレキャストカル バートエ 3-2-14-2植生エ	25 26 131 19 99
第14節 擁壁工 第15節 石・ブロック積 (張) エ 第16節 カルバートエ	10-16-14-3 10-16-14-4 10-16-15-3 10-16-15-4 10-16-16-4 10-16-16-5 10-16-17-2 10-16-17-3 10-16-17-4	プレキャスト擁壁エ コンクリートブロックエ 石積(張)エ 場所打函渠エ プレキャストカルパートエ 植生エ 法面吹付エ 法枠エ		3-2-15-2プレキャスト擁壁エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 10-1-9-6場所打函渠エ 3-2-3-28プレキャストカルバートエ 3-2-14-2植生エ 3-2-14-3吹付エ 3-2-14-4法枠エ	10 ⁴ 25 26 13 19 99 10 102
第14節 擁壁工 第15節 石・ブロック積 (張)エ 第16節 カルパートエ	10-16-14-3 10-16-14-4 10-16-15-3 10-16-15-4 10-16-16-4 10-16-16-5 10-16-17-2 10-16-17-3 10-16-17-4 10-16-17-6	プレキャスト擁壁エ コンクリートブロックエ 石積(張)エ 場所打函渠エ プレキャストカルパートエ 植生エ 法面吹付エ 法枠エ アンカーエ		3-2-15-2プレキャスト擁壁エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 10-1-9-6場所打函渠エ 3-2-3-28プレキャストカルバートエ 3-2-14-2植生エ 3-2-14-3吹付エ 3-2-14-6アンカーエ	10 ⁴ 25 26 13 ³ 19 99 10 ³ 102
第14節 擁壁工 第15節 石・ブロック積 (張)エ 第16節 カルパートエ	10-16-14-3 10-16-14-4 10-16-15-3 10-16-15-4 10-16-16-4 10-16-16-5 10-16-17-2 10-16-17-3 10-16-17-4	プレキャスト擁壁エ コンクリートブロックエ 石積(張)エ 場所打函渠エ プレキャストカルパートエ 植生エ 法面吹付エ 法枠エ	じゃかご	3-2-15-2プレキャスト擁壁エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 10-1-9-6場所打函渠エ 3-2-3-28プレキャストカルバートエ 3-2-14-2植生エ 3-2-14-3吹付エ 3-2-14-4法枠エ	10 ⁴ 25 26 13 ³ 19 99 10 ³ 102
第14節 擁壁工 第15節 石・ブロック積 (張)エ 第16節 カルパートエ	10-16-14-3 10-16-14-4 10-16-15-3 10-16-15-4 10-16-16-4 10-16-16-5 10-16-17-2 10-16-17-3 10-16-17-4 10-16-17-6	プレキャスト擁壁エ コンクリートブロックエ 石積(張)エ 場所打函渠エ プレキャストカルパートエ 植生エ 法面吹付エ 法枠エ アンカーエ	じゃかご	3-2-15-2プレキャスト擁壁エ 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 10-1-9-6場所打函渠エ 3-2-3-28プレキャストカルバートエ 3-2-14-2植生エ 3-2-14-3吹付エ 3-2-14-6アンカーエ	10 ² 25 26 131 19 99 101 102 103
第14節 擁壁工 第15節 石・ブロック積 (張)工 第16節 カルパートエ 第17節 法面工	10-16-14-3 10-16-14-4 10-16-15-3 10-16-15-4 10-16-16-4 10-16-16-5 10-16-17-2 10-16-17-3 10-16-17-4 10-16-17-6 10-16-17-7	プレキャスト擁壁エ コンクリートブロックエ 石積(張)エ 場所打函渠エ ブレキャストカルバートエ 植生エ 法面吹付エ 法枠エ アンカーエ かごエ		3-2-15-2プレキャスト擁壁工 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 10-1-9-6場所打函渠エ 3-2-3-28プレキャストカルバートエ 3-2-14-2植生エ 3-2-14-3吹付エ 3-2-14-4法枠エ 3-2-14-6アンカーエ 3-2-3-27羽ロエ 3-2-3-27羽ロエ	10 ² 25 26 131 19 99 101 102 103 19 19
第14節 擁壁工 第15節 石・ブロック積 (張)工 第16節 カルパートエ 第17節 法面工	10-16-14-3 10-16-14-4 10-16-15-3 10-16-15-4 10-16-16-4 10-16-16-5 10-16-17-2 10-16-17-3 10-16-17-4 10-16-17-6 10-16-17-7	プレキャスト擁壁エ コンクリートブロックエ 石積(張)エ 場所打函渠エ ブレキャストカルバートエ 植生エ 法面吹付エ 法枠エ アンカーエ かごエ かごエ 落石防止網エ		3-2-15-2プレキャスト擁壁工 3-2-5-3コンクリートブロック工 3-2-5-5石積 (張) エ 10-1-9-6場所打函渠工 3-2-3-28プレキャストカルバートエ 3-2-14-2植生エ 3-2-14-3吹付エ 3-2-14-6アンカーエ 3-2-3-27羽ロエ 10-1-11-4落石防止網工	10 ² 25 26 131 19 99 101 102 103 19 19 131
第14節 擁壁工 第15節 石・ブロック積 (張)工 第16節 カルパートエ 第17節 法面工	10-16-14-3 10-16-14-4 10-16-15-3 10-16-15-4 10-16-16-4 10-16-16-5 10-16-17-2 10-16-17-3 10-16-17-4 10-16-17-6 10-16-17-7 10-16-18-4 10-16-18-5	プレキャスト擁壁エ コンクリートブロックエ 石積(張)エ 場所打函渠エ ブレキャストカルバートエ 植生エ 法面吹付エ 法枠エ アンカーエ かごエ かごエ 落石防止網エ 落石防護柵エ		3-2-15-2プレキャスト擁壁工 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 10-1-9-6場所打函渠エ 3-2-3-28プレキャストカルバートエ 3-2-14-2植生エ 3-2-14-3吹付エ 3-2-14-6アンカーエ 3-2-3-27羽ロエ 10-1-11-4落石防止網エ 10-1-11-5落石防護柵エ	104 104 25 26 131 19 99 101 102 103 19 19 131
第14節 擁壁工 第15節 石・ブロック積 (張)エ 第16節 カルバートエ 第17節 法面工	10-16-14-3 10-16-14-4 10-16-15-3 10-16-15-4 10-16-16-4 10-16-16-5 10-16-17-2 10-16-17-3 10-16-17-4 10-16-17-6 10-16-17-7	プレキャスト擁壁エ コンクリートブロックエ 石積(張)エ 場所打函渠エ ブレキャストカルバートエ 植生エ 法面吹付エ 法枠エ アンカーエ かごエ かごエ 落石防止網エ		3-2-15-2プレキャスト擁壁工 3-2-5-3コンクリートブロック工 3-2-5-5石積 (張) エ 10-1-9-6場所打函渠工 3-2-3-28プレキャストカルバートエ 3-2-14-2植生エ 3-2-14-3吹付エ 3-2-14-6アンカーエ 3-2-3-27羽ロエ 10-1-11-4落石防止網工	104 25 26 131 19 99 101 102 103 19 19 131
第14節 擁壁工 第15節 石・ブロック積	10-16-14-3 10-16-14-4 10-16-15-3 10-16-15-4 10-16-16-4 10-16-16-5 10-16-17-2 10-16-17-3 10-16-17-4 10-16-17-6 10-16-17-7 10-16-18-4 10-16-18-5	プレキャスト擁壁エ コンクリートブロックエ 石積(張)エ 場所打函渠エ ブレキャストカルバートエ 植生エ 法面吹付エ 法枠エ アンカーエ かごエ かごエ 落石防健柵工 防雪柵工		3-2-15-2プレキャスト擁壁工 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 10-1-9-6場所打函渠エ 3-2-3-28プレキャストカルバートエ 3-2-14-3吹付エ 3-2-14-4法枠エ 3-2-14-6アンカーエ 3-2-3-27羽ロエ 10-1-11-4落石防止網エ 10-1-11-5落石防護柵エ 10-1-11-6防雪柵エ	104 25 26 131 19 99 101 102 103 19 19 131 131
第14節 擁壁工 第15節 石・ブロック積 (張)工 第16節 カルパートエ 第17節 法面工	10-16-14-3 10-16-14-4 10-16-15-3 10-16-15-4 10-16-16-4 10-16-16-5 10-16-17-2 10-16-17-3 10-16-17-4 10-16-17-6 10-16-17-7 10-16-18-4 10-16-18-5 10-16-18-6	プレキャスト擁壁エ コンクリートブロックエ 石積(張)エ 場所打函渠エ ブレキャストカルバートエ 植生エ 法面吹付エ 法枠エ アンカーエ かごエ かごエ 落石防止網エ 落石防護柵エ		3-2-15-2プレキャスト擁壁工 3-2-5-3コンクリートブロックエ 3-2-5-5石積(張)エ 10-1-9-6場所打函渠エ 3-2-3-28プレキャストカルバートエ 3-2-14-2植生エ 3-2-14-3吹付エ 3-2-14-6アンカーエ 3-2-3-27羽ロエ 10-1-11-4落石防止網エ 10-1-11-5落石防護柵エ	10 ² 25 26 131 19 99 101 102 103 19 191 131

Γ	編、章、節		枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
Γ		10-16-21-4		PC橋支承工		10-4-5-10支承工	147

編、章		条	技番 工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
第22節 橋梁付属	•	10-16-22-3	伸縮継手工		3-2-3-24伸縮装置工	16
		10-16-22-4	落橋防止装置工		10-4-8-3落橋防止装置工	148
		10-16-22-6	地覆工		10-4-8-5地覆工	148
		10-16-22-7	橋梁用防護柵工		10-4-8-6橋梁用防護柵工	148
		10-16-22-8	橋梁用高欄工		10-4-8-7橋梁用高欄工	148
		10-16-22-9	検査路工		10-4-8-8検査路工	148
# OF # THE SO H					* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *	
第25節 現場塗装	`	10-16-25-3	橋梁塗装工		3-2-3-31現場塗装工	21
		10-16-25-6	コンクリート面塗装工		3-2-3-11コンクリート面塗装	10
 4編 公園緑地編						
Ŕ2章 植栽		44.0.0				450
第3節 植栽工		14-2-3	植栽工高木・中木			158
			植栽工			158
			張芝		+	158
			つる性補助			158
			笹類、草木類等			
			球根			158
			種子			158
			支柱			158
				L	1	
		14-3	遊具	ジャングルジム・滑台等		159
			園路園地舗装工			159
			pan sep pan <20 H∏ 4X →	石張、平板、ダスト簡易舗装等		103
			運動施設	クレイ舗装		159
			基盤工		+	159
			下層工			159
			中層工			159
 				L		109
5編 下水道編 11章 管路						
第3節 管きょエ	(開削)	15-1-3-3	管路掘削			160
			管路埋戻			160
		15-1-3-4	宣传 管布設	自然流下管	+	160
		10 1 0 4	矩形渠		+	161
				プレキャスト		
			圧送管			161
		15-1-3-5	砂基礎			161
			砕石基礎			161
			コンクリート基礎			162
			まくら土台基礎			162
			はしご胴木基礎		+	162
		15-1-3-6	現場打水路			163
the 4 Fifth Mr. de		15-1-3-7	鋼矢板土留			163
第4・5節 管きょ 推進、推進)			推進工			164
		15-1-4 · 5-4	空伏工			164
第6節 管きょエ	(シールド)	15-1-6-3	掘進工			165
		15-1-6-4	二次覆工			165
第7節 管きょ更:	生工	15-1-7-3	反転・形成工法			166
			製管工法			166
第8節 マンホー	ILT .	15-1-8-3	現場打ちマンホールエ		+	167
\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \			マンホール基礎工			167
		1E 1 0 4				
		15-1-8-4	組立マンホールエ			168
		15-1-8-5	小型マンホールエ			168
第9節 特殊マン		15-1-9-4	現場打ち特殊人孔			168
		15-1-9	伏せ越し室・雨水吐室			169
		15-1-9	伏せ越し管			169
		15-1-9	越流堰(雨水吐室)			170
		15-1-9	中継ポンプ施設		+	170
第10節 取付管お		15-1-10-4	公共ます		+	171
AYINE O		15-1-10-4			+	171
公19体 ナユー			取付管			171
第13節 立坑工		15-1-13	立坑工			
# 0.00c hn 100/0 10:		15-1-13	立坑土工			172
第2章 処理場・ポン		15_2_6 2	I+ T	10 %1		173
第6節 本体作業		15-2-6-2 15-2-7-2	土工	掘削		
第7節 本体仮設			土留・仮締切工	H鋼杭、鋼矢板		173
第8節 本体築造	L	15-2-8-9	構造物基礎			174
			池・槽の主要構造物			174
			池・槽の付属構造物			174
			開口部		1	175
			ゲート用開口部		 	175
			可動せき用開口部		+	175
		15-2-8-11			+	175
			流出トラフ			
		15-2-8-12	越流堰			176
			燃料貯留槽工			176

Г	編、章、節	条	枝番	工種	種別	準用する出来形管理基準	頁
Г	第9節 場内管路工	15-2-9-10		流入渠・流出渠			177

編	章	節	条	枝番	工工種	測定	項目	規	格値	測 定 基 準	測定ヶ所	摘要
1 共	2 土	3 河	2	1	掘削工	基 準	高▽	<u>±</u>	50	施工延長 20mにつき 1 ヶ所、延長 20m以下のものは 1 施工箇所につき 2 ヶ所。		
通編	I	川土				法長0	ℓ < 5 m	_	200	基準高は掘削部の両端で測定。 ただし、「3次元計測技術を用いた出来		
炒冊		ı T				1216	ℓ ≧ 5 m	法長	-4%	形管理要領(案)」の規定により測点による管理を行う場合は、設計図書の測点	\[\sqrt{\frac{\fir}}}}}}{\frac{\fi	
		海								毎。基準高は掘削部の両端で測定。		
		岸土工		2	掘削工 (面管理の場合)			平均値		1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管	・大価税の計算点・ / / / / / / / / / / / / / / / / / / /	1-2-3-2
		工 •			(四百至少加口)	平場	標高較差	±50	土150	理要領(案)」に基づき出来形管理を面 管理で実施する場合、その他本基準に規	- миносия	
		砂防・				法面	水平または	±70	±160	定する計測精度・計測密度を満たす計測 方法により出来形管理を実施する場合に	18/12	
		土工				(小段 含む)	標高較差			適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度		
						法面	水平または	±70	±330	として±50mm が含まれている。 3. 計測は平場面と法面(小段を含む)	TA	
						(軟岩 I) (小段	標高較差	_10	_000	の全面とし、全ての点で設計面との標高 較差または水平較差を算出する。計測密	CHE	
						含む)				度は1点/m2(平面投影面積当たり)以上とする。	(300H)	
										4. 法肩、法尻から水平方向に±5cm 以内に存在する計測点は、標高較差の評価		
										から除く。同様に、標高方向に±5cm 以 内にある計測点は水平較差の評価から除		
										く。 5. 評価する範囲は、連続する一つの面		
										とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、ある		
										いは規格値の条件の最も厳しい値を採用 する。		

1 2 3 2 3 掘削工 平均 個々の 計測値 いて「3次元計測技術を用いた出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理を面管理で実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に	
(小殿 含む) 標高較差 以下 海川する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度 として土100m が含まれている。 3. 計測は平場面と抗面の全面とし、すべての点で設計面との標高較差を算出する。計測を減え「元/位2 (平面投影面積当たり) 以上とする。	1-2-3-2

編	章	節	条	枝番	工 種	測定	項目	規規	各値	測 定 基 準 測定ヶ所	摘要
1 共通編	2 土 工	3河川土工・海岸土工	3		盛土工	法良癿	高 ▽ < 5 m ≥ 5 m	法長-	50 100 - 2 % 100	施工延長20mにつき 1 ヶ所、延長20m以下のものは 1 施工箇所につき 2 ヶ所。 基準高は各法肩で測定。 ただし、「3 次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定により測点による管理を行う場合は、設計図書の測点毎。基準高は各法肩で測定。	***
		工・砂防土工			低工工(面管理の場合)	天 法4		一 50 - 50 - 60	計測値	1. 3人元 アードル フィスト アードル マードル マードル マードル マードル マードル マードル マードル マ	

編	章	節	条	枝番	工 種	測	定	項	目	規	格	値	測 定 基 準 測定ヶ所 摘	所 要
1 共通編	2 ± I	3 河川土工・海岸土工・砂防土工	4		盛土補強工 (補強土 (テールアル メ)壁工法) (多数アンカー式補強 土工法) (ジオテキスタイルを 用いた補強土工法)	厚		高き長	t	設	—50 —50 計值.	0	施工延長 20mにつき1ヶ所、延長 20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合は、同要領に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施することができる。	
1 共通編	2 ± I	3 河川土工・海岸土工・砂防土工	5		法面整形工 (盛土部)	厚		3	t		* -:	30	施工延長 20mにつき1ヶ所、延長 20 m以下のものは1施工箇所につき2ヶ 所、法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。 ただし、「3次元計測技術を用いた出 来形管理要領(案)」に基づき出来形 管理を実施する場合は、同要領に規定 する計測精度・計測密度を満たす計測 方法により出来形管理を実施すること ができる。	
1 共通編	2 土 工	3 河川土工・海岸土工・砂防土工	6		堤防天端工	厚さt 幅		<15c			-29 -56 -10	0	幅は、施工延長 20mにつき1ヶ所、延 長 20m以下のものは1施工箇所につき 2ヶ所。 厚さは、施工延長 100mにつき1ヶ 所、100m以下は2ヶ所、中央で測 定。	

編	章	節	条	枝番	工 種	測定	項目	規札	各値	測 定 基 準	測定ヶ所	摘要
1 共通編	2 土 工	4 道路土工	2	1	掘削工	法長 ℓ	高 ▽ ℓ < 5 m ℓ ≥ 5 m	-: 法長-	50 200 - 4 %	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 基準高は道路中心線及び端部で測定。 ただし、「3次元計測技術を用いた出 来形管理要領(案)」の規定により測 点による管理を行う場合は、設計図書	W	
						幅	W		100	の測点毎。基準高は、道路中心線及び端部で測定。	<i>Y</i> *	
				2	掘削工 (面管理の場合)	平場	標高較差	平均値 ±50	計測値	1. 3次元データによる出来形管理に おいて「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)」に基づき出来形	天端部の計測点	1-2-4-2
						法面 (小段 含む)	水平または標高較差		±160	管理を面管理で実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度 を満たす計測方法により出来形管理を 実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精	・ 法面部の計測点 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
				7		法面 (軟岩 I) (小段 含む)	水平または標高較差	±70	±330	度として±50mmが含まれている。 3. 計測は平場面と法面 (小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面との標高較差または水平較差で算出す	\	
										る。計測密度は1点/㎡(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 法肩、法尻から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高較差の評価から除く。同様に、標高方向に±5cm以内にある計測点は水平較差の評価から除く。 5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が	小段	
										面とすることを基本とする。		

刹	iii	章	節	条	枝番	工 種	測定	項目	規規	各値	測 定 基 準 測定ヶ所	摘要
3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3	Ę	2 土 工	4 道路土工	3	1	路体盛土工路床盛土工	基準法長0	高 ∇ $\ell < 5 \text{ m}$ $\ell \ge 5 \text{ m}$ $\mathbf{w}_{1}, \mathbf{w}_{2}$	法長-	50 100 - 2 % 100		-2-4-3 -2-4-4
				4	2	路体盛土工 (面管理の場合) 路床盛土工 (面管理の場合)	天端 法面 (む) 含 含	標高較差標高較差	平均值 ±50 ±80	計測値 ±150 ±190	1. 3次元データによる出来形管理において「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合、その他本基準に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施する場合に適用する。 2. 個々の計測値の規格値には計測精度として±50mmが含まれている。 3. 計測は実端面と大語面(小段を含む)の全面とし、全ての点で設計面との標高較差または水平較差を算出する。計測密度は1点/m(平面投影面積当たり)以上とする。 4. 法肩、法尻から水平方向に±5cm以内に存在する計測点は、標高方向に±5cm以内にある計測点は、標高方向に±5cm以内にある計測点は水平較差の評価から除く。 5. 評価する範囲は、連続する一つの面とすることを基本とする。規格値が変わる場合は、評価区間を分割するか、あるいは規格値の条件の最も厳しい値を採用する。	

編	章	節	条	枝番	工	種	浿	〕定	項	目	規格値	測 定 基 準 測定ヶ所	摘要
1 共通編	2 土 工	4 道路土工	5		法面整形工	(盛土部)	厚	[さ	t	* -30	施工延長 20mにつき1ヶ所、延長 20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。法の中央で測定。 ※土羽打ちのある場合に適用。	
1 共通編	3無筋、鉄筋コンクリート	7 鉄筋工	4		組立て		か	均間		d t	± φ 設計かぶり ± φかつ 最小かぶり 以上	d = D/(n-1) D: n本間の延長 n: 10 本程度とする	

編	章	節	条 枝	番工種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土	2	3 共	4	矢板工 [指定仮設・任 意仮設は除く]	基 準 高 ▽	±50	基準高は施工延長 20mにつき1ヶ所、 延長 20m以下のものは1施工箇所につ		
木工	般施	通的		(鋼矢板) (軽量鋼矢板)	根 入 長	設計値以上	き 2 ヶ所。 変位は、施工延長 20mにつき 1 ヶ所、	e	
上事 共 通 編	ル 工	的工種		(ロンクリート矢板) (広幅鋼矢板) (可とう鋼矢板)	変 位 0	100	変位は、旭上延長 20mに与き1ヶ所、延長 20m以下のものは1 施工箇所につき2ヶ所。「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合は、同要領に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施することができる。		
3 土木工事共通編	2 一般 施工	3 共通的工種	5	縁石工 (縁石・アスカーブ)	延 長 L	-200	1ヶ所/1施工箇所 ただし、「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)」の規定により管理を行 う場合は、延長の変化点で測定。		
3 土	2	3 共	6	小型標識工	設置高さH	設計値以上	1ヶ所/1基		
木工事共	般施工	八通的工種			幅 w (D)	-30	基礎1基毎 「3次元計測技術を用いた出来形管理	w (D)	
通		性			基 。 高さ h	-30	要領 (案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。		
編					根入長	設計値以上		H	

編	章	節	条	枝番	工種	測定	項 目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土木工事共通編	2 一般 施工	3 共通的工種	7		防止柵工 (立入防止柵) (転落(横断)防止柵) (車止めポスト)	基礎高	w さ h	-30 -30	単独基礎 10 基につき 1 基、10 基以下のものは 2 基測定。測定箇所は 1 基につき 1 ヶ所測定。 「3 次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。	h	
						パイプ取化	付高 H	+30 -20	1ヶ所/1施工箇所 「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」の規定による測点の管理方 法を用いることができる。	H ISIBILISI	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通的工種	8	1	路側防護柵工 (ガードレール)	基礎高	w さ h 付高 H	-30 -30 +30 -20	1ヶ所/施工延長40m 40m以下のものは、2ヶ所/1施工箇 所。 「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」の規定による測点の管理方 法を用いることができる。 1ヶ所/1施工箇所 「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」の規定による測点の管理方 法を用いることができる。	h H	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通的工種	8	2	路側防護柵工 (ガードケーブル)	幅 基礎 高 延 ケーブル取	w さh 長 L V付高 H	-30 -30 -100 +30 -20	1ヶ所/1基礎毎 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。 1ヶ所/1施工箇所 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。	h L H	※ワイヤロー プ式防護柵に も適用する

編	章	節	条	枝番 工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	商要
3 土	2 —	3 共	9	区画線工	厚 さ t (溶融式のみ)	設計値以上	各線種毎に、1ヶ所テストピースにより測定。		
木工	般施	通的			幅 w	設計値以上			
事共	エ	工種							
通編									
3 土	2	3 共	10	道路付属物工(視線誘導標)	高 さ h	±30	1ヶ所/10本 10本以下の場合は、2ヶ所測定。		
木	般	通		(距離標)				O	
工事"	施工	的工					「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」の規定による測点の管理) h	
共通		種					方法を用いることができる。		
編									
3 土	2 -	3 共	11	コンクリート面塗装工		覧Ⅱ-82 「表-	塗装系ごとの塗装面積を算出・照査して、各塗料の必要量を求め、塗付作業		
木工	般施	通的				標準使用量と標	の開始前に搬入量(充缶数)と、塗付 作業終了時に使用量(空缶数)を確認		
事共	工	工種					し、各々必要量以上であることを確認する。		
通編							1ロットの大きさは500㎡とする。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土	2	3 共	12	1	プレテンション桁製作工 (購入工)	桁長 L (m)	± L /1000	桁全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。		
十十二	般施	通			(けた橋)	断面の外形寸法	± 5	なお、JIS マーク表示品を使用する場合は、製造工場の発行する JIS に基づ	断面図	
事 共	加工	的工種			- (v / / 二 作前 /	橋 桁 の そ り δ 1	± 8	合は、製造工場の発行する JIS に基づ く試験成績表に替えることができる。 		
- 通編		/生				横方向の曲がり δ ₂	±10		側面図	
HPKIN									Š.	
									L L	
									平面図	
									δ	
3 土	2	3 共	12	2	プレテンション桁製作工 (購入工)	桁長 L (m)	±10··· L≤10m	桁全数について測定。 橋桁のそりは中央の値とする。		
木工	般施	通的			(スラブ桁)	MIX L (m)	± L/1000··· L>10m	なお、JIS マーク表示品を使用する場合は、製造工場の発行する JIS に基づ		
事共	エ	工種				断面の外形寸法	± 5	く試験成績表に替えることができる。		
通編						橋 桁 の そ り δ1	± 8			
						横方向の曲がり δ ₂	±10		柳面図	
						0.2			PPT ISSUED	
									L L	
									側面図	
									δ: L	
									平面図	
									δ_2	

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土 木 -	2 一般如	2 共通	13		ポストテンション桁 製作工	幅 (上) w ₁ 幅 (下) w ₂	+10 - 5 ± 5	桁全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッ シング後に測定。		
工事共	施工	的工種				高 さ h	+10 - 5	析断面寸法測定箇所は、両端部、中央 部の3ヶ所とする。	W1	
通編						桁 長 ℓ 支間長	ℓ <15···±10ℓ ≥15···± (ℓ-5)カンつ−30mm 以内	なお、JIS マーク表示品を使用する場合は、製造工場の発行する JIS に基づく試験成績表に替えることができる。	h	
						横方向最大タワミ	0.81		W_2	

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準 測定箇所 摘 要
3 土木工事	2 一般施工	3 共通的工	14	1	プレキャストセグメン ト桁製作工 (購入工)	桁 長 0	_	桁全数について測定。桁断面寸法測定 箇所は、図面の寸法表示箇所で測定。
事共 通編	1	種				断面の外形寸法 (mm)	_	
3	2	3	14	9	プレキャストセグメント		$a < 15 \cdots \pm 10$	桁全数について測定。
3 土木工事共通	2一般施工	3 共通的工種	14	2	主桁組立工	析 長 l 支間長	ℓ < 15…±10 ℓ ≥ 15…± (ℓ − 5) カッつ −30mm 以内	横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央 部の3ヶ所とする。 &:支間長(m)
編						横方向最大タワミ	0.80	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通的工種	15		PCホロースラブ製作工	基 準 高 ▽	±20	析全数について測定。 横方向タワミの測定は、プレストレッシング後に測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央 部の3ヶ所とする。 1 : 支間長 (m) 桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり 2 ヶ所 (支点 付近) で1ヶ所当たり両端と中央部の 3点、幅及び厚さは1径間当たり両端 と中央部の3ヶ所。
								※鉄筋の出来形管理基準については、第3編3-2-18-2床版工に準ずる。&:桁長(m)

編	章	節	条	枝番	工 種	測	定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通的工種	15		PCホロースラブ製作工	厚桁	w ₁ , w ₂ さ t	$-5 \sim +30$ $-10 \sim +20$ $\ell < 15 \cdots \pm 10$ $\ell \ge 15 \cdots \pm (\ell - 5)$	桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2ヶ所(支点付近)で1ヶ所当たり両端と中央部の3点、幅及び厚さは1径間当たり両端と中央部の3ヶ所。 ※鉄筋の出来形管理基準については、第3編3-2-18-2床版工に準ずる。	w1 v v v v v v v v v v v v v v v v v v v	
									ℓ:桁長(m)		

編	章	節	条	枝番	工 種	測	定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土	2	3 共	16	1	PC箱桁製作工	基	準高	±20	桁全数について測定。 基準高は、1径間当たり2ヶ所(支点		
木工	般施	通的				幅	f (上) w ₁	$-5 \sim +30$	付近)で1ヶ所当たり両端と中央部の 3点、幅及び高さは1径間当たり両端		
事	工	エ				帽	i(下) w ₂	$-5\sim +30$	と中央部の3ヶ所。	W1	
共通		種				内] 空幅 w ₃	± 5	※鉄筋の出来形管理基準については、		
編						高	i ž hı	+10 -5	第3編3-2-18-2床版工に準ずる。	h ₁ h ₂ w ₃	
						内	空高さ h ₂	+10 -5	l:桁長(m)	₩2	
							桁 長 l	ℓ <15···±10 ℓ ≥15···±(ℓ-5) カンつ -30mm 以内			
3 土	2	3 共	16	2	PC押出し箱桁製作工	悼	重 (上) w ₁	$-5 \sim +30$	桁全数について測定。 桁断面寸法測定箇所は、両端部、中央		
十十二	般施	通的				悼	量 (下) w ₂	$-5\sim +30$	部の3ヶ所とする。		
事	工	エ				Þ	7 空幅 w ₃	± 5	※鉄筋の出来形管理基準については、	W1 →	
共通		種				高	i å hı	+10 -5	第3編3-2-18-2床版工に準ずる。	h_1 w_3	
編						Þ	内空高さ h2	+10 -5	ℓ:桁長(m)	ļ [112]	
							析長0	ℓ <15…±10 ℓ ≥15…±(ℓ-5) カン -30mm 以内		W2	
3 土	2	3 共	17		根固めブロック工		基準高▽	±100	施工延長 20mにつき1ヶ所、延長 20m以下 のものは1施工箇所につき2ヶ所。	L:	
木工	般施	通的				層	厚さ t	-20	幅、厚さは20個につき1ヶ所測定。	w _z	
事共	エ	工種				積	幅W ₁ , W ₂	-20			
通編							延長L ₁ , L ₂	-200	1施工箇所毎	· = 0 - 3 -	
						Æ.	基準高▽	± t /2	施工延長 20mにつき 1 ヶ所、延長 20m以下 のものは 1 施工箇所につき 2 ヶ所。	L ₁	
						乱積	延長L ₁ , L ₂	- t /2	1 施工箇所毎	/+++++ /++++	
										は根固めブロックの高さ	

編	章	節	条	枝番	工種	測	定	項	目	規格値	測 定 基 準 測定箇所 揺	商 要
3 土	2	3 共	18		沈床工	基	準	高	∇	±150	1組毎	
木工	般施	通的				幅			w	±300	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
事	工.	工				延		長	L	-200	w ∇	
共通		種										
編												
3 土	2	3 共	19		捨石工	基	準	高	∇	-100	施工延長 20mにつき1ヶ所、延長 20m以下のものは1施工箇所につき	
木工	般施	通的				幅			w	-100	2ヶ所。	
事	工	エ				延		長	L	-200		
共通編		種										
3	2	3	22		階段工	幅			w	-30	1回/1施工箇所	
土木	一般	共通				高		さ		-30	L	
工事	施 工	的工				長		さ	L	-30		
共通		種				段			数	±0段		
編 編											w land	
3 土	2		2 4	1	伸縮装置工 (ゴムジョイント)	据	付け	高	さ	± 3	高さについては車道端部及び中央 部の3点	
木	般	3	4		(コムンヨイン下)	#	# <i>(</i>)	пп	.п.	3	(A)コムショイント都有の天建画さ	
事"	施 工	共通					面の			舗装面に対し	方向)に3mの直線定規で測って	
共通		的工				仕	上げ	局	さ	0~-2	凸凹が 3mm 以下	
編		種									据付け高:「⑧」と「⑧の設計値」との差分 仕上げ高:後打ちコンが有る場合「⑧」と「⑨」の差分、 後打ちコンが無い場合「⑧」と「⑩」の差分	

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土木工事共通編	2 一般施工		24		伸縮装置工 (鋼製フィンガージョイン ト)	据付け高さ 橋軸方向各点 誤差の相対差 表面の凹凸 物型板面の歯咬み合い 部の高低差	± 3 3 3	高さについては車道端部、中央部に おいて橋軸方向に各3点計9点 表面の凹凸は長手方向(橋軸直角方 向)に3mの直線定規で測って凹凸が 3mm以下 歯咬み合い部は車道端部、中央部の 計3点	Z V V	
		3 共通的工				歯咬み合い部の縦方向 間隔W1 歯咬み合い部の横方向 間隔W2	± 2 ± 5		B 歯型板面の歯咬みあい部の高低差: 咬みあい部中心A, B点の差	
		1 種				仕上げ高さ	舗装面に対し 0~-2		舗装面 仕上げ高さ かと打ち コンクリート	
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通的工種	24		伸縮装置工 (埋設型ジョイント)	表面の凹凸仕上げ高さ	3 舗装面に対し 0~+3	高さについては車道端部及び中央部 の3点 表面の凹凸は長手方向(橋軸直角方 向)に3mの直線定規で測って凹凸が 3mm以下	舗装面 株軸方向 仕上	3-2-3-24

編	章	節	条	枝番	工 種	測定	項	目	規格値	測 定 基 準 測定箇所	摘要
3 土	2	3 共	26	1	多自然型護岸工 (巨石張り、巨石積み)	基準	高	∇	±500	施工延長 20mにつき1ヶ所、延長 20m 以下のものは1施工箇所につき2ヶ	
木工事	般施工	通的工				法	長	l	-200	所。	
共通		種				延	長	L	-200	所。	
編											
3	2	3	26	2	多自然型護岸工	NI.			100	施工延長 20mにつき 1 ヶ所、延長 20m	
土	_	共	20		(かごマット)	法	長		-100	以下のものは1施工箇所につき2ヶ	
木工	般施	通的				厚		t	-0.2 t	所。	
事共	エ	工種				延	長	L	-200	t t	
通編		,									
7/1111											

編	章	節	条	枝番	工	種	測定	項目	規格値	測 定 基 準 測定箇所 摘 要
3 土	2 —	3 共	27	1	羽口工 (じゃかご)		法是是	<3m	-50	施工延長 20mにつき1ヶ所、延長 20m 以下のものは1施工箇所につき2ヶ
木工	般施	通的					ê l	≥3m	-100	所。
事共	I	工種					厚	さ t	-50	
通編		1=								
3 土	2	3 共	27	2	羽口工 (ふとんかご	ご、かご	高	さ h	-100	施工延長 20mにつき1ヶ所、延長 20m 以下のものは1施工箇所につき2ヶ
木工	般施	通的			枠)	•		L ₁ , L ₂	-200	所。
事共通編	工	的工種								
3 土	2 -		28		プレキャスト トエ		基 準	高 ▽	±30	施工延長 20mにつき1ヶ所、施工延長 20m以下のものは1施工箇所につき2
木工事	般施工	3			(プレキャス ス工) (プレキャスト/		※幅	w	-50	ケ所。 L ※印は、現場打部分のある場合。
共通		共通			() () ()	VI / 1./	※高	さ h	-30	
編		的工					延	長 L	-200	1 施工箇所毎
		種								

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通的工種	29	1	側溝工 (プレキャストU型側溝) (L型側溝工) (自由勾配側溝) (管渠)	基 準 高 ▽ 延 長 L	±30 -200	施工延長20mにつき1ヶ所、施工延長20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 厚さ以外の測定項目については、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。 1ヶ所/1施工箇所ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)舗装工編計測技術(断		
								面管理の場合)」の規定により管理を行う場合は、延長の変化点で測定。	2000	
3 土 木	2 一 般	3 共 通	29	2	側溝工 (現場打水路工)	基 準 高 ▽	±30	施工延長 20mにつき1ヶ所、施工延長 20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ 所。		
工事共	施 工	的工種				厚さ t ₁ , t ₂	-20	厚さ以外の測定項目については、「3次 元計測技術を用いた出来形管理要領	t ₁ W t ₂	
通編		1里				幅 w	-30	(案)」の規定による測点の管理方法を 用いることができる。	h ₁ h ₂	
						高さ h_1 , h_2	-30			
						延 長 L	-200	1施工箇所毎 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)」の規定により管理を 行う場合は、延長の変化点で測定。	* ###	
3 土 木	2 一 般	3 共 通	29	3	側溝工 (暗渠工)	基 準 高 ▽	±30	施工延長20mにつき1ヶ所。 延長20m以下のものは1施工につき2ヶ 所。	 W ₁	
八工事共	施工	一的工種				幅 W ₁ , W ₂	-50	「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」の規定による測点の管 理方法を用いることができる。	///s/// h	
- 通編		性				深 さ h	-30			
				,		延 長 L	-200	1施工箇所毎 ただし、「3次元計測技術を用いた出 来形管理要領(案)」の規定により 管理を行う場合は、延長の変化点で測 定。		,

編	章	節	条	枝番	エ	種	測定	項	目	規	格	値	測	定	基	準	測定箇所	摘要
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通的工種	30		集水桝工		基 準 ※厚さ ※幅 ※高さ	t 17	~ t ₅		±30 -20 -30 -30		次元計測技	測定項目 術を用い 見定によ	目につい た出来 る測点	合 いては、「3 来形管理要領 京の管理方法		
3 土木工事共通編	2 一般施工	3 共通的工種	31		現場塗装工		塗 1	膜	厚	塗値塗値上・最目合70、分差膜の下しの標値場	膜は膜の「測小標計必測のよ享」。、平義よ厚、厚90「定値塗(J)定標目合り「測値厚り	平目合% 値は膜直 ゚゚値準標計%。。゚定が合きの均標計以 の、厚の の偏塗値以だ値目計い限	その点の測 ットの面積: 10m2 ごとに	大きさは こりの測 は 5 回? 定値とす が 200m2	定数は fい、そ る。た に満た			基準の改定に 伴い測定基準 に追加。

編	章	節	条	枝番 工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土 木 工	2 一 般 施	4 基 碟 工	1	一般事項 (切込砂利) (砕石基礎工) (割ぐり石基礎工)	幅 w	設計値以上	施工延長 20mにつき1ヶ所、延長 20 m以下のものは1施工箇所につき2ヶ 所。		
事共通編	エ			(均しコンクリート)	厚さ t ₁ , t ₂	-30			
					延 長 L	各構造物の規格 値による		t ₂ t ₁ w	
3 土 木 工	2 一般施	4 基 碟 工	3	1 基礎工 (護岸) (現場打)	基 準 高 ▽	±30	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)護岸工編」の規定による測		
事共通編	せい 般			幅 w	-30	点の管理方法を用いることができる。 「3次元計測技術を用いた出来形要領 (案)」に基づき出来形管理を実施す る場合は、同要領に規定する計測精	w		
					高 さ h	-30	の場合は、同安頃に規定する計例有度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施することができる。	h h	
					延 長 L	-200			

編	章	節	条	枝番	工種	測定項	Ħ	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土木工事共通	2 一般施工	4 基 谜 工	3	2	基礎工 (護岸) (プレキャスト) _ _	基準高延 長	∇ L	±30 -200	施工延長20mにつき1ヶ所、延長20m 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)護岸工編」の規定による測 点の管理方法を用いることができる。		
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基 礎 工	4	1	既製杭工 (既製コンクリート杭) (鋼管杭) (H鋼杭)	基 準 高 根 入 偏 心 量 傾	長	±50 設計値以上 D/4 以内かつ 100 以内 1/100 以内	全数について杭中心で測定。 傾斜は、縦断方向(道路線形方向、橋軸方向等)とそれに直交する横断方向 の2方向で測定。 「3次元計測技術を用いた出来形要領 (案)」に基づき出来形管理を実施する場合は、同要領に規定する計測精 度・計測密度を満たす計測方法により 出来形管理を実施することができる。		
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基 礎 工	4	2	既製杭工 (鋼管ソイルセメント 杭)	基 準 高 根 入 偏 心 量 傾 杭	長	±50 設計値以上 D/4 以内かつ 100 以内 1/100 以内 設計値以上	全数について杭中心で測定。 「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」に基づき出来形管理を実 施する場合は、同要領に規定する計測 精度・計測密度を満たす計測方法によ り出来形管理を実施することができ る。		
3 土木工事共通編	2 一般施工	4 基礎工	5		場所打杭工	基 準 高 根 入 偏 心 量 傾 杭	長		全数について杭中心で測定。 傾斜は、縦断方向(道路線形方向、橋軸方向等)とそれに直交する横断方向 の2方向で測定。 「3次元計測技術を用いた出来形要領 (案)」に基づき出来形管理を実施する場合は、同要領に規定する計測精 度・計測密度を満たす計測方法により 出来形管理を実施することができる。		

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3	2	4	6		深礎工	基準高▽	±50	全数について杭中心で測定。		3-2-4-6
土木	般	基礎			-	根入長	設計値以上	- 傾斜は、縦断方向(道路線形方向、橋	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
工事	施工	エ				偏心量d	150 以内	軸方向等)とそれに直交する横断方向 の2方向で測定。		
共通						 傾 斜	1/50 以内	※ライナープレートの場合はその内径、補強リ ングを必要とする場合は補強リングの内		
編						基礎径D	設計径 (公称径) 以上 ※	径とし、モルタルライニングの場合はモルタル等の土留め構造の内径にて測定。		
									х ЦЦЦЦ	
3 土	2	4 基	7		オープンケーソン基礎工	基 準 高 ▽	±100	壁厚、幅、高さ、長さ、偏心量については各打設ロットごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
木工	般	礎				ケーソンの長さℓ	-50			
事	施工工工工				ケーソンの幅 w	-50		h		
共通						ケーソンの高さ h	-100			
編						ケーソンの壁厚 t	-20		d	
						偏心量d	300 以内		у	
									H _x	
3 土	2	4 基	8		ニューマチックケーソ ン基礎工	基準高▽	±100	壁厚、幅、高さ、長さ、偏心量につい ては各打設ロットごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
木	般	礎			/ 左倾 L	ケーソンの長さℓ	-50	- くは付打政ロットことに例た。		
工事	施工	エ				ケーソンの幅 w	-50		h t t t	
共通	1				ケーソンの高さ h	-100				
編						ケーソンの壁厚 t	-20		d \	
						偏 心 量 d	300 以内		y y	
									x x	

編	章	節	条	枝番	工 種	測定	項 目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土	2	4 基礎 工	9		鋼管矢板基礎工	基準	高 ▽	±100	基準高は、全数を測定。 偏心量は、1基ごとに測定。	$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
木工	般施					根	入 長	設計値以上	ANII O E I SI C C I E I C C I E I I I I I I I I I I	$\mathbf{q} = \mathbf{v}^{\mathbf{n}} \cdot \mathbf{y}$	
事	工					偏心	量 d	300 以内		- -	
共通編											
3 土	2		3	1	コンクリートブロック工 (コンクリートブロック	基準	高 ▽	±50	施工延長 20mにつき1ヶ所、延長 20 m以下のものは1施工箇所につき2ヶ	t1 t2	
木工	般施				積) (コンクリートブロック	法長ℓ	ℓ <3m	-50	所。厚さは上端部及び下端部の2ヶ所 を測定。		
事共	工	5 石·			張り)		ℓ ≧3m	-100	「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定による測点の管理方		
通		ブロッ ク 積				厚さ(ブロ	リック積張) t ₁	-50	頃(条)」の規定による側点の管理方 法を用いることができる。	t_1 t_1 t_2 t_2	
編		(張)				厚さ()	裏込) t 2	-50			
						延	長 L	-200			
										$\begin{array}{c} t_1 \\ t_2 \end{array}$	
3 土	2	5石・ ブロッ	3	2	コンクリートブロック工 (連節ブロック張り)	基準	高▽	±50	施工延長 20mにつき1ヶ所、延長 20 m以下のものは1施工箇所につき2ヶ	L	
木工	般施	ク 積				法	長し	-100	所。 「3次元計測技術を用いた出来形管理要		
事共	工	(張) 工				延長	L ₁ , L ₂	-200	領(案)」の規定による測点の管理方 法を用いることができる。		
通編									12 5 11 V 2 C 5 V C C 3 °	/ E	
利用											
										k	
										L 2	

編	章	節	条	枝番	工 種	測	定項	目	規格	値	測 定	基 準	測定箇所	摘要
3 土 木	2 一 般		3	3	コンクリートブロックエ (天端保護ブロック)	基	準 高	∇	±50		施工延長 20mにつき m以下のものは1施 所。		w N	
工事	施	5 石·				幅		w	-100)	「3次元計測技術を用 要領(案)」の規定		HEAT) ST	
共通編		ブロッ ク 積 (張)				延	長	L	-200)	方法を用いることが	できる。	間詰かご	
n hiu		工											連結ブロック	
3 土	2		4		緑化ブロック工	基	準 高	∇	±50		施工延長 20mにつき m以下のものは1施		t ₁ t ₂	
木工	般施					法	Q < 3	3m	-50		所。厚さは上端部及 を測定。		e F	
事共通	工	5 石・ ブロッ				長し	ℓ ≧3	3m	-100)	「3次元計測技術を用要領(案)」の規定 方法を用いることが	による測点の管理	t ₁	
編		ク (張)				厚さ((ブロッ	ク) t ₁	-50		刀伝を用いることが	(8%)	t ₁ t ₂	
		工				厚さ	(裏込)	t 2	-50					
						延	長	L	-200)			t_1 t_2	
3 土	2		5		石積(張)工	基	準 高	∇	±50		施工延長 20mにつき m以下のものは1施	工箇所につき 2 ヶ	t ₁ t ₂	
木工工	般施					法	Q < 3	3m	-50		所。厚さは上端部及 を測定。			
事共通	工	5 石・				長し	ℓ ≧3	3m	-100)	「3次元計測技術を用 要領(案)護岸工編 点の管理方法を用い	」の規定による測	l tu	
通 編 		ブロック 積				厚さ(石積・	張) t ₁	-50		点の官珪力伝を用い	3 C C M C E S .		
		(張)				厚さ((裏込)	t 2	-50				<i></i>	
						延	長	L	-200)			t_2	

単位: mm

編	章	節	条	枝番 工 種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	6	4 橋面防水工 (シート系 床版防水層)	シートの重ね幅		標準重ね幅100mmに対し、1施工箇所毎に目視と測定により全面を確認		

								規 柞	各 値			
編	章	節	条	枝番	工工種	測定項目	個々の ()		10 個の の平均 ※面管 合は測 平均	匀(X ₁₀) 理の場	測 定 基 準 測定箇所	摘要
							中規模以上	小規模 以下	中規模以上	小規模 以下		
3 土	2	6 —	7	1	アスファルト舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	_	_	基準高は延長 20m毎に1ヶ所の割と 工事規模の考え方 し、道路中心線および端部で測定。厚 中規模以上の工事とは、管理図等を	
木工	般施	般舗				厚さ	-45	-45	-15	-15	さは各車線 40m毎に1ヶ所を掘り起こ 描いた上での管理が可能な工事をいして測定。幅は、延長 40m毎に1ヶ所 い、舗装施工面積が 2,000m2 以上ある	
事共	I	装 工.				幅	-50	-50	_	_	の割に測定。ただし、幅は設計図書のいは使用する基層および表層用混合物 測点によらず延長 40m以下の間隔で測の総使用量が、500 t 以上の場合が該	
通編 3	2	6	7	2	アスファルト舗装工	厚さ	-25	-30	-8	-10	定することができる。 当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事 より規模は小さいものの、管理結果を 施工管理に反映できる規模の工事をい い、同一工種の施工が数日連続する場 合で、次のいずれかに該当するものを いう。 ①施工面積で 2,000m2 未満 ②使用する基層および表層用混合物の 総使用量が 500t 未満	質管理基準 の整合
土木	般	般			(上層路盤工) 粒度調整路盤工	,, -		-50 -50	-8	-10	厚さは各車線 40m毎に 1ヶ所を掘り起 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 こして測定。ただし、幅は設計図書の 個以上の割合で規格値を満足しなけれ	
八工事共通編	施工	湖 装 工			他/文明崔昭益上	幅	-50	-50			測点によらず延長 40m以下の間隔で測定することができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理方法を用いることができる。	

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規 個々の測定値 (X) 中規模 小規模 以上 以下	の平均 ※面管 合は で 中規模)測定値 タ(X ₁₀) :理の値 定値 小規序 以下	測 定 基 準 測定箇所	摘要
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	3	アスファルト舗装工 (上層路盤工) セメント (石灰) 安定処理工	厚さ幅	-25 -30 -50 -50		—10 —	幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割とし、 厚さは、1,000m2 に1個の割でコアー を採取もしくは掘り起こして測定。た だし、幅は設計図書の測点によらず延 長 40m以下の間隔で測定することがで きる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」の規定による測点の管理 方法を用いることができる。 工事規模の考え方 中規模以上の工事とは、管理図等を 描いた上での管理が可能な工事をい い、舗装施工面積が 2,000m2 以上ある いは使用する基層および表層用混合物 の総使用量が、500 t 以上の場合が該 当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事 より規模は小さいものの、管理結果を 施工管理に反映できる規模の工事をい	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	4	アスファルト舗装工 (加熱アスファルト 安定処理工)	厚さ幅	-15 -20 -50 -50		- 1	幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000m2 に1個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 40m以下の間隔で測定することができる。「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。 「3次元計測を用いることができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理方法を用いることができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理方法を用いることができる。	

				ı									
								規	烙 値				
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	個々の (∑	測定値 X)	の平均※ 面管)測定値 匀(X ₁₀) 理の場 定値の	測 定 基 準 測定箇所	摘	要
							中規模 以上	小規模 以下	中規模以上	小規模 以下			
3 土	2	6 —	7	5	アスファルト舗装工 (基層工)	厚さ	- 9	-12	- 3	-4	幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割とし、 工事規模の考え方 厚さは、1,000m2 に1個の割でコアー 中規模以上の工事とは、管理図等を		
木工	般施	般舗			(3.1 -)	幅	-25	-25	_	_	を採取して測定。ただし、幅は設計図 描いた上での管理が可能な工事をい 書の測点によらず延長 40m以下の間隔 い、舗装施工面積が 2,000m2 以上ある		
事	工 工	装									で測定することができる。 いは使用する基層および表層用混合物		
共通		エ									の総使用量が、500 t 以上の場合が該 「3次元計測技術を用いた出来形管理 当する。		
編											要領(案)」の規定による測点の管理 小規模工事とは、中規模以上の工事 方法を用いることができる。 より規模は小さいものの、管理結果を		
											施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場		
											合で、次のいずれかに該当するものを いう。		
3	2	6	7	6	アスファルト舗装工		_				①施工面積で 2,000m2 未満幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割とし、②使用する基層および表層用混合物の		
土木	一般	_	·		(表層工)	厚さ	- 7	- 9	-2	3	厚さは、1,000m2 に 1 個の割でコアー 総使用量が 500t 未満		
I	施	般舗				幅	-25	-25			を採取して測定。ただし、幅は設計図 厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個書の測点によらず延長 40m以下の間隔 以上の割合で規格値を満足しなければ		
事共	エ	装工							(σ)2.4 直読式	mm 以下	で測定することができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理 対値(X10)について満足しなければ		
通編						平坦性	_	_	(足付き (σ)1.7	*	要領(案)」の規定による測点の管理 ならない。ただし、厚さのデータ数が 方法を用いることができる。 10 個未満の場合は測定値の平均値は適		
									下		用しない。		
											コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版 等に損傷を与える恐れのある場合は、 他の方法によることが出来る。		
											維持工事においては、平坦性の項目を 省略することが出来る。		

編	章	節条	枝番	番 工	種	測定項目	(2	測定値 K)	の平均※面管3	理の場合 直の平均	測	定	基	準	測定箇所	摘要
3 土木工事共	2 一般施工	7	7	(下層	アルト舗装工路盤工) 理の場合)	基準高▽ 厚さある いは標高 較差	±90 ±90	±90 ±90	+40 -15 +40 -15	+50 -15 +50 -15	おいて「3 形管理要領 理を実施す 定する計測	次元計測 (案)」 る場合、 精度・計	技術を に基づ その他 測密月	と用いた出来 がき出来形管 也本基準に規 変を満たす計		3-2-6-7
通編		6 一般舗装工									度 3 全度以 4 の 5 合高 を と し 計の1と に に と に に に に と に に に に に に に に に に に に に	計10mm が 幅値で 10mm が 幅値で 幅値で	含まれた 内側 音楽 と 高厚 と 高厚 と 高厚 と こ と こ さ さ さ さ さ さ さ さ さ さ さ さ か か か か か か か	でいる。 則全面とし、 する。計測密 面積当たり) 高値と当該層	①施工面積で 2,000m2 以上 10,000m2 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総 使用量が 500t 以上 3,000t 未満	

編	章	節	条	枝番	I	種	測定項目	個々の (∑ 中規模 以上	測定値 (X)	の平均 ※面管理	理の場合 直の平均	-	測	定	基	準	測定箇所	摘	要
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	7		(上層) 粒度調整		厚さあるい世差を	-54	-63	-8		お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合高い管をす方に .と .では上 .標 .は較	て里寒る去箘 固し 計の1と 厚高 厚、3領す測よす の土 はで/る はと を下のから これりる はん を下れる はん を下れる はん ない かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ かんしゃ	て、「なりない」では、「大きないのでは、「からないのでは、「からないのでは、「ないのでは、」」は、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、」」は、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、「ないのでは、このでは、「ないのでは、「ないのでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、こ	技にそ測管 対ま 負空行 の出 と高の密理 格れ 内出影 標す しさ	を 用いた来で 用いた 来で 見い と 下され まま で は る 面 で まま で は る 面 で まま	描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 10,000m2 以上あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が、3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事を加工管理に反映できる規模の工事を地に同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で 2,000m2 以上 10,000m2 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総算使用量が 500t 以上 3,000t 未満		

									規 柞	各 値									
編	章	節	条	枝番	エ	種	測定項目	(2	-,	の平均 ※面管理 は測定値	理の場合 直の平均		測	定	基	準	測定箇所	摘	要
								中規模以上	小規模 以下	中規模以上	小規模 以下								
3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	7	9	アスファルト (上層路盤エセメント(そのでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	二) i灰)	厚さめ標差	-54	-63	-8		お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合い管をす方に と ては上 .標 .はて理実る法適 個し 計の1と 厚高 厚、	「要施計に用 々て 測点点す さ値 さ直平3領す測よす の± はで/る はと を下均次(る精りる 計10 影標㎡。 、の 標層値	元案場度出。 測皿 計高2 直差 高の上) は、計形 の合 員を面 厚算 差視計	技にそ測管 規ま の算投 の出 と鳴き 格れ 内出影 標す しさ	上川いた来で、 に対き本をとすります。 はおいるでは、 はいるでは	描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 10,000m2 以上あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が、3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事を地い、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で 2,000m2 以上 10,000m2 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500t 以上 3,000t 未満		7

										規	各値										
着	扁	章	節	条	枝番	I.	種	測定項目	(2	測定値 X)	の平均 ※面管理 は測定値	理の場合 直の平均		測	定	基	準		測定箇所	摘。	要
									中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下									
- - - - - -	3 七木工事 夫重 扁	2一般施工	6 一般舗装工	7	10		_ ,	厚さある高較差	-36	-45	-5	-7	お形理定測合 2度 3全度以 4のい管をす方に .と .ては上 .標て理実る法適 個し 計の1と 厚高	「要施計に用 々て 測点点す さ値 さ直平次(る精りる 計10 設標㎡。 、の 標層値	元案場度出。 測皿 計画 (直差 高の主) (連歩 高の主) (重差 高の主) (重歩 を) (重歩	技にそ測管 規ま の算投 の出 と高端を介格との おま の算好 の出 と高い しさ	をび也度を 値て 側す面 高る て+い出基満施 はる。面。当 と 価下	た来準たす 計。 と計た 当 す層出形にする 測 し測り 該 るの来管規計場 精 、密) 層 場標	描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 10,000m2 以上あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が、3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をがい、同一工種の施工が数日連続するものをいう。 ①施工面積で 2,000m2 以上 10,000m2 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500t 以上 3,000t 未満		

									規	各値	Students to be								
編	章	節	条	枝番	エ	種	測定項目	(2		の平均 ※面管理 は測定値	里の場合 直の平均		測	定	基	準	測定箇所	摘	要
								中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下								
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	7	11	アスファル (基層工) (面管理の		厚さある高較差	-20	-25	-3	-4	お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合高い管をす方に .と .では上 .標 .は較	こ里を3 k.適 固 、 十つ L. : 享高 『 。 「要施計に用 々て 測点点す さ値 さ直 3 領す測よす の土 はで// る はと を下 で る 料りる 高 4 に で m. 。 、 の 杉 木	て(5) 青) 5。 十㎜ と票2 この 票層直元案場を出。 測が 計幅(平 下で 較目設測)、計形 (6) 倉 順を平 下で 較目設	技にそ測管 規ま の算投 の出 と高をつ他度を 格て 仮す しさっています。 しょう	・用います。 ・用い出基満を主要を にお来準たする ・主を変変を にいる。 ・主を表した。 ・まを表した。 ・まを、 ・まを表した。 ・まを、 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 10,000m2 以上あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が、3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものをいう。 ①施工面積で 2,000m2 以上 10,000m2 未満 ②使用する基層及び表層用混合物の総使用量が 500t 以上 3,000t 未満		7

								規	各値								
編	章	節	条	枝番	 工 種	測定項目	()測定値 X)	の平均 ※面管理 は測定値	理の場合 直の平均		測	定	基	準	測定箇所	摘 要
							中規模以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下							
3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	7	12	アスファルト舗装 (表層工) (面管理の場合)	正 厚さある いは標高 較差 平 坦 性	-17	-20	(σ)2.4 直読式 き)	 71mk-9-7 4mm 以下 こ(足付 75mm 以	お形理定測合 2度 3全い管をす方に と . て . て	「3額 で 3額 で 調節計測にする で はで はで に はで に に に に に に に に に に に に に	マ元計測」、 場合・ 場合・ 計画 は はの はの はの はの はの はの はの はの はの はの はの はの はの	技にそ測管規れの対象を対象を	と用いた出来できる。 されま準に規 を満たす計 と実施する場 直には計測料 いる。	中規模以上の工事とは、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、舗装施工面積が 10,000m2 以上あるいは使用する基層及び表層用混合物の総使用量が、3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事まり規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合で、次のいずれかに該当するものを	3-2-6-7
											4. 厚 の標高 5. 厚 合は、	では、 ではとの ではとを では でででする ででする。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	差で算 票高較差 層の目標 直+設計	出する きとし [*] 悪高さ-	ó.	②使用する基層及び表層用混合物の総 使用量が500t以上3,000t未満 維持工事においては、平坦性の項目 を省略することが出来る。	

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	個々の (X 中規模 以上	測定値 (1)	の平 ※面管 合は測 平均	D測定値 均(X ₁₀) ・理の場 」定値 小規模 以下	測 定 基 準 測定箇所	摘	要
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	1	半たわみ性舗装工 (下層路盤工)	基準高▽ 厚 さ 幅	±40 -45 -50	±50 -45 -50			基準高は延長 20m毎に1ヶ所の割とし、道路中心線及び端部で測定。早さは各車線 40m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割に測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 40m以下の間隔で測定することができる。小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場要領(案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。		
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	8	2	半たわみ性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤工	厚 さ 幅	-25 -50	-30 -50	_ 8 		幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、各車線 40m毎に1ヶ所を掘り起こして測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 40m以下の間隔で測定することができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。		

							1H	+h /±				
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	個々の測定f (X)	※面管理の場 は測定値の平 関 中規模 小規模]	測定箇所	摘 雾	판
3 土	2	6	8	3	半たわみ性舗装工(上層路盤工)	厚さ	-25 -30	-8 -10	幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割と	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描	幅 国 80m	
木	般	般			セメント (石灰)	幅	-50 -50		アーを採取もしくは掘り起こして測	いた上での管理が可能な工事をいい、		
工事	施工	舗装			安定処理工				- 定。ただし、幅は設計図書の測点によ - らず延長 40m以下の間隔で測定する	基層および表層用混合物の総使用量が 500 t以上の場合が該当する。	県 40m	
共		I							ことができる。	小規模工事とは、中規模以上の工事		
通編									「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」の規定による測点の管理	より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をい		模を
利用									方法を用いることができる。	加工管理に及吸できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場	1	
3	2	6	8	4	半たわみ性舗装工	厚さ	-15 -20	-5 -7	幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割と			
土木	般	般			(加熱アスファルト 安定処理工)	幅	-50 -50		_し、厚さは、1,000m2 に1個の割でコ アーを採取して測定。ただし、幅は設			
エ	施	舗				ТШ				橋面舗装等でコアー採取により床版等		
事共	エ	装 T.							の間隔で測定することができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理	に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。		
通									要領(案)」の規定による測点の管理			
編 3	2	6	8	5	半たわみ性舗装工				方法を用いることができる。 幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割と	維持工事においては、平坦性の項目を 公略オスニレが出並ス		
土	_	-	0	S	(基層工)	厚さ	-9 -12	-3 -4	幅は、延改 40m毎に1ヶ月の割と し、厚さは、1,000m2 に1個の割でコ			
木	般	般舗				幅	-25 -25	- -	アーを採取して測定。ただし、幅は設			
工事	施工	甜 装					,		-計図書の測点によらず延長 40m以下 の間隔で測定することができる。			
共		工							「3次元計測技術を用いた出来形管理			
通編									要領(案)」の規定による測点の管理 方法を用いることができる。			
3	2	6	8	6	半たわみ性舗装工	厚き	-7 -9	-2 -3	幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割と			
土木	般	般			(表層工)	幅	-25 -2	5 – –	- し、厚さは、1,000m2 毎に1個の割で コアーを採取して測定。ただし、幅は			
工	施	舗				1100		3m プ゜ロフィルメータ-	設計図書の測点によらず延長 40m以			
事共通	工	装工				平坦性	_	(σ)2.4mm 以直読式 (足付き)	「7の間隔で測定することができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」の規定による測点の管理			
編								(σ)1.75mm	方法を用いることができる。			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	()	測定値 (X)	の平均 ※面管理	里の場合 直の平均	測	定	基	準	測定箇所	摘要	í.
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	8	7	半たわみ性舗装工 (下層路盤工) (面管理の場合)	基準高のでは、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別では、表別	±90 ±90	±90 ±90	+40 -15 +40 -15	+50 -15	おいて「3巻 形管理要領 理を実施する 定する計測 別方法により 合に適用する	て(5・1費) 5・十0m せ票2 ・ ファックラック 10m で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	技にそ測管 規ま の算投 の出 と高厚 格・ 他ほを 値・ 側す面 高る できた	と 対して と 対して と がして と がして と がして と がして と がして と がいた 来準たす はる のも さ と 計た いっこう と から と から と から と から と から と から を がら と から を がら と から を がら を がら を がって かい を から を がって かい を かい を がい を がい を がい を がい を がい を がい を	中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層及び表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。小規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。	3-2-6-8	

編	章	節	条	枝番	I	種	測定項目	個々の ()			里の場合		測	定	基	準	測定箇所	摘り	要
								中規模 以上	小規模 以下	中規模以上									
3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	8		半たわみ性舗装 (上層路盤工) 粒度調整路盤工 (面管理の場合		厚い較差	-54	-63	-8		お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合い管をす方に .と .では上 .標 .は . まままま . は . ままままま . し . ままままままままままま	「夏寅十二日 マこ はでえる はと を下込次(る精りる 計10 設標12。 、の 標層値	元案場度出。 測㎜ 計高(直差 高の+計)合・来 値が 幅値平 下で 較目設計 のき 長衛 差視計	技にそ測管 規ま の宣投 の密理 格れ 内出影 標す しさ では です しょ です です です です です です です で	上 用 いた 来 準 た が 1 上 形 に 大 来 準 た す ま 本 を ま に い 全 る 。 も る き 当 た で 動 も る き 当 た で 動 も の も の も の も の も の も の も の も の も の も	中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層及び表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。小規模以上の工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。		

										規	烙 値								
ž	編	章	節	条	枝番	エ	種	測定項目	(2		の平均 ※面管理 は測定値	理の場合 直の平均	測	定	基	準	測定箇所	摘	要
									中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下							
	3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	8	9	半たわみ性(上層路性)と関係を対象性と対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対	[江] (石灰)	厚さは標差	-54	-63	-8		お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合い管をす方に .と .では上 .標 .は . では上 . 厚高 厚、 . では上 . 厚高 厚、 . して . し	次(る精りる 計10 設標2。 、の 標層値計)合・来 値が 幅値平 下で 較目設計)合・財産 で 軽目設 で しょう	別 十多 の含 見を面 層章 を票で 技にそ測管 規ま の算投 の出 と高の出と高のは影 標す しさ	を用いた まで 用いた 来で 用いた 来準た さい と まで はい と まで はる この まで はる この また と まで はる この と まで しゅう と			

										規	各値								
,	編	章	節	条	枝番	エ	種	測定項目	個々の (∑	()	の平 ※面管: は測定)測定値 均(X ₁₀) 理の場合 値の平均	測	定	基	準	測定箇所	摘	要
									中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下							
	3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	8	10	(加熱フ 安定処理	性舗装工 P スファルト (工) (Lの場合)	厚さは一切では、「ないでは、「ないでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	-36	-45	-5		お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合い管をす方に .と .では上 .標 .は	次(る精りる 計10 設標型。 、の 標層値計)合・来 値が 幅値平 下で 較目設計)・課刊 値が 幅値平 下で 較目設	則 十岁 の含 員を面 層章 妄票 接起の密理 格れ 内出影 標す しさ	を用い出生に とび と			

										規	各値	Sm. 1							
編	第 章	章	節	条	枝番	エ	種	測定項目	個々の (∑	()	の平5 ※面管5 は測定f	理の場合 直の平均	測	定	基	準	測定箇所	摘	要
									中規模 以上	小規模 以下	中規模 以上	小規模 以下							
3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	二二月五二月五二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	般 施 工	6 一般舗装工	8	11	半たわみ性に(基層工)(面管理の		厚さあるいは標高戦差	-20	<u>以下</u> -25	-3	-4	お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合 に要施計に用 々て 測点点す さ値 さ直 で理集る法適 個し 計の1と 厚高 厚、 はた/ の 1 は で 1 に 1 に 2 に 2 に 2 に 2 に 2 に 2 に 2 に 2 に	欠(る青)る 計画 投票位 か 票層直元案場度出。 測が 計値(平 下で 較目数) 計形 の含 員を面 層算 差標計	技にそ測管 規ま の算投 の出 と高 体をの密理 格れ 内出影 標す しさ	を用いた。 用いた来準にする 用と出来準にする 関し、 と計た はる。 と計た と計た と計た 当にも が はる。 と対して が はる。 と計た 当にも が はる。 と計た 当にも が はる。 という。 という。 という。 という。 という。 という。 という。 という			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	(2	規 測定値 X) 小規模 以下	の平 ※面管: は測定)測定値 均(X ₁₀) 理の場合 値の平均 小規模 以下	測	定	基	準	測定箇所	摘り	要
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	8	12	半たわみ性舗装工 (表層工) (面管理の場合)	厚さある高い 戦差 平 坦 性	-17	-20	(σ)2.4 直読式	7ィルメーター 4mm以下 (足付き) 75mm以下	お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合 で理実る法適 個し 計の1と 厚高 厚、 「要施計に用 々て 測点点す さ値 さ直 で直でででする。 では上 で で で で で で で で で で で で で で で で で で	次(る情りる 計Lm 投票n2 の 票層直元案場度出。 測加 計高(直差 高の+計)合・来	技にそ測管 規ま の算投 の出 と高 体をの密理 格れ 内出影 標す しさ	を用いた来で用いた来準にする 別 し別り 該 はる。 と計た と計た という 全 る きょう と と と と と と きゅう と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	を省略することが出来る。		

									規	格 値		
ń	編	章	節	条	枝番	工工種	測定項目	()	測定値 X)	の平 ※面管 は測定	の測定値 均(X ₁₀) 理の場合 値の平均	測 定 基 準 測定箇所 摘 要
								中規模 以上	小規模 以下	中規模以上	小規模 以下	
	3 † :	2	6	9	1	排水性舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40	±50	_	_	基準高は延 20m毎に1ヶ所の割とし、工事規模の考え方 基準高 道路中心線及び端部で測定。 中規模以上の工事は、管理図等を描 国 40m
-	木工	般施	般舗			(1,12,111111111111111111111111111111111	厚き	-45	-45	-15	-15	厚さは各車線 40m毎に 1ヶ所を掘り起 いた上での管理が可能な工事をいい、 ↓ こして測定。 基層および表層用混合物の総使用量が 県 20m
Į	事	工	装				幅	-50	-50	_	_	幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割に測 500 t 以上の場合が該当する。
ì	共通編		工									定。ただし、幅は設計図書の測点によ 小規模工事とは、中規模以上の工事 厚さらず延長 40m以下の間隔で測定するこ より規模は小さいものの、管理結果を 国 200m とができる。 施工管理に反映できる規模の工事をい ↓
												「3次元計測技術を用いた出来形管理 い、同一工種の施工が数日連続する場 県 40m 要領 (案)」の規定による測点の管理 合が該当する。 幅
												コアー採取について 「国 80m 橋面舗装等でコアー採取により床版等 ↓
- 1	3 土	2	6	9	2	排水性舗装工 (上層路盤工)	厚き	-25	-30	- 8	-10	幅は、延長 40 m毎に 1 ヶ所の割とし、に損傷を与える恐れのある場合は、他 県 40 m 厚さは、各車線 40 m毎に 1 ヶ所を掘り の方法によることが出来る。
-	木	般施	般舗			粒度調整路盤工	幅	-50	-50		_	起こして測定。ただし、幅は設計図書 の測点によらず延長 40m以下の間隔で 維持工事においては、平坦性の項目を 考慮)
; ;	上事共通編	工	装工									測定することができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」の規定による測点の管理 方法を用いることができる。
	3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	3	排水性舗装工 (上層路盤工) セメント (石灰) 安定処理工	厚さ幅	-25 -50	-30 -50	-8		幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割とし、 厚さは、1,000m2 に1個の割でコアー を採取もしくは掘り起こして測定。た だし、幅は設計図書の測点によらず延 長 40m以下の間隔で測定することができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」の規定による測点の管理 方法を用いることができる。

										規	格 値			
編	章	節	条	枝番	I	種	測定	項目	(2	,	の平 ※面管 は測定	D測定値 均(X _{Io}) 理の場合 値の平均	測 定 基 準 測定箇所 摘 要	要
									中規模以上	小規模 以下	中規模以上	小規模 以下		
3 土 木 工	2 一般施	6 一般 舗	9	4	排水性舗装工 (加熱アスフラ 安定処理工)	アルト	厚帽	さ	-15 -50	-20 -50	- 5 -	-7 -	幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割とし、 厚さは、1,000m2 に1個の割でコアー を採取して測定。ただし、幅は設計図 書の測点によらず延長 40m以下の間隔 基層および表層用混合物の総使用量が 県 40m	
事共通編	エ	装工											で測定することができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。 「500 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 コアー採取について橋面舗装等でコアー採取により床版等	
3 土	2	6	9	5	排水性舗装工 (基層工)		厚	さ	- 9	-12	- 3	-4	幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割とし、 に損傷を与える恐れのある場合は、他 幅 厚さは、1,000m2 に1個の割でコアー の方法によることが出来る。	
木工	般施	般舗			(22/6 22)		帕	i	-25	-25	_	_	を採取して測定。ただし、幅は設計図 ↓ 書の測点によらず延長 40m以下の間隔 維持工事においては、平坦性の項目を 県 40m	
事共通編	工	装工											で測定することができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」の規定による測点の管理 方法を用いることができる。	
3 土	2	6 —	9	6	排水性舗装工 (表層工)		厚	さ	- 7	- 9	-2	- 3	幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割とし、 厚さは、1,000m2 毎に1個の割でコア	
木工事共通	般施工	般舗装工					фĒ	i i	-25	-25	_	_	ーを採取して測定。ただし、幅は設計 図書の測点によらず延長 40m以下の間 隔で測定することができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」の規定による測点の管理	
超編							平坦	1 性	_	_	直読式 (足付き	Amm 以下	方法を用いることができる。	

編	章	節	条	枝番	I	種	測定項目	(2	測定値 (X)	の平均	里の場合 直の平均	浿		定	基	準	測定箇所	摘	要
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	9	7	排水性舗装工 (下層路盤工) (面管理の場合		基準高▽厚さある高・収益を表	以上 ±90 ±90	以下 ±90 ±90	以上 +40 -15 +40 -15	+50 -15 +50 -15	お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合高い管をす方に .と .では上 .標 .は較て理実る法適 個し 計の1と 厚高 厚、差では上。 では さ 直平	3貫圧削にた ひこ はで/ 5 まこ を下均と次(る精りる 計加 設ក 「ラ 帯で・そうの 標層値す	ことのませい 側	支こそ則管 規ま の算投 の出 と高厚術基の他産を 作て 作す正 高る て+か	用いた出来 き本を実 直にい 主はる。 を計場 にいる ではま がはる。 にいる ではま がはる。 と計り にいる ではま ではる。 にいる ではま ではる。 にいる ではま ではる。 にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる	中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層及び表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。	3-2-6-	Э

編	章	節	条	枝番	I	種	測定項目	(2	測定値 (X)	の平 ※面管	D測定値 均(X ₁₀) 理の場合 値の平均 小規模 以下		定	基	準	測定箇所	摘 要
3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	9	8	排水性舗装工 (上層路盤工) 粒度調整路盤 (面管理の場	I.	厚さあ標業	-54	-63	-8	-10	お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合はと を下、「3領す測とす」の土 はでごる。 はと を下の はい かいり かいり かいり かいり かいり かいり かいり かいり かいり かい	欠(る情りる 計10 設標元 、の 標層値計)合・来 値が 幅値平 下で 較目設測」、計形 値が 幅値平 尾算 え根書	技にそ測管 対ま 真空田 『百二 き票 後で 横基の密理 梯末 内当 標本 しさ で で で で で で で で で	上が、	いた上での管理が可能な工事をいい、 基層及び表層用混合物の総使用量が 3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事 より規模は小さいものの、管理結果を 施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場 合が該当する。	

編	章	節	条	枝番	I	種	測定項目	中規模	測定値 X)	の平 ※面管: は測定 中規模)測定値 匀(X ₁₀) 理の場合 値の平均	-	測	定	基	準	測定箇所	摘要
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	9	9	排水性舗装二 (上層路盤二 セメン理工 (面管理のも	□) 石灰)安	厚さあるいは標差	以上 -54	-63	-8		お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合い管をす方に .と .ては上 .標 .は、 . は上 . 標 . は、 . は、 . 厚高 厚、	「要施計に用 はて 測点点す き値 さ直平り る料りる 言し 詰材画。 はの を下均	て(5) 青) ら、十0m サ票2、 ラ 票層直元案場を出。 測皿 計幅値平 下で 較目設測」、計形 の含 真を百 尾算 差령設	技にそ測管 対ま 負空行 の出 き悪術基の密理 格れ 内出影 標す しさ	上川いた 上川いた 上川の 上川の 上川の 上川の 上田形に 上田形に 上本満たす はる。 にいる。 にいる。 と) 上) 上) 上) にいる。 に) は) に) に) に) に) に) に) に) に) に) に	いた上での管理が可能な工事をいい、 基層及び表層用混合物の総使用量が 3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事 より規模は小さいものの、管理結果を 施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場 合が該当する。	

編	章	節	条	枝番		種	測定項目	(2	測定値 (X)	の平均 ※ 面管理	理の場合 直の平均	浿	•	Ė		準	測定箇所	摘	要
3 土木工事共通編	2一般施工	6 一般舗装工	9	10	排水性舗装工(加熱アスス安定の地理工)(面管理の場	ファルト	厚さは標差	-36	-45	-5		お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合い管をす方に .と .ては上 .標 .はて理実る法適 個し 計の1と 厚高 厚、は 関点点す さ値 さ直	3頃す則よす の± はで/る よと を下均次(る精りる 計10m 設標n2。 、の 標層値、 産差 高の+	計)合・来 値が 幅値平 下で 較目設測し、計形 の含 員を面 層算 差標計	技にそ側管 規ま の算投 の出 と高術基の密理 格れ 内出記 標す しさせ	:用いた出来 に出来 に出来 にはる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にいる にい	中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層及び表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。		

編	章	節	条	枝番	I	種	測定項目	個々の (∑ 中規模 以上	測定値 (X)	の平均	里の場合 直の平均		測	定	基	進	測定箇所	摘	要
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	9	11	排水性舗装工 (基層工) (面管理の場		厚は較差	-20	-26	-3		お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合高いて理集を対策 値し きの1と 厚高 厚、差	「里をうち笛 国ノ 十つして 更新 夏の で 関連計に用 々て 測点点す さ値 さ直で で で で で で しょう で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	て、大きな で で で で で で で で で で で で で で で で で で で	技にそ測管 規ま の算投 の出 と高格基の密理 格れ 内出影 標す しさ	用いた出来 がある。 は一下では は一下では は一下では は一下では は一下では にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいま準にする はい。 にいる。 にいま準にいる。 にいま準にいる。 にいま準にいる。 にいま準にいる。 にいままた。 にいる。 にいままた。 にいる。 にい。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にいる。 にい。 にいる。 にし。 にし。 にし。 にし。 にし。 にし。	中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層及び表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。	3-2-6-	9

編	章	節	条	枝番		種	測定項目	個々の (∑ 中規模 以上	测定値 (ζ)	の平 ※面管 は測定	つ測定値 均(X ₁₀) 理の場合 値の平均 小規模 以下			定		·	測定箇所	摘	要
3 土木工事共通編	2一般施工	6 一般舗装工	9	12	排水性舗装 (表層工) (面管理の		厚さは較 埋 埋	-17	-20	(σ)2. 直読式	 7イルメーター 4mm以下 (足付き) 75mm以下	お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合高い管をす方に .と .では上 .標 .は較	て里尾3 去箇 固 ~ 汁の1と 『享高 『3領す測よす の土 はでんる はと を下り る料りる まね まで ある 、の を帰り	て、定場度出。 川畑 計画 で、 直差 高の世、川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川川	技にそ測管 規ま の算投 の出 と高格基の密理 格れ 内出影 標す しさ	用いた来でまれる。 出生本でまでまである。 はなる。 に対している。 にがしている。 にがし、 にがしい。 にがしい。 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがしい。 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがし、 にがしい。 にがし、	いた上での管理が可能な工事をいい、 基層及び表層用混合物の総使用量が 3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事 より規模は小さいものの、管理結果を 施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場 合が該当する。 維持工事においては、平坦性の項目 を省略することが出来る。		9

								規	各 値			
編	章	節	条	枝番	エ	種	測定項目	個々の測定値 (X) 中規模 小規模	10 個の測定値 の平均(X ₁₀) ※面管理の場合 は測定値の平均 中規模	測 定 基 準 測定箇所	摘要	
								以上 以下	中規模 以上			
3 土 木	2 一般	6 一般	10	1	透水性舗装工(路盤工)		基準高▽	±50	_	基準高は片側延長 20m 毎に1ヶ所の割 で測定。 厚さは、片側延長 100m 毎に1ヶ所掘		
工事共通	施工	舗装工					厚さ	$ \begin{array}{c c} t < & -30 \\ \hline t \ge & -45 \end{array} $	-10 -15	り起こして測定。 幅は、片側延長 40m 毎に1ヶ所測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず 延長 40m以下の間隔で測定することが		
編						_	幅	15cm 100 -100	_	延接 40m以下の同隔で例だりることができる。 ※歩道舗装に適用する。		
										「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」の規定による測点の管理 方法を用いることができる。		
3	2	6	10	2	透水性舗装工					幅は、片側延長 40m 毎に1ヶ所の割で		
土木工	一般施	般舗			(表層工)		厚さ	-9	-3	側定。 厚さは、片側延長 100m 毎に1ヶ所コ アーを採取して測定。		
事共通	エ	装工					幅	-25	_	ただし、幅は設計図書の測点によらず 延長 40m以下の間隔で測定することが できる。		
編										※歩道舗装に適用する。 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。		

ì	編	章	節	条	枝番	I	種	測定項目	個々のX (X 中規模 以上	則定値	格 値 10 個の測定値 の平均(X _{lo}) ※面管理の半均 は測定値の平均 中規模 以上		測	定	基	準	測定箇所 摘 要
- 1	3	2	6	10	3	透水性舗装工			t <	+90	+50						工事規模の考え方 3-2-6-10
	土	<u></u>	<u></u>			(E & & E)		基準高▽	15cm	-70							中規模以上の工事は、管理図等を描
- 1	木	般	般			(路盤工)			t ≧	± 90	+50	,,, ,, ,,,					いた上での管理が可能な工事をいい、
	工事	施工	舗装			(面管理の場	A)		15cm	+90							. 基層及び表層用混合物の総使用量が 3,000 t 以上の場合が該当する。
- 1	尹 共		表 工			(囲管理の場	' - -')	厚さあるい	t <	+90 -70						とを個にする と実施する場	
	通							厚さめるい は標高較差	15cm t ≧	-70	+50	例の伝			/日/生で	一大肥りつ物	より規模は小さいものの、管理結果を
	編							は原可収左	ι <u>=</u> 15cm	± 90	- 15		/II 7 'S	0			施工管理に反映できる規模の工事をい
- []	MIII								Tocin		10	2. 個	々の計	上測値の	規格値	直には計測料	計い、同一工種の施工が数日連続する場
												度とし	て±10)mm が言	含まれ	ている。	合が該当する。
												3. ては上 4 の 5 合 に 厚高 厚、	測点点す さ値 さ直平差はでがる はと を下均と設標値。 、の 標層値す	設計幅値を 最高(平 下で 軽く で で で で で で で で で で で で で で で で で で	の第二年 の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	則全面とし、 する。計測犯 面積当たり) 高値と当該原	77d 77d

絲	誧	章	節	条	枝番		種	測定項目	規 相 個々の測定値 (X) 中規模 小規模 以上 以下	格 値 10 個の測定値 の平均(X _{I0}) ※面管理の場合 は測定値の平均 中規模 以上			定		進	測定箇所	摘要
3 土 才 工 事	二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二二	2 一般施工	6一般舗装工	10	4	透水性舗装工 (表層工) (面管理の場		厚さあるいは標高較差	-20		お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合高さい管をす方に と では上 . 標 は較と	て里実る去窗 固し 計の1と 享高 享、「要施計に用 々て 測点点す さ値 さ直 な(る 精りる 計知 設樗心。 、の 樗層	元案場度出。 測皿 計高2 直差 高の1~る計)合・来 値が 幅値平 下で 較目設。測」、計形 の含 員を面 層算 差標計	技にそ測管 規ま の算投 の出 と高厚術基の密理 格れ 内出影 標す しさされ	:用いた出来で おき基準にする おきを実 になる。 に対する かいま準にする かいまで はいいまで はいいまで といいまで にいる。 にいまで にいる。 にいまで	中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、基層及び表層用混合物の総使用量が3,000 t以上の場合が該当する。小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。	

編	章	節	条	枝番	工 #	種	測定項目	())測定値 X)	の平 ※ 面管 は測定	の測定値 均(X ₁₀) F理の場合 値の平均 「小規模 以下	測 定 基 準 測定箇所 摘 要
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	11	1	グースアスファ 舗装工 (加熱アスファ 安定処理工)		厚 さ 幅	-15 -50	-20 -50	_ 5 	- 7 -	幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000m2 に1個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 40m以下の間隔で測定することができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理と実施する場合は、同要領に規定する計測 持度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施することができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理を実施する場合は、同要領に規定する計測 特度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施することができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理を実施する場合は、同要領に規定する計測 特度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施することができる。
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11	2	グースアスファ 舗装工 (基層工)	ルト	厚さ幅	- 9 -25	-12 -25	-3	-4	幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割とし、厚さは、1,000m2 に1個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 40m以下の間隔で測定することができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」に基づき出来形管理を実施する場合は、同要領に規定する計測精度・計測密度を満たす計測方法により出来形管理を実施することができる。
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11	3	グースアスファ 舗装工 (表層工)	ルト	厚さ	- 7 -25	- 9 - 25	(σ)2. 直読式 (足付	フィルメーター . 4mm 以下	幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割とし、 厚さは、1,000m2 毎に1個の割でコア 一を採取して測定。ただし、幅は設計 図書の測点によらず延長 40m以下の間 隔で測定することができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」に基づき出来形管理を実 施する場合は、同要領に規定する計測 精度・計測密度を満たす計測方法によ り出来形管理を実施することができ る。

編	章	節	条	枝番	エ	種	測定項目	個々の海 (X 中規模 以上	 則定値)	の平5 ※面管: は測定)測定値 匀(X ₁₀) 理の場合 値の平均 小規模 以下		測	定	基		準	測定箇所	摘星	要
3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	11	4	舗装工 (加熱7 安定処理	アスファルト アスファルト 型工) 型の場合)	厚さあ高い戦差	-36	-45	-5		お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合高い管をす方に と . ては上 . 標 . は較	て理実る法適 個し 計の1と 厚高 厚、「「要施計に用 々て 測点点す さ値 さ直 る領す測よす の± はで/る はと を下	次(る精りる 計10 設標室。 、の 標層値元案場度出。 測mm 計高(直差 高の+計)合・来 値が 幅値平 下で 較目設	測」、計形 の含 員を面 層算 差標はそ 測管 規ま の算投 の出 と高	寄基の密里 格れ 内出影 漂片 しさりでしています 値て 側す面 高る て+	用き本を実 にい 全る積 出形にする 計。 と割り 来管規計場 精 し割り 該とと を 当た 当該 層	工事規模の考え方 中規模以上の工事は、管理図等を描いた上での管理が可能な工事をいい、 基層および表層用混合物の総使用量が 3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。		

編	章	節	条	枝番	I	種	測定項目	()	测定值 X)	の平 ※面管 は測定	り測定値 均(X ₁₀) 理の場合 値の平均 小規模 以下	-	測	定	基	準	測定箇所	摘	要
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11		舗装工	アスファルト	厚さは一様差	-20	-25	-3		お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合高 い管をす方に .と .ては上 .標 .は較	て理夷る法適 個し 計の1と 厚高 厚、「要施計に用 々て 測点点す さ値 さ直を下	次(る精りる 計皿 設標型。 、の 標層値計)合・来 値が 幅値平 下で 較相訳)、語 ア 値 色色 高の+	則 計形 のよ 員を面 層章 差標技にそ測管 規れ の算投 の出 と高の密理 格で 内出影 標す しさ	を用いた来で、 出形にする 大来準にする にる。 にる。 を主にる。 を主にる。 を主にる。 を主にる。 にる。 を割りしまりり にる。 に名。 を割りしまりり にる。 に名。 に名。 に名。 にきにも、 にも、 にも、 にも、 にも、 にも、 にも、 にも、	いた上での管理が可能な工事をいい、 基層および表層用混合物の総使用量が 3,000 t以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事 より規模は小さいものの、管理結果を 施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場 合が該当する。	3-2-6-	11

編	章	節	条	枝番 工 種	測定項目	(規 ②測定値 X) 小規模 以下	の平 ※面管 は測定)測定値 匀(X ₁₀) 理の場合 直の平均 小規模 以下		測	定	基	準	測定箇所	摘	要
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	11	6 グースアスファバ 舗装工 (表層工) (面管理の場合)	ト 厚さは標差 平 坦 性	-17	-20	直読式	 W-9- Imm以下 (足付き) 75mm以下	お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合高い管をす方に .と .ては上 .標 .は較	て埋実る去適 固し 計の1と 享高 享. 3領す測よす 々て 測点点す さ値 さ直の土 はで/る はと を下	次(3 青)3 計m 投票位 ウ 票層直元案場度出。 測が 計高(直差 高の+計)合・来 値含 順値平 下で 較目設別」、計形 の含 順値で 尾算 き根書	技にそ測管 規ま 員を可 過日 き票 後末の密理 格れ 内出影 標す しさ	上げる 上げる 上げる 上げる 上出形にする 上出形にする 上出形にする 上記形にする 上記形にする 上記形にする 上記形にする 上記が 上記が 上記が 上記が にる。 上記が 上記が 上記が 上記が にる。 上記が とされる にる。 ときれる ときれる ときれる ときれる ときれる にいる。 ときれる ともれる	た上での管理が可能な工事をいい、基層および表層用混合物の総使用量が3,000 t 以上の場合が該当する。 小規模工事とは、中規模以上の工事より規模は小さいものの、管理結果を施工管理に反映できる規模の工事をいい、同一工種の施工が数日連続する場合が該当する。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。		11

							規・	 各 値		
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	個々の測定値 (X) 中規模 小規模	10 個の測定値 の平均(X ₁₀) ※面管理の場合 は測定値の平均 中規模	測 定 基 準 測定箇所	摘 要
							以上以下	以上		
3 土	2	6 —	12	1	コンクリート舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40 ±50	_	基準高は延長 20m毎に1ヶ所の割と 工事規模の考え方 基準し、道路中心線および端部で測定。厚 中規模とは、1 層あたりの施工面積 国 4	
木工	般施	般舗				厚さ	-45	-15	さは各車線 40m毎に1ヶ所を掘り起 が2,000 ㎡以上とする。 ↓ ↓ こして測定。幅は、延長 40m毎に1 小規模とは、表層及び基層の加熱ア 県2	↓ 20m
事	工	装工				幅	-50	_	ヶ所の割に測定。ただし、幅は設計図 スファルト混合物の総使用量が 500 t 書の測点によらず延長 40m以下の間 未満あるいは施工面積が 2,000 ㎡未 厚さ	
共通編					A A A A A A A A A A A A A A A A A A A				隔で測定することができる。	200m ↓ 40m 80m ↓
3 土	2	6	12	2	コンクリート舗装工 (粒度調整路盤工)	厚さ	-25 -30	- 8	幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割と 橋面舗装等でコアー採取により床版 し、厚さは、各車線 40m毎に1ヶ所 等に損傷を与える恐れのある場合は、	
土木工事共通編	一般施工	一般舗装工			(粒度調整路盤工)	幅	-50		し、厚さは、各車線 40m毎に1ヶ所等に損傷を与える恐れのある場合は、他の方法によることが出来る。計図書の測点によらず延長 40m以下の間隔で測定することができる。	

編	幸	節	条	枝番	工種	測定項目	規 個々の測定値 (X) 中規模 小規模 以上 以下	格値 10個の測定値 の平均(X ₁₀) ※面管理の場合 は測定値の平均 中規模 以上	. 測		定	基	準	測定箇所	摘	要
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	3	コンクリート舗装工 (セメント(石灰・瀝青) 安定処理工)	厚を	-25 -30 -50	- 8 -	し、厚さ/ アーを採 定。ただ!	は、1 取も へ、 [†] 40m	l,000m しくだ 幅は設 i以下(2 に1 は掘り 計図書	個の割でコ 起こして測 手の測点によ	中規模とは、1 層あたりの施工面積が 2,000 ㎡以上とする。	↓	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	12	4	コンクリート舗装工(アスファルト中間層)	厚を幅	-9 -12 -25	-3	し、厚さんアーを採り	ま、1 文し [*] 則点	1,000m て測定 によら	2 に1 。たた ず延	ヶ所の割と 個の割でし、 も40m以下 きる。			

							担力	 洛 値						
編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	個々の測定値 (X) 中規模 小規模	10 個の測定値 の平均 (X ₁₀)	測	定	基	準	測定箇所	摘要
	0		1.0	_	_ \		以上以下	以上	原とは名書 郷	1 n H N	Line	: #U.bh.Ha /-L/://	て東州機の水ミナ	0.0.6.10
3 土	2	6 —	12	5	コンクリート舗装工 (コンクリート舗装	厚さ	-10	-3.5	厚さは各単版 各車線200 m				_ 1 //2000 : 31.033	3-2-6-12
木工	般施	般舗			版工)	幅	— 25	_					が 2,000 ㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱ア	
一事 共 通 編	工	装工				平坦性	_	コンクリートの 硬化後 3mプロ フィルメータ ーにより機械舗 設の場合 (σ)2.4mm以下 人力舗設の場合 (σ)3mm以下	で1 m 理でより で1 m ツに各り路車 ルッに各り路車 東辺の がでより とでより にるらずができる。 でものと でものができる。 でものと をものと でものと でものと でものと でものと でものと を を でものと を を	世ー・丁)からき m ー・ファッド をしまれる 長法にに 検測 両部 には 下の はまる には 下の は での できまる でんしょう	事といる を を の との との との との との との との との との	に版縁が見いた。 は、は、中心では、 は、は、中心では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	スファルト混合物の総使用量が 500 t 未満あるいは施工面積が $2,000$ m 未満。厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、 10 個の測定値の平均値 (X_{10}) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	
						目地段差	<u> </u>	±2	隣接する各目 及び端部で測		けして、	道路中心線	省略することが出来る。	
				6	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート	基準高▽	±40 ±50	_	基準高は、延し、道路中心					
					版工) 下層路盤工	厚き	-45	-15	は、各車線をして測定。幅					
					/	幅	-50	_	の割に測定。	ただし	/、幅は	は設計図書の		
									測点によらす 定することか			い間隔で測		
				7	コンクリート舗装工 (転圧コンクリート	厚き	-25 -30	-8	幅は、延長 4 厚さは、各車					
					版工)	幅	-50	_	起こして測定	官。たた	ごし、幅	話は設計図書		
					粒度調整路盤工				の測点によら			<i>人トの</i> 間隔で		

							規	格値		
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	個々の測定値 (X) 中規模 小規模 以上 以下	10 個の測定値 の平均 (X ₁₀) 中規模 以上	測 定 基 準 測定箇所	摘 要
3 土木工事共通編	2一般施工	6一般舗装工	12	8	コンクリート舗装工 (転圧コンクリー 版工) セメント (石灰 瀝青) 安定処理工	幅	-25 -30 -50	- 8 -	届は、延長 40m毎に1ヶ所の割とし、 厚さは、1,000m2 に1個の割でコアー を採取もしくは、掘り起こして測定。 ただし、幅は設計図書の測点によらず 延長 40m以下の間隔で測定することが できる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」の規定による測点の管理 方法を用いることができる。 工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積 が 2,000 ㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱ア スファルト混合物の総使用量が 500 t未 満あるいは施工面積が 2,000 ㎡未満。 厚さは、個々の測定値が 10 個に9個 以上の割合で規格値を満足しなければ ならないとともに、10 個の測定値の平	30m
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	9	コンクリート舗装工 (転圧コンクリー 版工) アスファルト中間層		-9 −12 -25	- 3 -	対値 (X ₁₀) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。 厚さは、1,000m2 に1個の割でコアーを採取して測定。ただし、幅は設計図書の測点によらず延長 40m以下の間隔で測定することができる。 本語の測点によらず延長 40m以下の間隔で測定することができる。 本語の表表によることが出来る。 本語で表示といては、平坦性の項目を省略することが出来る。	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	10	コンクリート舗装工(転圧コンクリー版工)			-4.5 - 転圧コンクリートの硬化後、3m プロフィルメータ ー に よ り (σ)2.4mm以下。	より1測線当たり横断方向に3ヶ所以 上測定、幅は、延長 40m毎に1ヶ所の 劇で測定、平坦性は各車線毎に版縁か ら1mの線上、全延長とする。ただ	200m 10m 200m

3 2 6 12 11 コンクリート舗装工 (下層路盤工)	編	章	節	条	枝番	I	種	測定項目	個々の? (X 中規模	則定値	※面管理 は測定値 中規模	タ(X ₁₀) 里の場合 直の平均 小規模		測	定	基	準	測定箇所	摘	要
以上とする。 4. 厚さは、直下層の標高値と当該層の標高値との差で算出する。 5. 厚さを標高較差として評価する場合は、直下層の目標高さ+直下層の標高較差平均値+設計厚さから求まる高さとの差とする。この場合、基準高の評価は省略する。	土木工事共通	一般施工	一般舗装		11	(下層路	盤工)	厚さあるいは標高	以上 ±90	以下 ±90	以上 +40 -15 +40	以下 +50 -15 +50 -15	お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合高さい管をす方に .と .ては上 .標 .は較とて理実る法適 個し 計の1と 厚高 厚、差の	「要施計に用 々て 測点点す さ値 さ直平差と次(る精りる 計10 設標№。 、の 標層値す	元案場度出。 測皿 計高(直差 高の1+る計)合・来 値が 幅値平 下で 較目設。測」、計形 の含 員を面 層算 差標計こ	技にそ測管 規ま の算投 の出 と高厚術基の密理 格れ 内出影 標す しささ	:用出基準にはいるのでは、出来では、また、主には、このでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、というでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、いいでは、	中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000 ㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500 t未満あるいは施工面積が2,000 ㎡未満。		2

編	章	節	条	枝番	工	種	測定項目	(2	測定値 (X)	の平5 ※面管3 は測定f)測定値 均(X ₁₀) 理の場合 値の平均 小規模 以下		測	定	基	準	測定箇所	摘	要
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	12	(粒度調	ート舗装工 整路盤工) 他の場合)	厚さは標を	-55	-66	-	-8	お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合高い管をすれば、と、ではと、標、は較いでは、と、では、と、標、は、は、は、表には、表には、表には、表には、表には、表には、表には、表には、表	て里尾3 去箇 固 ~ 計の1 と 『享高 『 3 領す測よす 々て 測点点す さ値 さ直 の土 はで/る はと を下	て、宗場度出。 測皿 計画 (直差 高の)	技にそ測管 対ま 員が可 過日 き票 後末の密理 格れ 内出影 標す しさ	上がきない。 上がきない。 上のでは、	中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000 ㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500 t未満あるいは施工面積が2,000 ㎡未満。	3-2-6-:	12

編	章	節	条	枝番		種	測定項目	(2	測定値 X)	の平 ※面管 は測定	の測定値 均(X _{Io}) 理の場合 値の平均 「小規模 以下		測	定	基	準	測定箇所	摘	要
3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	12		(セメ 瀝青) 5	リート舗装工 ント (石灰・ 安定処理工) 理の場合)	厚さは標意	-55	-66		-8	お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合高い管をす方に と ごは上 . 標	て理実る法適 個し 計の1と 厚高 厚、「要施計に用 々て 測点点す さ値 さ直さ直 さんしん を下	次(る青のる 計の 投票n2 、の 漂層値計)合・来 値が 幅値平 下で 較目設調し、評価 が 原産 を持ち込む。	リートグ の含 員を面 暑節 差票 (特基の密理 格れ 内出影 標す しさ	を用い と に に に に に に に に に に に に に	が 2,000 ㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が 500 t 未満あるいは施工面積が 2,000 ㎡未満。	3-2-6-	12

編	章	節	条	枝番		種	測定項目	(2	測定値 (X)	格 値 10 個の の平均 ※面管理 は測定値 中規集 以上	以下			定				測定箇所	摘	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	14	(アス) 層)	リート舗装工 ファルト中間 里の場合)	厚い較差	-20	-27	-	-3	お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合高い管をす方に (と)では上 「標 」は較	て理夷る去適 個し 計の1と 享高 厚 「要施計に用 々て 測点点す さ値 さ直 さ直 さで/る。 はと を下	欠(る青)る 計皿 投票。2 . . ク 票層直元案場度出。 測が 計高(直差 高の+計)合・来 値含 幅値平 下で 較目設し、言来 の名 順名 見がられば	財にそ測管 別ま 員を町 層に 差票術基の密理 格れ 内出景 楊寸 しさ	デジル度と 値で 例出が 悪る てきだい とうせん 倒する 高る てきずい きょう しょう しょう しょう かんしょう しょう しょう しょう しょう かんしょう かんしょう しょうしょう ょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょう しょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうしょうし	用いた出来 き出来形管 は基準に規 に満たす計 に施する場	中規模とは、1層あたりの施工面積が2,000 ㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が500 t未満あるいは施工面積が2,000 ㎡未満。	3-2-6-	12

編	章	節	条	枝番	工	種	測定項目	個々の測定値 (X)	格 値 10 個の測定値 の平均(X ₁₀) ※面管理の平均 は測定値の平均 中規模 以上 以下	-	測	定	基	準	測定箇所	摘要	
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12	15	(コンク 版工)	ート舗装工7 リート舗装		-22 —	-3.5 3mプロフィルメーター (σ)2.4mm以下 直読式(足付き) (σ)1.75mm以下	お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合高い管をす方に .と .では上 .標 .は較	て里尾3 去箇 固 ~ 汁の1と 『享高 『3領す測よす 々て 測点点す さ値 さ直の土 はで/る はと を下の土 はず m。 、の 杉原	て(5) 排門 という では、 大くの はいます はいます はいます はいます はいます はいます で 乾 目れます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はいます はい	技にそ測管 規ま 員が可 過出 と悪術基の密理 規れ 内出影 標す しさ	上川いた (大田) に	が 2,000 ㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が 500 t 未満あるいは施工面積が 2,000 ㎡未満。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	3-2-6-9	

j	編	章	節	条	枝番	I	種	測定項目	個々の (∑ 中規模 以上	測定値 (1)	格 値 10 個の の平均 ※面管理 は測定値 中規模 以上	J(X ₁₀) Mの場合 Mの平均	測	定	基	準	測定箇所	摘要
	3 土 木	2 一 般	6 一 般	12		コンクリー (転圧コン 版工)		基準高▽	±90	±90	+40 -15		おいて「3次	元計測	技術を	用いた出来	工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積 が2,000 ㎡以上とする。	3-2-6-12
	工事 共	施工	舗装工			下層路盤工	場合)	厚さある いは標高 較差	±90	±90	+40 -15	$+50 \\ -15$	理を実施する 定する計測精 測方法により	場合、 i度・計 出来形	その他 測密度	1本基準に規 を満たす計	小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が 500 t 未満あるいは施工面積が 2,000 ㎡未満。	
	通編												合2 度3 全度以4 の5 合高さ評面個し計の1と厚高厚、差のははとで下変はとを下りはででででをがののででででがののでで<	・ 神伽が 景高(直差 高の) 直差 高の を標的 という にっこう で いっこう を で いっこう を で いっこう で がっこう しょう かい	まれて低質技術の出と高厚を	でいる。 則全の 計を 計を 計を 計を 計を 計を 計を 計を に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、		

編	章	節	条	枝番	工	種	測定項目	個々の (∑ 中規模 以上	測定値 (X)	の平 ※面管 は測定	D測定値 均(X ₁₀) 理の場合 値の平均 小規模 以下		測	定	基	準	測定箇所	摘	要
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12		コンクリー(転圧:版工) 総度 総度 ででである。 ででである。 でである。 でである。 では、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、このでは、この		厚さは標を整	-55	-66		-8	お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合高い管をするだけ、と、では上、「標」には較	て埋実る去適 固し 計の1と 享高 享、3領寸測よす の土 はで/る はと を下	欠(3青)3 計の 投票位 ウ 票層直元案場度出。 測㎜ 計高(直差 高の+計)合・来 値が 幅値平 下で 較目設測」、計形 のぎ 順を配 尾質 支榑記	別技にそ測管 規ま の算投 の出 と高される の密理 格れ 内出影 標す しさ	を用いた来で見いた来準たする 出来管規計場 はる 面ま当本 はる 面ま当た はる 面ままた はる 面ままた 当該 とき とき とき とき とき を しゅう	が 2,000 ㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が 500 t 未 満あるいは施工面積が 2,000 ㎡未満。	3-2-6-	12

編	章	節	条	枝番		種	測定項目	個々の (∑ 中規模 以上	測定値 (X)	の平均 ※面管理 は測定値)測定値 タ(X ₁₀) 理の場合 値の平均 小規模 以下		測	定	基	準	測定箇所	摘	要
3 土木工事共通編	2 一般施工	6 一般舗装工	12		(転圧コ 版工)		較差	-55	-66	-	-8	お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合高い管をするに、と、こでは上、「標」」は較	て埋実る去適 固し 計の1と 享高 享、3領寸測よす の土 はで/る はと を下	欠(3青)3 計の 投票位 の 票層直元案場度出。 測㎜ 計高(直差 高の+計)合・来 値が 幅値平 下で 較目設 はました。	別にそ測管 規ま の算投 の出 と高術基の密理 格れ 内出影 標す しさ	を用いた来で用いた来で用いた来準にから本を施して、 はる 面の 直動 はる 面の 自動 はる のの はい 全の はい とし 割り という はい という という にん はい という はい という はい という という にん という にん をいう にん という にん という にん という にん という にん という にん しょう	が 2,000 ㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が 500 t 未 満あるいは施工面積が 2,000 ㎡未満。	3-2-6-	12

単位:mm

編	章	節	条	枝番		種	測定項目	個々の (∑ 中規模 以上	測定値 (X)	の平 ※面管 は測定	の測定値 均(X ₁₀) 理の場合 値の平均 小規模 以下		測	定	基	準	測定箇所	摘	要
3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	12		(転圧: 版工) アスファ	リート舗装工 コンクリート ビルト中間層 理の場合)	厚さは標のでは、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下では、一下	-20	-27		-3	お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合高い管をするに、と、こでは上、「標」」は較	て理実る法適 個し 計の1と 享高 享、「要施計に用 々て 測点点す さ値 さ直の土 はで/る はと を下	欠(3 青)3 計m 投票ú2 つ 票層直元案場度出。 測が 計高(直差 高の+計)合・来 値名 幅値平 下で 較目設別」、計形 の含 順値平 尾質 支榑記	別技にそ測管 規ま の算投 の出 と高体基の密理 格で 内出影 標す しさ	を用いた 出来管規計場 はい 全る 計り と 当 は と 当 前値 と 当 該 層 を と を を を を を から と ま を から を	が 2,000 ㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が 500 t 未 満あるいは施工面積が 2,000 ㎡未満。	3-2-6-	12

前	副	等	節	条	枝番	I	種	測定項目	個々の測定値 (X)	各 値 10 個の測定値 の平均(X ₁₀) ※面管理の場合 は測定値の平均 中規模 以上 以上 以上	測	定	基	準	測定箇所	摘要
- デースニョナ災系	二二二五二五二五二五二五二五二五二五二五二五二五二五二五二五二五二五二五二五二五	2 一般施工	6 一般舗装工	12	20				-32	-4.5 3mプ° ロフィルメーター (σ)2.4mm以下 直読式(足付き) (σ)1.75mm以下	お形理定測合 2度 3全度以 4の 5合高さい管をす方に .と .では上 .標 .は較とて理実る法適 個し 計の1と 厚高 厚、差の側点点す さ値 さ直平差 はと を下後と	次(る精りる 計4m 設標m。 、の 標層値す 一目元案場度出。 測m 計高(直差 高の+る。 地計)合・来 値含 幅値平 下で 較目設。 に	則 計形 のよ 員を面 層算 差標計例を入りで 規れ の算投 の出 と高厚格で 内出影 標す しささ	を用いた出来で 地球で 地球を上述される。 地球を実施になる。 はい、全の。 は、というでは、 は、このでは、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	が 2,000 ㎡以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱アスファルト混合物の総使用量が 500 t 未満あるいは施工面積が 2,000 ㎡未満。 維持工事においては、平坦性の項目を省略することが出来る。	

							規	各 値							
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	個々の測定値 (X)	10 個の測定値 の平均 (X ₁₀)	測	定	基	準	測定箇所	摘	要
							中規模 小規模 以上 以下	中規模 以上							
3 土	2	6 —	13	1	薄層カラー舗装工 (下層路盤工)	基準高▽	±40 ±50	_	基準高は、延し、道路中心				工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積	基準高 国 40m	
木工	般施	般舗				厚き	-45	-15					が 2,000 m以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱ア	↓	
事	工	装				幅	-50		の割に測定。	ただし	、幅は	は設計図書の	スファルト混合物の総使用量が 500 t 未		
共通		エ							測点によらす 定することか			トの間隔で測	厚さは、個々の測定値が 10 個に9個		1
編									 「3次元計測	則技術を	用いた	出来形管理	以上の割合で規格値を満足しなければ ならないとともに、10 個の測定値の平		
									要領(案)」方法を用いる				均値(X ₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が	幅	
										, ,			10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。		
													m C/4V.	県 40m	
3	2	6	13	2	薄層カラー舗装工	厚さ	-25 -30	-8	幅は、延長						
土木	般	般			(上層路盤工) 粒度調整路盤工	幅	-50	_	厚さは、各車 起こして測定			, ,, ,			
工事	施工	舗装							の測点によら 測定すること	–	-	以下の間隔で			
共通		工							「3次元計消	はお紙を	田レンナー	出来形管理			
編									要領(案)」	の規定	による	測点の管理			
									方法を用いる	0 _ 2 //3	(さら)	0			

							規	各 値	
編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	個々の測定値 (X) 中規模 小規模 以上 以下	10 個の測定値 の平均 (X ₁₀) 中規模 以上	測 定 基 準 測定箇所 摘 要
3	2	6	13	3	薄層カラー舗装工 (上層路盤工)	厚き	-25 -30		幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割とし、 工事規模の考え方 幅 厚さは、1,000m2 に1個の割でコアー 中規模とは、1層あたりの施工面積 国 80m
土木	般	般			セメント (石灰)	幅	-50	_	を採取もしくは掘り起こして測定。た が 2,000 m 以上とする。 ↓ ↓
工事共通編	施工	舗装工			安定処理工				だし、幅は設計図書の測点によらず延長 40m以下の間隔で測定することができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理」を対し、個々の測定値が 10 個に9個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、10個の測定値の平均値(X ₁₀)について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値
3 土	2	6 —	13	4	薄層カラー舗装工 (加熱アスファルト	厚さ	-15 -20	- 5	幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割とし、 厚さは、1,000m2 に1個の割でコアー
木工	般施	般舗			安定処理工)	幅	-50	_	を採取して測定。ただし、幅は設計図 書の測点によらず延長 40m以下の間隔 橋面舗装等でコアー採取により床版等
上事 共 通 編	工	語装 工							音の例点によりを定く40m以下の間隔 で測定することができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」の規定による測点の管理 方法を用いることができる。
3 土	2	6	13	5	薄層カラー舗装工 (基層工)	厚さ	-9 -12	- 3	幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割とし、 厚さは、1,000m2 に1個の割でコアー
木工	般施	般舗			(坐/百工/	幅	-25	_	を採取して測定。ただし、幅は設計図 書の測点によらず延長 40m以下の間隔
上事 共 通 編	工	# 装工							音の例点によらり延長 40m以下の间隔 で測定することができる。 「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」の規定による測点の管理 方法を用いることができる。

								規	 各 値							
編	章	節	条	枝番	エ	種	測定項目	個々の測定値 (X)	10 個の測定値 の平均 (X ₁₀)	測	定	基	準	測定箇所	摘	要
								中規模 小規模 以上 以下	中規模 以上							
3 土	2	6 —	14	1	ブロック舗装工 (下層路盤工)	-	基準高▽	±40 ±50	_	基準高は、 し、道路中				工事規模の考え方 中規模とは、1層あたりの施工面積	基準高 国 40m	
木工	般施	般舗			,		厚さ	-45	-15		車線 10			が 2,000 m ³ 以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱ア	1	
事共	工	装工					幅	-50	_	幅は、延長		まに 1 ヵ	r 所の割に測	スファルト混合物の総使用量が 500 t 未		
通		上								定。				厚さは、個々の測定値が 10 個に9個		1
編														以上の割合で規格値を満足しなければ ならないとともに、10 個の測定値の平	県 100m	1
														均値 (X_{10}) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が	幅	
														10 個未満の場合は測定値の平均値は適用しない。	国 80m ↓	
															県 40m	
3 土	2	6 —	14	2	ブロック舗装工(上層路盤工)	-	厚さ	-25 -30					所の割とし、 こ1ヶ所を掘			
木工	般施	般舗			粒度調整路盤工	-	幅	-50		り起こして	測定。					
事共	工	装工														
通編		1														
孙阳																

									各値								
編	章	節	条	枝番	エ	種	測定項目	個々の測定値 (X)	10 個の測定値 の平均 (X ₁₀)	;	測	定	基	準	測定箇所	摘	要
								中規模 小規模 以上 以下	中規模 以上								
3 土	2	6 —	14	3	ブロック舗装工 (上層路盤工)	,	厚さ	-25 -30	-8					所の割とし)割でコア	、 工事規模の考え方 一 中規模とは、1層あたりの施工面積	幅 国 80m	
木工	般施	般舗			セメント(石 安定処理工	灰)	幅	-50	_	を採取も	しく	は掘り	起こし	て測定。	が 2,000 mg以上とする。 小規模とは、表層及び基層の加熱ア	↓ 旦 40m	
事共通編	エ	装工												r a dal)	スファルト混合物の総使用量が 500 t 未満あるいは施工面積が $2,000 \text{ m}^3$ 未満。厚さは、個々の測定値が 10 個に 9 個以上の割合で規格値を満足しなければならないとともに、 10 個の測定値の平均値 (X_{10}) について満足しなければならない。ただし、厚さのデータ数が 10 個未満の場合は測定値の平均値は適	宗 40 Ⅲ	
3 土	2	6 —	14	4	ブロック舗装工 (加熱アスフ	1 /	厚さ	-15 -20	-5	厚さは、	1,00	0m2 (C		所の割とし)割でコア			
木工	般施	般舗			安定処理工)		幅	-50	_	を採取し	て測	定。			コアー採取について 橋面舗装等でコアー採取により床版等		
事共通編	エ	装工													に損傷を与える恐れのある場合は、他 の方法によることが出来る。		
3 土	2	6 —	14	5	ブロック舗装工 (基層工)		厚さ	-9 −12	-3					所の割とし)割でコア			
木工	般施	般舗					幅	-25	_	を採取し							
上事共 通編	工	無装 工															

								規 :	<u></u> 格 値		
編	章	節	条	枝番	工種	測	定項目	個々の 測定値 (X)	測定値の平均 ▼ (X)	測 定 基 準 測定箇所 排	商 要
3 土 木	2 一 般	6 一 般	15	1	路面切削工	厚	さ t	- 7	- 2	厚さは 20m毎に現舗装高切削後の基 準高の差で算出する。 国 40 測定点は車道中心線、車道端及びその ↓ ↓	Om
エ	施	舗				幅	w	-25	_	中心とする。	
事共	エ	装 工								延長 20m未満の場合は、2ヶ所/施 工箇所とする。	
通編										断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。 t + +	
										測定方法は自動横断測定法によること	
										「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」の規定による測点の管理	
										方法を用いることができる。	
3 土	2	6	15	2	路面切削工 (面管理の場合)	厚	⇒ t	-17 (17)	-2	1.3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)に基づき出来形管理を実施	
木工	般施	般舗			標高較差または厚さ tのみ		震高較差)	(面管理として緩和)	(2)	する場合に適用する。 2. 計測は切削面の全面とし、すべての	
事	工	装				幅	w		_	点で設計面との厚さtまたは標高較差	
共通		I								を算出する。計測密度は1点/m2(平 面投影面積当たり)以上とする。	
編										3. 厚さtまたは標高較差は、現舗装高	
										4. 幅は、延長 40m 毎に測定するものと し、延長 40m 未満の場合は、2 箇所/	
	0	C	1.0		盆出红格 之工					施工箇所とする。	
3 土	2	6	16		舗装打換え工	路	幅 w	_	-50	各層毎1ヶ所/1施工箇所	
木工事	般施工	般舗装				盤工	延長L	_	100	「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」の規定による測点の管理 方法を用いることができる。	
共通		I.					厚さ t	該当	工種	W W	
編						舗	幅 w	_	-25	L	
						設工	延長L	_	100		
							厚さ t	該当工種			

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土	2 —	6 —	17	1	オーバーレイエ	厚 さ t	- 9	厚さは 20m毎に現舗装高とオーバーレイ後の基準高の差で算出する。		厚さ 国 40m
木工事	般施工	般舗装				幅 w	-25	測定点は車道中心線、車道端及びその中心とする。	G.	↓ 県 20m
井山通	上	工				延 長 L	-100	幅は、延長 40m毎に1ヶ所の割と し、延長 20m未満の場合は、2ヶ所 /施工箇所とする。		幅 国 80m
· 編						平 坦 性	3mプ゚ロフィルメーター (σ)2.4mm以下 直読式(足付き) (σ)1.75mm 以 下	断面状況で、間隔、測点数を変えることが出来る。	t ** ・	↓ 県 40m

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規 個々の 測定値 (X)	格 値 10 個の測定値 の平均(X ₁₀) ※面管理の場合 は測定値の平均	測	定	基	準	測定箇所	摘	要
3 土木工事共通編	2 一般施工	6一般舗装工	17	2	オーバーレイ工(面管理の場合)	厚さあるいは標高較差 平 坦 性	-20 -	-3 3mプロフィルメーター (σ)2.4mm以下 直読式(足付き) (σ)1.75mm 以下	1. い管をす方に2度3全度以4ー5合3. て理実る法適個し計の1と厚イ厚、はでよるさるさるさるよるはでよるまるまるよるはまるまるまるよるはまるまるまるよるまるまるまるまるよるまるまるまるまるよるまるまるまるまるよるまるまるまるまるよるまるまるまるまるよるまるまるまるまるよるまるまるまるまるよるまる <td>欠(3青)3 計皿 投票心 票 票べ元案場度出。 測加 計高(施高 高一計測)、計形 の含 員を面 前と 差イ</td> <td>技にそ測管 規ま の算投 のの と後術基の密理 格れ 内出影 標差 しのをづ他度を 値て 側す面 高で て目</td> <td>用いた来では、</td> <td></td> <td></td> <td></td>	欠(3青)3 計皿 投票心 票 票べ元案場度出。 測加 計高(施高 高一計測)、計形 の含 員を面 前と 差イ	技にそ測管 規ま の算投 のの と後術基の密理 格れ 内出影 標差 しのをづ他度を 値て 側す面 高で て目	用いた来では、			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土	2	7 地	2		路床安定処理工	基 準 高 ▽	±50	延長 20m毎に 1 ヶ所の割で測定。 基準高は、道路中心線及び端部で測定。	Ģ.	国 40m
木工	般施	盤改				施工厚さ t	-50	厚さは中心線及び端部で測定。 「3次元計測技術を用いた出来	/	↓ 県 20m
事	工	良				幅 w	-100	形管理要領(案)」による管理の場合		N Zom
共通		エ				延 長 L	-200	は、全体改良範囲図を用いて、施工厚 さt、天端幅w、天端延長Lを確認(実		
編								測は不要)。		
3 土	2	7 地	3		置換工	基 準 高 ▽	±50	施工延長 20mにつき1ヶ所、延長 20 m以下のものは1施工箇所につき2ヶ		国 40m ↓
木工	般施	盤改				置換厚さ t	-50	所。 厚さは中心線及び端部で測定。		県 20m
事	工	良				幅 w	-100	7字では中心隊及び姉前で側た。		
共通		エ				延 長 L	-200		€. 	
用 編										

編	章	節	条	枝番 工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土木工事	2 一般施工	7 地盤改良	4	1 表層安定処理工 (サンドマット海上)	基準高▽	特記仕様書に 明示 -500	施工延長 10mにつき、1 測点当たり 5 点以上測定。	2 3 4	
共通編		T			天 端 幅 w	-300	w. (L) は施工延長 20mにつき 1 ヶ 所、40m以下のものは 1 施工箇所につ き 3 ヶ所。	w. (L)	国 40m ↓ 県 20m
					天端延長 L	-500	(L) はセンターライン及び表裏法肩で行う。		77, 23.2
3 土 木	2 一 般	7 地 盤	4	2 表層安定処理工 (ICT 施工の場合)	基準高▽	特記仕様書に 明示	施工延長 10mにつき、1 測点当たり 5 点以上測定。	2 3 4	
工事	施工	改良			法 長 ℓ	-500			
共通編		エ			天 端 幅 w	-300	「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)表層安定処理等・固結工 (中層混合処理)編」に記載の全体改	w. (L)	
					天端延長 L	-500	良平面図を用いて天端幅w、天端延長L を確認(実測は不要)		
3 土	2	7 地	5	パイルネットエ	基 準 高 ▽	±50	施工延長 20mにつき 1ヶ所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして	Ę	国 40m ↓
木工	般施	盤改			厚 さ t	-50	測定。 抗については、当該杭の項目に準ず		県 20m
事共	工	良工			幅 w	-100	る。 -	 W	
通					延 長 L	-200		▼ ▼ ▼ t	
編									

編	章	節	条	枝番 工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土 木	2 一 般	7 地 盤	6	サンドマットエ	施工厚さ t		施工延長 20mにつき 1ヶ所。 厚さは中心線及び両端で掘り起こして 測定。		国 40m ↓ 県 20m
工事共	施工	改良工			幅 w	-100			
通編		上			延 長 L	-200		Ç t	
								w	
3 土	2	7 地	7	バーチカルドレーンエ (サンドドレーンエ)	位置・間隔w		20 本に 1 ヶ所。 20 本以下は 2 ヶ所測定。 1 ヶ所に 4 本	₩ ,₩	国 100 本
木工事	般施工	盤改良一		(ペーパードレーン工) (袋詰式サンドドレー ン工)			測定。 ただし、ペーパードレーンの杭径は対 象外とする。		県 20 本
共通編		エ	8	締固め改良工 (サンドコンパクショ ンパイル工)	杭 径 D	設計値以上	ペーパードレーンにおいては、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。	w w w	
					打込長さ h	設計値以上	全本数		
					サンドドレーン、袋詰 式サンドドレーン、サ ンドコンパクションパ		全本数計器管理にかえることができる。	h	
					イルの砂投入量		サンドコンパクションパイル工においては、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)」の規定による測点 の管理方法を用いることができる。	※余長は、適用除外	

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土	2	7 地	9	1	固結工 (粉体噴射撹拌工)	基 準 高 ▽	-50	20 本に 1 ヶ所。 20 本以下は 2 ヶ所測定。		国 100 本
木	般	盤改			(高圧噴射撹拌工)	位置・間隔w	D/4以内	1ヶ所に4本測定。	C.L.	県 20 本
事	施工	良			(スラリー撹拌工) (生石灰パイル工)	杭 径 D	設計値以上		↑ 1/2 ± 1	
共通		エ				深 度 L	設計値以上	全本数	w w w w w w w w w w w w w w w w w w w	
編								$L=0$ $_1-0$ $_2$ 0 $_1$ は改良体先端深度 0 $_2$ は改良体天端深度		
3 土 木	2 一 般	7 地 盤	9	2	固結工 (スラリー撹拌工)	基準高▽	0以上	杭芯位置管理表により基準高を確認	D	
工事共通	施工	盤改良工			「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案) 第8編固結工(スラリー 撹拌工)・バーチカルド	位置	D/8以内	全本数 施工履歴データから作成した杭芯位置 管理表により設計杭芯位置と施工した 杭芯位置との距離を確認 (掘起しによる実測確認は不要)	7	
編					レーン工編」による管理 の場合	杭径D	設計値以上	工事毎に1回 施工前の撹拌翼の寸法実測により確認 (掘起しによる実測確認は不要)		
						改良長L	設計値以上	全本数 施工履歴データから作成した杭打設結 果表により確認 (残尺計測による確認は不要)		
									C. L.	

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土	2	7 地	9	3	固結工	基準高▽	設計値以上	1,000m3~4,000m3 につき1ヶ所、又は 施工延長 40m(測点間隔 25m の場合は	CL :	
木工事	般施工	盤改良			(中層混合処理)	施工厚さ t	設計値以上	50m)につき1ヶ所。 1,000m3 以下、又は施工延長 40m(50m) 以下のものは 1 施工箇所につき 2 ヶ		
共通	4	I				幅 w	設計値以上	所。 施工厚さは施工時の改良深度確認を出		
編						延 長 L	設計値以上	来形とする。 「3次元計測技術を用いた出来形管理		
								要領(案)」による管理の場合は、全 体改良範囲図を用いて、施工厚さt、 幅w、延長Lを確認(実測は不要)。	$ $ \longrightarrow	
								THE CALL PRINT (AMIN 1 A/)		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	5	1	土留・仮締切工 (H鋼杭) (鋼矢板)	基準高▽根入長	±100 設計値以上	基準高は施工延長 20mにつき1ヶ所。 延長 20m以下のものは、1施工箇所に つき2ヶ所。	- ISHISHSH	国 40m ↓ 県 20m
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	5	2	土留・仮締切工 (アンカー工)	削孔深さ l 配置誤差 d	設計深さ以上	全数 (任意仮設は除く)	$ \begin{array}{c} d \\ \downarrow \\ x \\ x \end{array} $ $ x = \sqrt{x^2 + v^2} $	
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	5	3	土留・仮締切工 (連節ブロック張り工)	法 長 Q 延長 L ₁ L ₂	-100 -200	施工延長 20mにつき1ヶ所、延長 20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。		国 40m ↓ 県 20m
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	5	4	土留・仮締切工 (締切盛土)	基 準 高 ▽ 天 端 幅 w 法 長 ℓ	-50 -100 -100	施工延長 20mにつき 1 ヶ所。 延長 20m以下のものは 1 施工箇所につき 2 ヶ所。 (任意仮設は除く)	RIII W L	国 50m ↓ 県 20m

編	章	節	条	枝番 工	種	測 定 項	目	規	格	値	測	定	基	準	測定箇所	摘要
3 土木工事共通編	2 一般 施工	10 仮設 工	5	5 土留・仮締切コ (中詰盛土)	C.	基準高	∇	-	-50		施工延長 20m以下 延長 20m以下 つき 2ヶ所。 (任意仮設は	うのもの				国 50m ↓ 県 20m
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	9	地中連続壁工	(壁式)	基 準 高 連壁の長さ 変 壁 体 長	位位	-	±50 -50 300 -200		基準高は施工延長 20m以下 適所につき 2 変位は施工延 長 10m以下の 2 ヶ所。	のもの ヶ所。 長 10m	につい につき	、ては1施工 き1ヶ所。延		基準高 国 40m ↓ 県 20m 変位 国 20m ↓ 県 10m
3 土木工事共通編	2 一般施工	10 仮設工	10	地中連続壁工(柱列式)	基 準 高 連壁の長さ 変 位 壁 体 長	l d	D/4	±50 -50 4 以ア -200	勺	基準高は施工延長 20m以下 箇所につき 2 変位は施工延長 10m以下の 2ヶ所。	があるの ケ所。 長 10m	につい につき	では1施工き1ヶ所。延	D: 杭径	基準高 国 40m ↓ 県 20m 変位 国 20m ↓ 県 10m

編	章	節	条	枝番	工	種	涯	川 定	至 項 目	規格値	測 定	基	準	測定箇所	摘要
3 土	2	12 工.	1		涛造費 (金属支承工)		上下部 鋼構造		孔の直径差	+ 2 - 0	製品全数を測定。				
木工事业	般施工	場製作工					物との 接合用 ボルト		ボスの突 とした孔 <i>0</i>						
共通編		工共通					孔	中心距	≦1000mm	1以下					
		\text{\tin}\exitt{\text{\tin}\text{\texi}\text{\tex{\tex						離	ボスの突 とした孔 <i>0</i>						
									>1000mm	1.5以下					
								ドリ	≦100mm	+ 3 - 1					
							アン カー バー 用孔	ル加工孔	>100mm	+ 4 - 2					
						が (放し) アード	孔	の中心距離※ 1	JIS B 0403-1995 CT13						
							センター	ボ	この直径	+ 0 - 1					
							ボス	ボ	スの高さ	+ 1 - 0					
							ボス ※ 5	र्ग	ぶスの直径	+ 0 - 1					
						र्ग	ぶスの高さ	+ 1 - 1							

編	章	節	条	枝番	工 種		測定項目	規格値	測 定 基 準 測定箇所 指	摘要
3 土	2 —	12 工	1	1	鋳造費 (金属支承工)		6の橋軸及び橋軸直角]の長さ寸法	JIS B 0403-1995 CT13	製品全数を測定。 ※1) ガス切断寸法を準用する	
木工	般施	場製				多移	Q ≦300mm	±2	※2)片面のみの削り加工の場合も含した。 む。	
事共通	I	作工				動 量 Q ※4	Q >300mm	± ℓ ∕100	※3) ソールプレートの接触面の橋軸及 び橋軸直角方向の長さ寸法に対しては CT13を適用するものとする。	
編		共通					上、下面加工仕上げ	±3	※4) 全移動量分の遊間が確保されてい るかをする。	
		,UI				組	コ ン H≦300mm	±3	※5)組立て後に測定	
						立 高 ろ H	· 構 造 用	(H/200+3) 小数 点以下切り捨 て	詳細は道路橋支承便覧参照	
							鋳放し長さ寸法 ※2)、※3)	JIS B 0403-1995 CT14		
						普通	鋳放し肉厚寸法 ※2)	JIS B 0403-1995 CT14		
						寸法	削り加工寸法	JIS B 0403-1995 CT14		
							ガス切断寸法	JIS B 0403-1995 CT14		
3 土	2	12 工	1	2	鋳造費 (大型ゴム支承工)	幅 w	w, L, D≦500	0~+5	製品全数を測定。 平面度:1個のゴム支承の厚さ(t)	-12-1
木工事	般 施 工	場製作				長 さ L	500 < w, L, D ≤1500mm	0~+1%	の最大相対誤差 詳細は道路橋支承便覧参照 <u>補強材</u>	
共通編		工				直 径 D	1500 < w, L, D	0~+15	t L	
		通				厚	t ≦20mm	±0.5	W	
						さ t	20< t ≦160	±2.5%	t l	
							160< t	±4		
						相対	w, L, D≦1000mm	1	D	
						誤差	1000mm <w, d<="" l,="" td=""><td>(w, L, D)/ 1000</td><td></td><td></td></w,>	(w, L, D)/ 1000		

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準 測定箇所 打	摘要
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	1	3	仮設材製作工	部 部材長ℓ (m) 材	$\begin{array}{l} \pm 3 \cdots \ell \leq 10 \\ \pm 4 \cdots \ell > 10 \end{array}$	図面の寸法表示箇所で測定。	
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 共通的工種	1	4	刃口金物製作工	刃 口 高 さ h (m)	$\pm 2 \cdots h \le 0.5$ $\pm 3 \cdots$ $0.5 < h \le 1.0$ $\pm 4 \cdots$ $1.0 < h \le 2.0$	図面の寸法表示箇所で測定。	
						外周長L(m)	± (10+L/10)	h	

編	章	節	条	枝番	工種		測定項目	規格値	測 定 基 準 鋼桁等 トラス・アーチ等	測定箇所	摘要
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	3	1	桁製作工 (仮組立による検査を 実施する場合) (シミュレーション仮 組立検査を行う場合)		フランジ幅w (m) 腹板高 h (m) 腹板間隔 b' (m)	$\begin{vmatrix} \pm 3 \cdots & \\ 0.5 < w \le 1.0 \\ \pm 4 \cdots & \end{vmatrix}$	主げた・主構 各支点及び各支間中央付近を測定。 床組など 構造別に、5部材につき1個抜き取った部材の中央付近を測定。 JIS製品を使用する場合はJIS 認定工場の成績表にかえることができる。	h h h h h h h h h h h h h h h h h h h	
							鋼げた及びトラ ス等の部材の腹 板 種 着げた及びトラ ス等のフランジ 鋼床版のデッキ プレート	h /250	主げた 各支点及び各支間中央付近を測定。 h:腹板高 (mm) b:腹板又はリブの間隔 (mm) w:フランジ幅 (mm)	b d	
						材精度	フランジの直角度 δ (nm)	w/200		δ	
							鋼げた 材 長 (m) ドラス、 アーチなど	$\begin{array}{c} \pm 3 \cdots \ell \leq 10 \\ \pm 4 \cdots \ell > 10 \\ \\ \end{array}$ $\begin{array}{c} \pm 2 \cdots \ell \leq 10 \\ \pm 3 \cdots \ell > 10 \\ \end{array}$	原則として仮組立をしない状態の部 材について、主要部材全数を測定。		
							圧縮材の曲がり δ (mm)	ℓ ∕1000	主要部材全数を測定。 & : 部材長 (mm)	δ _Q	
							※規格値のwに代入すただし、「板の平面原			b、wに代入する数値はmm単位の数値とす	る。

編	章	節	々	枝番 T.	種		測定	т舌		規格値	測定	基 準	測定簡所	校 邢
細	早	即	条	技番 工	梩		側正	垻	Ħ	規格 個	鋼げた等	トラス・アーチ等	測 足固 <i></i> //	摘要
3 土木工事共	2 一般施工	12 工場製作工	3	1 桁製作工 (仮組立によ 実施する場合) (シミュレー 組立検査を行:	・ション仮		全長支間長			± (10+L/10) ± (10+Ln/10)	各桁毎に全数測定。		i 径間の場合	
通編		共通					上げた、 引距離		購の中心 (m)	±4······B≤2 ± (3+B/2) ·······B>2	各支点及び各支間に	中央付近を測定。		
						Ē	E構 の約		iさ h (m)	$ \begin{array}{c c} \pm 5 \cdots h \leq 5 \\ \pm (2.5 + h/2) \\ \cdots h > 5 \end{array} $	_	両端部及び中心部を測定。	hII	
						仮組	主げた		쁔の通り δ(mm)	5+L/5······ L≦100	点及び支間中央の :	又は主構について支 1 点を測定。	± lf t	
							主げた		쁔のそり δ (mm)	-5~+10····· 20 <l≦40 -5~+15·····</l≦40 	10~12m間隔を測定。 L:主げたの 支間長(m)		δ L	
							上げた、 こおける	5出入	쁔の橋端 、差 (mm)	設計値±10	どちらか一方の主! 測定。	ずた(主構)端を	δ 	
									購の鉛直 δ (mm)	3+h/1,000	測定。 h : 主げたの高さ (mm)	(mm)	δ 1 h	
						ij			うすき間 j ₂ (mm)	設計値±5	き間の許容範囲の	いもの m未満の場合は、す か下限値を0mmとす が3mmの場合、すき n~8mm)	δ_2	3-2-12-3

※規格値のL, B, h に代入する数値はm単位の数値である。

ただし、「主げた、主構の鉛直度 δ 」の規格値のhに代入する数値はmm単位の数値とする。

編	章	節	条	枝番	工 種		測	定	項	目	規格値	測 定 基 準 測定箇所	摘要
3 土木工事共通編	2一般施工	12工場製作工 共通	3	2	桁製作工 (仮組立検査を実施し ない場合)		腹板 板平度 δ (mm)	高鋼が腹ががった。	h た 坂 た 瞬 力 で の 直	(m) (m) の部材 のフラデート IABE (mm)	h / 250	主げた、主構 各支点及び各支間中央付近を測定。 床組など 構造別に、5部材につき1個抜き取っ た部材の中央付近を測定。 I 型鋼げた 主げた 各支点及び各支間中央付近を測定。 h: 腹板高 (mm) b: 腹板又はリブの間隔 (mm) w: フランジ幅 (mm)	
						精度	部材長↓(m)	鋼げす	±		$\pm 3 \cdots \ell \leq 10$ $\pm 4 \cdots \ell > 10$	主要部材全数を測定。	

※規格値のw に代入する数値はm単位の数値である。

ただし、「板の平面度 δ 、フランジの直角度 δ 」の規格値のh、b、wに代入する数値はmm単位の数値とする。

3 2 212 3 3 3 指数性工 (数	編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測	定	基	準	測定箇所	摘要
操				3	3	桁製作工 (鋼製堰堤製作工(仮	部材の水平度	10	全数を測定				1	3-2-12-3
提展 W ±30	木	般	場			組立時))		±30						
選	事	工	作				堤 長 ℓ	±10					I I	
通 さ H ±10 ベースプレートの高さ ±10 本体の傾き ±H/500 H H H H H H H H H H H H H H H H H H	通						堤 幅 W	±30					H	
ベースプレートの高さ ±10 本体の傾き ±H/500	編						堤 幅 w	±10					The state of the s	
本体の傾き ±H/500							高 さ H	±10				L	h;	
							ベースプレートの高さ	±10			1		H h	
							本体の傾き	±H/500			Н	Wee	www.w.	
													1	
											H	h h h	hH	
											H,	w e	W elece	
											l i			
												h	H	
											£.	Nelelele L W		
												ALI	L	
H H H H											-		L	
H H H											Н		H	
H H H											-		w e ete	
weller weller												Н	H	
											1	We e e	We e e	
											ļ-		,	

編	章	節	条	枝番	工種	測定	百 日	規格値	測	定		淮			摘要
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	4		検査路製作工	部部材長		$ \pm 3 \cdots \ell \leq 10 $ $ \pm 4 \cdots \ell > 10 $	図面の寸法				MAE)	<i>7</i> 1	lied 🌣
3 土木工事共通編	2 一般施工	12工場製作工 共通	5		鋼製伸縮継手製作工	部が長いがは、おけられては、はいは、はいは、はいは、はいは、はいは、はいは、はいは、はいは、はいは、は	伸縮装置)差 δ ₁ (mm)	世4	製品全数を		近を測算	芒。	w w		3-2-12-5 鋼道路橋施工 便覧に準拠表 現の適正化
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	6		落橋防止装置製作工	材	(m)	$\begin{array}{l} \pm 3 \cdots \ell \leq 10 \\ \pm 4 \cdots \ell > 10 \end{array}$	図面の寸法	表示箇所	で測定。				
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	7		橋梁用防護柵製作工	部 部 4		$\begin{array}{c} \pm 3 \cdots \ \ell \leq 10 \\ \pm 4 \cdots \ \ell > 10 \end{array}$	図面の寸法	表示箇所	で測定。				

編	章	節	条	枝番	工 種		測定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土 木 工	2 一 般 施	12 工場製	8		アンカーフレーム製作工		上面水平度 δ ₁ (mm)	b / 500	軸心上全数測定。		
事 共 通編	工	4 工 共				仮組立時	鉛 直 度 δ ₂ (mm)	h / 500		$h \int \frac{1}{ t } \int \delta_1$	
孙田		通					高さ h (mm)	±5		77 fF─ 02	
3 土木工事共通	2一般施工	12 工場製作工	9		プレビーム用桁製作工		フランジ幅 w(m) 腹板高 h (m)	$\begin{array}{l} \pm 2 \cdots w \leq 0.5 \\ \pm 3 \cdots \\ 0.5 < w \leq 1.0 \\ \pm 4 \cdots \\ 1.0 < w \leq 2.0 \\ \pm (3 + w / 2) \cdots 2.0 < w \end{array}$	各支点及び各支間中央付近を測定。	h W I 型鋼げた	
編		共通				部材	フランジの直角度 δ (mm)	w/200	各支点及び各支間中央付近を測定。	<u>w/2</u> δ	
							部材長 ℓ (m)	$\begin{array}{c} \pm 3 \cdots \ell \leq 10 \\ \pm 4 \cdots \ell > 10 \end{array}$	原則として仮組立をしない部材について 主要部材全数で測定。	2	
						仮組立時	主げたのそり	$-5\sim+5$ L ≤20 $-5\sim+10$ 20< L ≤40	各主げたについて 10~12m間隔を測定。	δ L	
3 土木工事共	2 一般施工	12 工場製作工	10		鋼製排水管製作工	部材	部材長 ℓ (m)	$\begin{array}{c} \pm 3 \cdots \ell \leq 10 \\ \pm 4 \cdots \ell > 10 \end{array}$	図面の寸法表示箇所で測定。		
通編		一 共 通									

編	章	節	条	枝番	エ	種	測	定項	目	規格値		定基		測;	定箇所	摘要
3 土木工事共通編	2 一般施工	12 工場製作工 共通	11		工場塗装工		塗	膜	厚	b. 測定値の最小 値は、目標塗膜 厚合計値の 70%	ントの塗付後 し、内面塗装で 定。 1ロットの大き 1ロット当たり 各点の測定は 5 その点の 瀬積が 2 ットの面積が 2	と上塗り と上塗り をは内面 さは、500)測定 がしまない。 直とする。 100m2 に満	終了時に測定 装終了時に測 0 ㎡とする。 25 点とし、 その平均値を ただし、1 ロ			

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土 木 工事	2 一般施工	13 橋梁架設			架設工(鋼橋) (クレーン架設) (ケーブルクレーン架設) (ケーブルエレクショ	全 長L (m) 支間長Ln (m)	± (20+L/5) ± (20+Ln/5)	各桁毎に全数測定。	単径間の場合 基本	
共通編		エ			ン架設) (架設桁架設) (送出し架設) (トラベラークレーン架段)	通 り δ (mm)	± (10+2L/5)	L: 主げた・主構の支間長(m)	± if t	
						そり δ (mm)	± (25+L/2)	主げた、主構を全数測定。 L:主げた・主構の支間長(m)	δ L	
						※主げた、主構の 中心間距離 B(m)	±4·····B≦2 ± (3+B/2)······ B>2	各支点及び各支間中央付近を測定。		
						※主げたの橋端に おける出入差 δ (mm)	設計値 ±10	どちらか一方の主げた(主構)端を測 定。	δ 	
						※主げた、主構の 鉛直度 δ (mm)	3+h/1,000	各主げたの両端部を測定。 h:主げた・主構の高さ(mm)	δ h	
						※現場継手部 のすき間 δ_1,δ_2 (mm)	設計値 ±5	主桁、主構の全継手数の $1/2$ を測定。 δ 1, δ 2のうち大きいもの なお、設計値が 5 mm未満の場合は、すき間の許容範囲の下限値を 0 mmとする。(例:設計値が 3 mmの場合、すき間の許容範囲は 0 mm \sim 8mm)	δ ₁	3-2-13
								※は仮組立検査を実施しない工事に適 用。		

※規格値のL,Bに代入する数値はm単位の数値である。

ただし、「主げた、主構の鉛直度 δ 」の規格値の h に代入する数値はmm単位の数値とする。

編	章	節	条	枝番	工 種	沙	削 定 項 目	規 格 値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土	2	13 橋			架設工 (コンクリート橋)	4	と 長・支 間	_	各桁毎に全数測定。		
木工工	般施	梁架			(クレーン架設) (架設桁架設)	ħ	行の中心間距離		一連毎の両端及び支間中央について各 上下間を測定。		
事共	工	設工			架設工支保工	Ä	÷ 9	_	主桁を全数測定。		
通編					(固定) (移動)						
					架設桁架設 (片持架設) (押出し架設)						
3 土	2	14 法	2	1	植生工 (種子散布工)	LT.	ℓ <5m	-200	施工延長 20mにつき1ヶ所、延長 20m 以下のものは1施工箇所につき2ヶ		国 40m
	般施工	面工 共通			(張芝工) (筋芝工) (市松芝工) (植生シート工) (植生マット工) (植生筋工)	切土法長ℓ	ℓ ≧5m	法長の-4%	所。 ただし、計測手法については、従来管理のほかに「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることができる。		県 20m
利用					(人工張芝工)	盛土	ℓ <5m	-100	こか C き る。		
					(植生穴工)	法長し	ℓ ≧5m	法長の 2%			
		'				<u>ک</u>	臣 長 L	-200	1施工箇所毎 ただし、計測手法については、従来管理のほかに「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」で規定する出来形計測性能を有する機器を用いることができる。		

編	章	節	条	枝番	工種		測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土 木 ェ	2 一般	14 法 面	2	2	植生工 (植生基材吹付工) (客土吹付工)		Q < 5	-200	施工延長 20mにつき1ヶ所、20m以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。 ただし、計算等法については、従来管		延長 国 40m ↓
工事共通	施工	工共通				法長	ℓ ≧5m	法長の-4%	理のほかに「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」で規定する出 来形計測性能を有する機器を用いるこ とができる。		県 20m 面積 国 200 ㎡
編		~=				Q Q					↓ 県 100 ㎡
							t <5cm	-10	施工面積 100 ㎡につき 1 ヶ所、面積 100 ㎡以下のものは、1 施工箇所につき 2		
						厚	t ≧5cm	-20	ケ所。		
						t	但し、吹付面に凹 最小吹付厚は、設 とし、平均厚は設設	計厚の 50%以上	検査孔により測定。		
							延 長 L	-200	1施工箇所毎 ただし、計測手法については、従来管理のほかに「3次元計測技術を用いた 出来形管理要領(案)」で規定する出		
									来形計測性能を有する機器を用いることができる。		

編	章	節	条 枝番	工種		測定項目	規 格 値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
3 土 木	2 一 般	14 法 面	3	吹付工 (コンクリート) (モルタル)		ℓ <3 m	-50	施工延長 20mにつき1ヶ所、20m以下の ものは1施工箇所につき2ヶ所。 測定断面に凹凸があり、曲線法長の測定		延長 国 40m ↓
工事	施工	エ				ℓ ≧3m	- 100	が困難な場合は直線法長とする。 ただし、計測手法については、従来管理	e	県 20m
共通編		共通			法長し			のほかに「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)」で規定する出来形計 測性能を有する機器を用いることができ	\	国 200 m ² ↓ 県 100 m ²
,,,,,								る。 	teest .	7,1, 2 - 2 - 2 - 2
									e e	
						t <5cm	-10	100 ㎡につき 1ヶ所以上、100 ㎡以下は 2ヶ所をせん孔により測定。		
					厚さ	t ≧5cm	-20	2 y // E e / U laic & / WAL.	Ý.	
					+	但し、吹付面に凹凸 最小吹付厚は、設計 とし、平均厚は設計	・厚の 50%以上			
						延 長 L		1施工箇所毎 ただし、計測手法については、従来管理 のほかに「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)」で規定する出来形計	e e	
								測性能を有する機器を用いることができる。。		

編	章	節	条を	支番	工 種	ì	則定	項目	Ħ	規格値	測 定 基 準 測定箇所	摘要
3 土	2 -	14 法	4	1	法枠工 (現場打法枠工)		Q	<10m	n	-100	正工延長 20mにつき1ヶ所、延長 20 n以下のものは1施工箇所につき2	曲線部は設計図書によ
木工事共通編	般施工	面工共通			(現場吹付法枠工)	法長見	Q	≧10 m	n	-200	- 所。 †測手法については、従来管理のほか ニ「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)」 で規定する出来形 †測 性能を有する機器を用いること ぶ出来る。	る 国 40m ↓ 県 20m
						ı	Ħ	7	w	-30	P延延長 40mにつき 1 ヶ所、枠延延 長 40m以下のものは 1 施工箇所につ w	国 100m
						1	前	t ا	h	-30	は、2ヶ所。 †測手法については、従来管理のほか	県 40m
						1	卆 中 心	、間隔:	a	±100	一月 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	
						3	Œ	長]	L	-200	施工箇所毎 +測手法については、従来管理のほいに「3次元計測技術を用いた出来 が管理要領(案)」で規定する出来 が計測性能を有する機器を用いるこ が出来る。	
3 土	2	14 法	4	2	法枠工 (プレキャスト法枠工)	法長	Q	<10m	n	-100	直工延長 20mにつき1ヶ所、延長 20 n以下のものは1施工箇所につき2	国 40m ↓
木工	般施	面工				Q Q	l	≧10m	n	-200	所。	県 20m
	工	土 共通				3	正	長〕	L	-200	施工箇所毎	

編	i	章	節	条	枝番	工	種	測定項	目	規	格(値	測 定	基準	測定箇所	摘要
	- 力	2 一般施工	14 法面工 共通	6		アンカーエ		削孔深さ	e	設計	-値以_		全数(任意仮設は除	<)	$ \begin{array}{c} d \\ \downarrow \\ x \end{array} $	※鉄筋挿入工にも適用する
3		2	14 法	6		アンカー工		配置誤差	d		100		全数(任意仮設は除	<)	d s	※鉄筋挿入 工にも適用
オ エ	こ が	般施工	面 工					せん孔方向	θ	±:	2.5度				*	する する
事 共通	É	上	共通													0
絹	Ā														x	
															$J = \sqrt{x^2 + v^2}$	

編	章	節	条	枝番	工 種	測	定項		規 柞	各値	直	測	定	基	準	測定箇所	摘要
3 土	2	15 擁	1		(一般事項) 場所打擁壁工	基	準 高	∇	±	50	- 1	施工延長 20r m以下のもの					国 40m
木	般	壁			物別打辦堂工	厚	3	t	_	20	j	所。					↓ 県 20m
事	施工	工				裏	込厚	: <i>a</i>	_	50]	「 3 次元計測 要領(案)」	に基づ	き出来	平形管理を実	/ h	
井通		共通				幅	\mathbf{w}_1	, W ₂	_	30		施する場合は 精度・計測密					
編						高さ	h <	3m	_	50		り出来形管理 る。	を実施	するこ	ことができ	W_2	
						h	$h \ge$	3m	-1	100						$ \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad \qquad $	
						延	長	L	-2	200		1施工箇所每「3次元計測		用いた	出来形要領		
												(案)」に基 る場合は、同				h	
											Į,	度・計測密度 出来形管理を	を満た	す計測	方法により		
												田木が自生で	犬爬り	<i>~</i> ⊂ C	. M C C D .	W_2 W_2	
																$ \begin{array}{c} w_1 \\ \\ \searrow \end{array} $	
																h h t	
																W_2 W_2	
3	2	15	2		プレキャスト擁壁工						- 1	施工延長 20r					国 40m
土木	般	雅 壁									- 1	m以下のもの 所。					↓ 県 20m
事	施工	エ				基	準 高	∇	土	50]	「 3 次元計測 要領(案)」					
共通		共通									- 1	施する場合は 精度・計測密					
編												り出来形管理る。					
						7.1	=			200		1 施工箇所毎		ш, , 2	山本必要婦		
						延	攴	L		200		「3次元計測(案)」に基	づき出	来形管	ぎ理を実施す		
											Į,	る場合は、同 度・計測密度	を満た	す計測	方法により		
												出来形管理を	実施す	ること	だができる。		

編	章	節	条	枝番	工 種	測	定	項	Ħ	規格値	測	定	基	準	測定箇所	摘要
3 土	2 —	15 擁	3		補強土壁工 (補強土 (テールアル	基	準	高	∇	±50	施工延長 20n m以下のもの					3-2-15-3 国40m
木工	般施	壁工			メ)壁工法) (多数アンカー式補強	高	ŀ	< 3	m	-50	所。 「3次元計測	技術を	用いた	·出来形管理		↓ 県20m
事	工				土工法)	h	ŀ	≥ 3	m	-100	要領(案)」	こ基づ	き出来	形管理を実	∆ → ← → ←	JACOM
共通		共通			(ジオテキスタイルを 用いた補強土工法)	鉛	直	度	\triangle	±0.03 h かつ ±300 以内	施する場合は 精度・計測密	度を満:	たす計	・測方法によ		
編								長 の設計		設計値以上	り出来形管理る。	を実施、	するこ	.とができ	h h h	
						延		長	L	-200	1施工箇所毎 「3次元計測技 (案)」に基づ る場合は、同要 度・計測密度を 出来形管理を身	がき出来 要領に規 :満たす E施する	形管理 記定する 計測力	里を実施す 5計測精 5法により ぶできる。		
3 土 木	2 一 般	15 擁 壁	4		井桁ブロックエ	基	準	高	∇	±50	施工延長 20n m以下のもの 所。				L ₁	国 40m ↓ 県 20m
八工事共	施工	工				法長	高さ	h <	3 m	-50	1/210					-
通編		通				l l	高さ	h≧	3 m	-100						
						厚	≛ t 1,	t 2,	t ₃	-50					<u>0/2</u>	
						延	長	L 1,	L_2	-200	1 施工箇所毎				$\begin{array}{c} \ell / 2 & \ell \\ & t_2 \\ & t_1 \\ \ell \geq 3 \text{ m} \end{array}$	

編	章	節	条	枝番	工 種	ì	測定	至 項 目	規	各値	測	定	基準	測定箇所 摘 要
3 土		16 浚	3	1	浚渫船運転工 (ポンプ浚渫船)						延長方向は、れた測点毎。	設計図	書により指定さ	
木		渫			(A.A.) ISONALI		電	200ps	- 800~+:	200	横断方向は、			
工事		エ					気	500ps	- 1000~+	-200			法肩とし必要に 。ただし、各測	
共通	2	共通				基準	船	1000ps	- 1200~+	-200	定値の平均値 ること。	直の設計	・基準高以下であ	\
編	一般	,UL				高	ディ	250ps	- 800~+:	200				_
	施工						イーゼル	420ps 600ps	- 1000~+	-200				
							船	1350ps	- 1200~+	-200				
								幅		200				
					No Mile day Service		延	長		200			teta a sa tipolo (
3 土	0	16 浚	3	2	浚渫船運転工	Ž	基準	善 高 ▽	+200)以下	延長万向は、 れた測点毎。	設計区	書により指定さ	\
木工	2 —	渫 工			(グラブ浚渫船) (バックホウ浚渫船)			幅	-:	200	横断方向は、		。 法肩とし必要に	=
事	般 施				() / N / IXIX/MI		延	長	-:	200	応じ中間点を	かえる	。ただし、各測	
共通	工	共通									定値の平均1 ること。	直の設計	・基準高以下であ	
編 3		16	3	3	浚渫船運転工					/77	1 2 次 元 =	データに	よる出来形管理	
土		浚	5	5					平均値	個々の 計測値	において「:	3 次元計	測技術を用いた	
木工		渫工			(バックホウ浚渫船)		標	高較差	0以下	+400 以下	1) 」に基づき出 実施する場合、	
事共		共			(面管理の場合)		2311				その他本基準		する計測精度・ 測方法により出	
通		通									来形管理を		る場合に適用す	
編	2										る。			
	般施工										精度として		規格値には計測 ı が含まれてい	
	エ										る。			
											し、全ての点	なで設計	と法面の全面と 面との標高較差	
											(平面投影		密度は1点/m2 たり)以上とす	
											る。			

編	章	節	条	枝番	工 種	測	定	項	目	規	各 値	測 定 基 準 測定箇所	摘 要
3 土 木	2 一 般	18 床 版	2		床版工	基	準	高	∇	±	20	基準高は、1径間当たり2ヶ所(支点付近)で、1ヶ所当たり両端と中央部の3点、幅は1径間当たり3ヶ所、厚さは型	
工事	施 工	エ				幅			w	0~	+30	枠設置時におおむね 10 ㎡に1ヶ所測 定。 上海縁	
共通編						厚		さ	t	-10	~+20	(床版の厚さは、型枠検査をもって代える。) 効 高	
						鉄館	第の7	かぶ	り	設計	値以上	1 径間当たり 3 断面(両端及び中央)測 定。 1 断面の測定箇所は断面変化毎 1 ケ	
						鉄筋	の有	効高	らさ	=	10	所とする。	
						鉄	筋	間	隔	=	20	1 径間当たり 3 ヶ所 (両端及び中央) 測 定。	
								がマ	筋の有効		:10	1ヶ所の測定は、橋軸方向の鉄筋は全数、橋軸直角方向の鉄筋は加工形状毎に2mの範囲を測定。	

単位: mm

													1				→ ±. mm
編	章	節	条	枝番		種	測	定項	目	規	格	値	測	定 基	準	測定箇所	摘要
6 河 川	1 一 般	7 共 通	4		護岸付属物工		幅		w		-30	ı		の規定によ	いた出来形管理 る測点の管理 る。		
編	施工	的工					高	2	h		-30						
		種														h	
6	1	10	8		杭出し水制工		基	生 這	; \(\nabla \)		±50		1組毎				
河川河	築堤	水制					幅	→ [F	w		±300					₩ 	
編	護	I					方		向		$\pm 7^{\circ}$						
	岸						延	£	L		-200)					
6 河川編	1 築 堤・***	13 光 ケ ー	3		配管工		埋;	設 沒	ŧt		0~+		接続部(地上	幾器部)間	毎に1ヶ所。	(G) t	
	護岸	ブル 配 管					延	1	₹ L		-200		接続部(地上		毎で全数。	оф∜ П	
		I														接続部 接続部 (地上機器部)	

単位: mm

編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
6 河	1 築	13 光	4		ハンドホール工	基 準 高 ▽	±30	1ヶ所毎 ※は現場打部分のある場合	t 3	
編	堤 • 護	ケーブ				※厚さ t₁∼t₅	-20		W ₁	
	岸	ル配				※幅 w ₁ , w ₂	-30		t ₁ W ₂ t ₂	
		工				※高さ h ₁ , h ₂	—30		h_1 h_2 t_5	
6 河	3 樋	5 樋	6	1	函渠工 (本体工)	基 準 高 ▽	±30	柔構造樋門の場合は埋戻前 (載荷前) に測定する。	* W ₁	
川編	門・	門・				厚さ t ₁ ~t ₈	-20	函渠寸法は、両端、施工継手箇所及び 図面の寸法表示箇所で測定。	t ₅	
	樋 管	樋 管				幅 W ₁ , W ₂	-30	門柱、操作台等は、図面の寸法表示箇 所で測定。	t6 t7	
		本 体				内空幅 w ₃	-30	プレキャスト製品使用の場合は、製品 寸法を規格証明書で確認するものと	$\begin{array}{c c} t_3 \\ \hline h_1 \end{array}$	
		エ				内空高 h ₁	±30	し、『基準高』と『延長』を測定。		
						延 長 L	-200		t_1 w_3 t_2 t_5	
									ts ts	
									AMANO OMMON	
6 河 川	3 樋 門	5 樋 門	6	2	函渠工 (ヒューム管) (PC管)	基 準 高 ▽	±30	施工延長 20mにつき1ヶ所、延長 20m 以下のものは1施工箇所につき2ヶ 所。		国 40m ↓ 県 20m
編	· 樋 管	・樋管本体工			(コルゲートパイプ) (ダクタイル鋳鉄管)	延 長 L	-200	1 施工ヶ所毎		

単位:mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
6 河	3 樋	5 樋	7 8		翼壁工 水叩工	基準高▽	±30	図面の寸法表示箇所で測定。	t w t	
川 編	門・	門・	0		/N.b.T.	厚 さ t	-20			
利相	樋	樋				幅 w	-30		h	
	管	管本				高 さ h	±30		w w t	
		体 工				延 長 L	-50			
									L	
6 河	4 水	6 水	7 8		床版工 堰柱工	基 準 高 ▽	±30	図面の寸法表示箇所で測定。		
川 編	門	門本	9 10		門柱工 ゲート操作台工	厚 さ t	-20			
ηνπι		体工	11		胸壁工	幅 w	-30			
						高 さ h	±30			
						延 長 L	-50			
6 河	5 堰	6 可	13 14		開門工 土砂吐工	基準高▽	±30	図面の寸法表示箇所で測定。		
川編		動堰				厚 さ t	-20			
A A A A A A A A A A A A A A A A A A A		本体				幅 w	-30			
		工				高 さ h	±30			
	_					延 長 L	-50			
6 河	5 堰	7 固	8 9		堰本体工 水叩工	基 準 高 ▽	±30	基準高、幅、高さ、厚さは両端、施工 継手箇所及び構造図の寸法表示箇所で		
川編		定 堰	10		土砂吐工	厚 さ t	-20	測定。	₩	
		本 体				幅 w	-30			
		エ				高 さ h	±30		h t	
						堰 L<20m 長	-50		<u> </u>	
						L ≥20m	-100			

単位: mm

編	章	節	条枝	支番	工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
6 河	5 堰	8 魚	3		魚道本体工	基 準 高 ▽		施工延長 20mにつき 1ヶ所、20m以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ所。(な		
川編		道工				厚さ t ₁ , t ₂		お、製品使用の場合の製品寸法は、規格証明書等による)		
孙钿						幅 w	-30	俗証の音寺による)	tı w t2	
						高さ h ₁ , h ₂	-30			
						延 長 L	-200		$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	
									<u> </u>	
6	5	9	2		管理橋橋台工			橋軸方向の断面寸法は中央及び両端		
河	堰	管	2		官垤愉愉口丄	基準高▽	- 20	部、その他は図面の寸法表示箇所で測		
川編		理橋				厚 さ t	-20	定。		
		下部				天 端 幅 W ₁ (橋軸方向)	-10		W2 W1 W2 W1	
		工				天 端 幅 W ₂ (橋軸方向)	-10		h _o t T IV	
						敷 幅 W ₃ (橋軸方向)	-50		$\begin{array}{c c} h_2 \\ h_1 \end{array}$	
						高 さ h ₁	-50		t t	
						胸壁の高さ h ₂	-30			
						天 端 長 ℓ1	-50		W3 W3	
						敷 長 ℓ 2	-50		W2 W1 W2 W1	
						胸壁間距離 1	±30		$ \begin{array}{c c} \hline \end{array} $	
						支 点 長 及 び 中心線の変 化	±50		$egin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$	
									† t	
									W3 W3	

単位: mm

編	章	節	条	枝番	工種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
6 河	6 排	4 機	6		本体工	基 準 高 ▽	±30	図面の表示箇所で測定。	L L	
川編	水機	場本				厚 さ t	-20			
が抽	場場	体				幅 w	-30			
		エ				高さ h ₁ , h ₂	±30			
						延 長 L	-50		▽ □□□	
									h2 V L h1	
6	6	4	7		燃料貯油槽工	基準高 ▽	±30	図面の表示箇所で測定。	L L	
河川	排水	機場				厚 さ t	-20			
編	機場	本体				幅 w	-30			
		エ				高 さ h	±30			
						延 長 L	-50		\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	
									h h	
6	6	5	7		コンクリート床版工	基 準 高 ▽	±30	図面の表示箇所で測定。		
河川河	排水	沈砂				厚 さ t	-20		L ←	
編	機場	池工				幅 w	-30		1	
						高 さ h	±30		<u> </u>	
						延 長 L	-50			
									h	
									t d	
									,	

単位: mm

編	章	節	条 枝	番 工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測定箇所	摘要
6 河	7 床	4 床	6	本体工 (床固め本体工)	基準高▽	±30	図面に表示してある箇所で測定。		
川編	止め	止め		(200 027) (17-12)	天 端 幅 W ₁	-30		L ₁ w ₁	
孙阳	•	エ			堤 幅 W ₂	-30			w 3
	床固				堤 長 L ₁ , L ₂	-100			
	め				水通し幅ℓ1,ℓ2	±50			
								L_2 w_2	
6	7	4	8	水叩工			基準高、幅、延長は図面に表示してある		
河	床	床	0	Whi T	基準高▽	30	箇所で測定。		
川編	止め	止め			厚 さ t		厚さは目地及びその中間点で測定。	$\begin{array}{c c} & L \\ \hline & t \downarrow & \nabla \end{array}$	
	床	エ			幅 w	-100			
	固め				延 長 L	-100			
								w	
6	7	5	6	側壁工			1. 図面の寸法表示箇所で測定。		
河	床	床	0		基 準 高 ▽	±30	2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端		
川編	止め	固め			- 大 端 幅 W ₁ - 場 幅 W ₂		幅・天端高で各測点及びジョイント毎に 測定。	L w1	
	床	工			長 さ L		3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。	7 -	
	固め				X C L	100		N A	
								∀ W2	

_						1														
	編	章	節	条	枝番		測定	項	目	規	格		測	定基		測	定	筃	所	摘要
	7 河	1 堤	5 護	5		場所打コンクリートエ	基準	高	∇		±30				所、延長 20m 所につき 2 ヶ					国 40m ↓
	川海	防・	岸基				幅		w		-30		所。		,				————— ————————————————————————————————	県 20m
	岸	護	礎				高	さ	h		- 30						BY	#		
	編	岸	エ				延	長	L	-	-200						#			
																	\int_{h}	Ш		
																	₩	€—		
F	7	1	5	6		海岸コンクリートブロ	基準	直高	∇		±50				1ヶ所の割で					個数
- 1	河川	堤 防	護岸			ックエ	ブロッ				-20				工延長 20mに ↓下のものは1			Å	%	国 40 個
	海岸	· 護	基礎				ブロッ	ク縦軸	量W.1		-20		施工箇所につ	き2ヶ所。			∇	A)		県 20 個
	編	岸	工				ブロッ				<u>-20</u>					L			t	延長
							延	文	L	-	-200							<u>\</u>		国 40m ↓
																П		7 7		県 20m
																			W_1	
																 	\mathbf{W}_2	>		
	7	1	6	4		海岸コンクリートブロ	基準	高	∇		±50				所、延長 20m					国 40m
	河川	堤 防	護岸			ックエ	法	Q < 5	m	-	-100		所。		所につき2ヶ					↓ 県 20m
	海岸	• 護	工				長し	ℓ ≧ 5	m	Q ×	(-2	%)			た出来形管理る測点の管理				<u></u>	
	編	岸					厚	さ	t		-50		方法を用いる				Q			
							延	長	L	-	-200						/		//	
																			t.	
																		\$	C	
																/				

単位:mm

編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所 摘 要
7 河	1 堤	6 護	5		コンクリート被覆工	基準高▽	±50	施工延長 20mにつき 1 ヶ所、延長 20m 以下のものは 1 施工箇所につき 2	■ 40m
川海	防・	岸工				法 & & < 3 m	-50	ケ所。 「3次元計測技術を用いた出来形管理	県 20m
岸	護岸					$\ell \geq 3 \mathrm{m}$	-100	要領(案)」の規定による測点の管理	
編	戸					厚 t <100	-20	方法を用いることができる。	
						t t ≥100	-30		ı (takin ili ili ili ili ili ili ili ili ili i
						裏込材厚 t'	-50		///30
						延 長 L	-200		t,
7 河	1 堤	8 天	2		コンクリート被覆工	基準高▽	±50	施工延長 20m につき 1ヶ所、延長 20m 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ	国 40m ↓
川海	防・	端被				幅 w	-50	所。	√. w 県 20m
岸	護	覆				厚 さ t	-10		
編	岸	エ				基 礎 厚 t'	-45		t
						延 長 L	-200		/: .:/ t '
7 河	1 堤	9 波	3		波返工	基 準 高 ▽	±50	施工延長 20m につき 1ヶ所、延長 20m 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ	国 40m
川 海	防・	返工				幅 w ₋₁ , w ₋₂ .	-30	所。	$\mathbf{w}_1 \mathbf{w}_2$ 県 20m
岸	護					高さ h < 3 m h ₄ , h ₂ , h ₃	-50		* · · ·
編	岸					高さ h ≧ 3 m	-100		h_2
						h ₁ , h ₂ , h ₃ 延 長 L	-200		h_1 h_3

											≠位・Ⅲ
編	章	節	条	枝番	工 種		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
7 河	2 突	4 突	4		捨石工		本均し	±50	施工延長 10mにつき、1測点当たり5 点以上測定。	2 3 4	
川海	堤	堤					表面均し	± 100		① / ⑤	
	· 人 工	基礎工				基準	荒	±500			
利相	岬					高		±300		W_1 . (L_1)	
							被 異形ブロック据付面 覆 (乱積)の高さ	±500			
							均 異形ブロック据付面 し (乱積) 以外の高さ	± 300			
							法 長 ℓ	-100	幅は施工延長 20m につき1ヶ所、延長 20m 以下のものは1施工箇所につき2		
							天 端 幅 W ₋₁	-100	ヶ所、延長はセンターライン及び表裏 法肩。		
							天端延長 L1	-200	14/Po		
7 河	2 突	4 突	5		吸出し防止工		幅 w	-300	施工延長 20m につき 1ヶ所、延長 20m 以下のものは 1 施工箇所につき 2ヶ	. L .	国 40m
Л	堤	堤					延 長 L	-500	所。		県 20m
海岸編	・人工岬	基礎工									
7 河	2 突	5 突	2		捨石工	基準	異形ブロック据付面 (乱積)の高さ	±500	施工延長 10mにつき、1 測点当たり 5 点以上測定。		
川海	堤	堤本				高		±300		2 3 4	
岸編	人工	体工					法 長 ℓ	-100	幅は施工延長 20m につき1ヶ所、延長 20m 以下のものは1施工箇所につき2		国 40m
77111	岬						天 端 幅 W. ₁ .	-100	ヶ所、延長はセンターライン及び表裏		県 20m
							天端延長 L1	-200	法肩。	W_1 . (L_1)	

									毕证.mm
編	章	節	条	枝番 工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
7河川海岸編	突堤・人	突堤本体工	5	海岸コンクリートブロックエ	(層積) ブロック 規格 26 t 未満 準 (層積) ブロック 高 規格 26 t 以上 (乱 積) 天 端 幅 W 天 端 延 長 L	±300 ±500 ±ブロックの 高さの1/2 ーブロックの 高さの1/2 ーブロックの 高さの1/2	施工延長 20m につき1ヶ所、延長 20m 以下のものは1施工箇所につき2ヶ 所。延長は、センターラインで行う。		国 40m ↓ 県 20m
7河川海岸編	突堤・人	突堤本体工	9	石枠工	基準高 ▽ 厚 さt 高 h < 3m h ≥ 3m 延 長 L	±50 -50 -50 -100 -200	施工延長 20m につき1ヶ所、延長 20m 以下のものは1施工箇所につき2ヶ 所。 1施工箇所毎	h k	国 40m ↓ 県 20m
7河川海岸編	突堤・人	突堤本体工	10	場所打コンクリートエ	基準高▽ 幅 w 高さh 延長L	±30 -30 -30 -200	施工延長 20m につき1ヶ所、延長 20m 以下のものは1施工箇所につき2ヶ所。	h V	国 40m ↓ 県 20m

編	章	節		枝番	工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
7 河 川	2 突 堤	5 突 堤	11	1	ケーソン工 (ケーソン工製作)	が一砕石、砂	±100	各室中央部1ヶ所	w	
海岸編	人工岬	本体工				へ ト の 基	±50		h_1 t_2 t_2 h_2	
						壁 厚 t. _l .	±10	底版完成時、各壁1ヶ所		
						幅 w	+30, -10	各層完成時に中央部及び底版と天端は 両端		
						高 さ h. _l .	+30, -10	完成時、四隅		
						長 さ L	+30, -10	各層完成時に中央部及び底版と天端は 両端		
						底版厚さ t.2	+30, -10	底版完成時、各室中央部1ヶ所	L '	
						フーチング高さ h ₂	+30, -10	底版完成時、四隅		
7河川海岸編	2 突堤・人工	5 突堤本体工	11	2	ケーソン工 (ケーソン工据付)	法線に対する出入 1、2	ケーソン重量 2000 t 未満 ±100 ケーソン重量 2000 t 以上 ±150	据付完了後、両端 2 ヶ所		
, пу ни	岬	T				据付目地間隔 1'、2'		据付完了後、天端2ヶ所		
7 河	2 突	5 突	11	3	ケーソン工 (突堤上部工)	基 陸 上	±30	1室につき1ヶ所(中心)	₩ →	
川海	堤	堤本			場所打コンクリート 海岸コンクリートブ	高 水 中	±50			
岸編	人工	体 工			ロック	厚 さ t	±30			
	岬					幅 w	±30		▼ ▼ † t	
						長 さ L	±30			

	1				I		≠位.mm
編	章	節	条	枝番		測定項目規格値 測定基準 測定箇所	摘要
7 河川海岸編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	12	1	セルラー工 (セルラー工製作)	壁 厚 t ±10 幅 w +20, -10 高 さ h +20, -10 長 さ L +20, -10	
7河川海岸編	2 突堤・人工岬	5 突堤本体工	12	2	セルラー工 (セルラー工据付)	法線に対する 出入 1、2 隣接ブロックと の間隔 1、2 ±50 据付後ブロック 1 個に 2 ヶ所 (各段毎) 1' 1' 1 1 2 1 1 1 2	
7河川海岸編	2突堤・人工岬	5 突堤本体工	12	3	セルラー工 (突堤上部工) 場所打コンクリート 海岸コンクリートブ ロック	基準	
7河川海岸編	2突堤・人工岬	6根固め工	2		捨石工	接 長 -100 100 20m 以下のものは1施工箇所につき2 ***********************************	園 40m ↓ ≹ 20m

																≠位.IIIII
編	章	節	条	枝番		測	定 項	目	規格値	測	定基	準	測	定 箇	所	摘要
7 河	2 突	6 根	3		根固めブロック工	基準高	層	積	± 300			ヶ所、延長 20m i所につき2ヶ	 	L 1	→	国 40m
川海	堤	固め				∇	乱	積	\pm t \angle 2	所。			<u> </u>	\longrightarrow		県 20m
岸	人	工				厚	さ	t	-20	幅、厚さは2	0 個につき	1ヶ所測定。	W 2	J		
編	工岬					幅w. ₁	層	積	-20					H		
						W.2.	乱	積	-t/2				L 2	_\\		
						延長 L.	層	積	-200	1 施工箇所包	Ē			J		
						L.2	乱	積	- t/2				t <u> </u>			
7 河	2 突	7 消	3		消波ブロックエ	基準高	層	積	± 300			ヶ所。延長 20m i所につき2ヶ	 	W ₁	*	国 40m ↓
川海	堤	波 工				∇	乱	積	\pm t $/$ 2	所。			1			県 20m
岸編	人工	上				厚	さ	t	-20	幅、厚さは4	0 個につき	1ヶ所測定。	W ₂			
	岬					幅	W.1.,	W 2.	-20				L 2			
						延	₹ L _{·1} .,	L 2.	-200							
													t <u> </u>	<u>Σ</u> —Σ		
7	3	3 海	3		捨石工	,	本 均	l	±50	施工延長 10r 点以上測定。	mにつき、	1 測点当たり 5				
河川海	海域堤	域堤				基荒		ック据付面 の高さ	±500	· 尽以上侧足。				2 3 4		
岸編	防(基礎				準りし	(乱積) 以	ック据付面 以外の高さ	±300							
	人工リ	エ				覆	異形ブロッ	ック据付面 の高さ	± 500					w₁.(L₁)		
	リーフ、					▽ 均 し	異形ブロッ		±300				1		l l	
	、離岸堤、					法	長	l	-100	20m 以下のも	のは1施二	き1ヶ所、延長 Ľ箇所につき2	*/_			国 40m ↓
	堤、潜					天	端幅	W. ₁ .	-100	ヶ所、延長に 法肩。	はセンター	ライン及び表裏				県 20m
	堤)					天	端延長	L ₋₁ .	-200							

1										平位·IIIII
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
8 砂防編	1 砂防堰堤	3 工場製作工	4		鋼製堰堤仮設材製作工	部 部材長 ℓ (m)材	±3······ ℓ ≤10 ±4······ ℓ >10	図面の寸法表示箇所で測定。		
8 砂防編	1砂防堰堤	8コンクリート堰堤工	4		コンクリート堰堤本体工	基準高▽ 天端部 W ₁ , W ₃ 堤幅 W ₂ 水通しの幅ℓ ₁ , ℓ ₂ 堤長 L ₁ , L ₂	-30 ±50	図面の表示箇所で測定。 「3次元計測技術を用いた出来形管理 要領(案)」の規定による測点の管理方 法を用いることができる。 ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)」の規定により管理を 行う場合は、堤長の変化点で測定。	$\frac{\ell_1}{\sqrt{\ell_1}}$	
8 砂防編	1砂防堰堤	8コンクリート堰堤工	6		コンクリート側壁工	基準高▽ 幅 w ₁ , w ₂ 長 さ L	±30 -30 -100	1. 図面の寸法表示箇所を測定。 2. 上記以外の測定箇所の標準は、天端幅・天端高で各測点及びジョイント毎に測定。 3. 長さは、天端中心線の水平延長、又は、測点に直角な水平延長を測定。 「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。ただし、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」の規定により管理を行う場合は、堤長の変化点で測定。	L W1	

編	章	節	条札	支番	工 種		測 ;	定 項	目	規格	値	測定基準測定箇所	摘要
8	1 砂	8 3	8		水叩工		基	準 高	∇	±30		基準高、幅、延長は図面に表示してあ る箇所で測定。	
防編	防堰	ンク					幅		w	-100)	厚さは目地及びその中間点で測定。	
/р ш	堤	IJ l					厚	さ	t	-30		「3次元計測技術を用いた出来形管理	
		- ト 堰					延	長	L	-100)	要領 (案)」の規定による測点の管理方法を用いることができる。	
		堤 堤 工										ただし、「3次元計測技術を用いた出来 形管理要領(案)」の規定により管理を 行う場合は、堤長の変化点で測定。	
8	1 砂	9 鋼	5	1	鋼製堰堤本体工 (不透過型)		堤	Ī	高 ▽	±50		1. 図面の表示箇所で測定する。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤	
防編	防堰	製堰			(1/2/21)	水通	長	さし	1, l 2	±100)	高、幅、袖高は十の規格値は適用し	
形冊	堤	堤				し部	幅	w	1, W ₃	±50			
		エ					下	流側倒	h 🛆	±0.02]	H1	$\frac{1}{\sqrt{2}}$	
						袖	袖	Ī	高 ▽	±50			
							幅		\mathbf{w}_2	±50		$\stackrel{\longleftarrow}{\overset{\longleftarrow}{\overset{\longleftarrow}{\overset{\longleftarrow}{\overset{\longleftarrow}{\overset{\longleftarrow}{\overset{\longleftarrow}{\overset{\longleftarrow}{$	
						部	下		h Δ	±0.02]	H2		

編	章	節条	枝番		重	測定項目	規格	値	測定基準測定簡所	摘要
8 砂	1 砂	9 5	2	鋼製堰堤本体工 (透過型)		堤長L	±8	50	図面の寸法表示箇所で測定。 8	-1-9-5
防	防	製		(2227)		堤長 ℚ	±1	.0		
編	堰堤	堰堤				堤幅W	±3	30		
		エ				堤幅w	±1	.0	H	
						高さH	生1	.0		
						高さh	±1	.0	I h	
									H h H	
									w e e	
									HILL	
									H	
									w w ender	
									н	
									AHHHH III	
									L	
									H	
									W e ele	
									L L	
									We extend when the second seco	

_									平位
編	章	節条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
8 砂	1 砂	9 6		鋼製側壁工	堤 高 ▽	±50	1. 図面に表示してある箇所で測定。 2. ダブルウォール構造の場合は、堤		
防編	防堰	製堰			長 さ L	±100	高、幅、袖高は+の規格値は適用しない。		
が細	堤	堤			幅 W ₁ , W ₂	±50	\7 \ \ .°	<u>IL</u> <u>w1</u>	
		エ			下流側倒れ Δ	±0.02H			
					高 h < 3 m	-50			
					h h ≧3m	-100			
								$ m W_2 \ \Delta$	
8	2	5 8		魚道工	基準高▽	±30	施工延長 20mにつき 1 ヶ所、延長 20m		国 40m
砂防	流路	床固					以下のものは1施工箇所につき2ヶ 所。なお、製品使用の場合は、製品寸		↓ 県 20m
編	岭	め			幅 w	-30	所。なね、製品使用の場合は、製品 引 法については規格証明書等による。	t1 w t2	県 20m
		エ			高さ h1, h2	-30			
					厚さ t ₁ , t ₂	-20			
					延 長 L	-200		$\begin{vmatrix} h_1 \end{vmatrix} \begin{vmatrix} h_2 \end{vmatrix}$	
								<u> </u>	
8 砂	3 斜	6 4 Ш		山腹明暗渠工	基 準 高 ▽	±30	施工延長 20mにつき 1 ヶ所、延長 20m 以下のものは 1 施工箇所につき 2 ヶ	$t_1 \ w \ t_2$	围 40m
防編	面	腹			厚さ t ₁ , t ₂	-20	所。(なお製品使用の場合は、製品寸法		県 20m
が細	対策	水路			幅 w	-30	は、規格証明書等による)	h_1 h_2 ∇	
		エ			幅 W ₁ , W ₂	-50			
					高さ h ₁ , h ₂	-30		\ . i.×.i. /	
					深 さ h3	-30		h ₃	
					延 長 L	-200		W ₂	
								$\langle W_1 \rangle$	

編	章	節	条	枝番	工 種	測定項目	規格値	測定基準	測 定 箇 所	摘要
8 砂	3 斜	7 地	4		集排水ボーリング工	削孔深さℓ	設計値以上	全数		
防編	面対	下水				配置誤差d	100		d	
利用	策	排				せん孔方向 θ	±2.5度		θ	
		除工							$\begin{array}{c c} & & & \\ & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ & & & \\ &$	
									x	
									$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
8 砂	3 斜	7 地	5		集水井工	基 準 高 ▽	±50	全数測定。 偏心量は、杭頭と底面の差を測定。		
防編	面対	下水				偏心量d	150	開心主は、小成のと、民国の左を関え。	d \ w	
7/1111	策	排				長 さ L	-100			
		除工				巻立て幅w	-50		y y	
						巻立て厚さ t	-30		_	
									x	
									$d = \sqrt{x^2 + y^2}$	
									·	
8 砂	3 斜	9 抑	6		合成杭工	基 準 高 ▽	±50	全数測定。		
防編	面対	止杭				偏心量d	D/4以内 かつ100以内			
1771111	策	工								

編	章	節	条	枝番 工 種	測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
9 ダ	1 ¬	4 ダ		コンクリートダム工 (本体)	天 端 高 ▽	±20	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標	天端幅	
ム編	ンク	ムコ			天 端 幅	±20	準とする。 ・ ①天端高(越流部堤頂高を含む)は、		
利用	IJ	ン			ジョイント間隔	±30	各ジョイントについて測定。		
	 - -	クリ			リフト高	±50	②堤幅、リフト高は、各ジョイント について5リフトごとに測定。	堤幅	
	ダム	 - -			堤幅	-30, +50	(注) 堤幅、リフト高の測定は、 上下流面型枠と水平打継目の接	U T A	
		エ			堤 長	-100	触部とする。(堤幅は、中心線又	 	
							は、基準線との関係づけも含む) ③ジョイント間隔(横継目)は、5	堤長	
							リフトごと上流端、下流端を対象 に測定。	11111	
							④堤長は、天端中心線延長を測定。 3.		
							①越流堤頂部、天端仕上げなどの平 坦性の測定方法は、監督職員の指		
							示による。	ジョイント間隔	
							②監査廊の敷高、幅、高さ、平坦性 などの測定方法は監督職員の指示		
							による。	J:ジョイント	
9 ダ	1 ¬	4 ダ		コンクリートダム工 (水叩)	天 端 高 ▽	±20	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標	、 長さ	
ム編	ンク	ムコ		(23.17)	ジョイント間隔	±30	準とする。 ①天端高 (敷高)、ジョイント間は各		
柳	IJ	ンク			幅	±40	ジョイント、各測点の交点部を測		
	 - -	IJ			長 さ	-100, +60	定。 ②長さは、各ジョイントごとに測定。	m 幅 /m	
	ダム	 - -					③幅は、各測点ごとに測定。 3. 水叩の平坦性の測定は監督職員の		
		工					指示による。	······································	
								- 製点	
								↓	
								iJ	

					T.					
編	章	節	条	枝番		測定項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
9 ダ	1 ==	4 ダ			コンクリートダム工 (副ダム)	天 端 高 ▽	±20	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 上記以外の測定箇所は、下記を標	V	
ム編	ンク	ムコ				ジョイント間隔	±30	準とする。 ①天端高は、各ジョイントごとに測	堤幅	
利用	J J	ン				リ フ ト 高	±50	定。	リフト高	
	, -	クリ				堤幅	-30, +50	②堤幅、リフト高は、各ジョイント について3リフトごとに測定。	堤幅	
	ダム	 - -				堤 長	±40	(注) 堤幅、リフト高の測定は、 ト下流面型枠と水平打継目の接		
		, I				堤	±40	上下流面型枠と水平打雑目の接触部とする。(堤幅は、中心線又は、基準線との関係づけも含む)③ジョイント間隔は、3リフトごと上流端、下流端を対象に測定。 ④堤長は、各測点ごとに測定。	場長 測点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点点	

																		₽似.IIIII
編	章	節	条	枝番		種	測	定項	目	規格値		定基		測	定	筃	所	摘要
9 ダ	1 ===	4 ダ			コンクリート (導流壁)	ダムエ	天	端高	∇	±30	1.図面の寸 2.上記以外		で測定。 fは、下記を標			_	im im	
ム編	ンク	ムコ			, , , , , , , , ,		ジョ	イント間		±20	準とする。		各測点、又は			7 		
///HH	J 1	ンク					IJ	フト	高	±50	ジョイン	トごとに測	定。			/		
	 - -	IJ					長		さ	±100	ジョイン		各測点、又は 3 リフトごと				厚さ	
	ダム	 - -					厚		さ	±20	に測定。 (注) リ	フト高、厚	[さの測定は、			<u>ラ</u>		
		エ											置後からとす 高、厚さの測			厚	* /	
											定箇所		面型枠と水平		/		J	
											③長さは、	天端中心絲	,る。 その水平延長又 平延長を測定。		<i>L</i>			
											は、側点	に旦用な水	半延長を側止。		Т	7	_ <u>測点_</u> I	
														(副ダム)	部)		<u>測点</u> J	
																11	_ <u>測点</u> _ <u>測点</u> J	
														(水叩部)	, /	10/		
														()10-14-10)		mK/		
																10		
														(本体部))	啦	<u>測点</u>	
																↓ ↓	_ <u>測点</u> _	
														J : ジョ-	イント			

編	章	節	条	枝番 工 種	測 定 項 目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘要
9 ダ	2 フ	3 盛	5	コアの盛立	基 準 高 ▽	各測点について5層毎に測定。 ※外側境界線は標準機種(タンピング			
4	イ	イ 立			外側境界線	-0, +500	ローラ)の場合		
編	ルダム	I							
9 ダ	2 フ	3 盛	6	フィルターの盛立	基準高▽	-0	各測点について5層毎に測定。		
ム編	イル	立工			外侧境界線	-0, +1000			
// //HI	ダ				盛立幅	-0, +1000		Q. フィルター幅	
	ム								
								ロック幅	
								コア幅	
9 ダ	2 フ	3 盛	7	ロックの盛立	基 準 高 ▽	-100	各測点について盛立5m毎に測定。		
ム	イ	立			外侧境界線	-0, +2000			
編	ルダ	エ							
	4								

												→ 2 . IIIII
編	章	節	条	枝番		種	測定	項目	規格値	測 定 基 準	測 定 箇 所	摘 要
9 ダ	2 フ				フィルダム (洪水吐)		基 準	高▽	±20	1. 図面の寸法表示箇所で測定。 2. 1回/1施工箇所		
ム編	イル						ジョイン	ント間隔	±30			
小州	ダ						厚	さ t	±20		w J	
	ム						幅	w	±40			
							リフ	ト高さ	±20		リーリフト高	
							長	さ L	±100		t t	
											▶ → ジョイント間隔	
9 ダ	3 基	3 ボ			ボーリング工		深	度 L	設計値以上	ボーリング工毎 ※配置位置の規定はコンクリート面で		
ム	礎	ルリリ					配置	誤 差	100	行うカーテングラウトに適用する。		
編	グラ	ン										
	ウチ	グ エ										
	ング										\bigcap	
	l				1							